令和２年３月３１日

全国路線網に属する高速道路に係る業務実施計画の変更について

１（６２）から（１１３）まで１ずつ繰り下げ、（６１）の次に次のとおり加える。

（６２）一般国道４号（東埼玉道路）

２（１）及び４（１）中、「別紙１－Ｅ－２００」を「別紙１－Ｅ－２０３」に、「別紙１－Ｃ－１１０」を「別紙１－Ｃ－１１４」に、「別紙１－Ｗ－１３３」を「別紙１－Ｗ－１４０」に、「別紙１－Ｈ－３」を「別紙１－Ｈ－４」に改める。

７（３）機構が会社に貸し付ける道路資産の貸付期間を次のとおり改める。

それぞれの道路資産が機構に帰属した日から令和４２年１月２４日までとする（各会社共通）。

ただし、１中一般国道１６５号（南阪奈道路）は平成３０年４月１日から、一般国道１号（油小路線）は平成３１年４月１日から、一般国道３１号（広島呉道路）は令和元年７月１日から貸し付けるものとする。

９（２）を次のとおり改める。

（２）会社の経営努力による高速道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理に要する費用の縮減を助長するための機構の助成に関し必要な事項

機構は、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社又は本州四国連絡高速道路株式会社の経営努力により高速道路の新設、改築及び修繕に係る工事（修繕に係る工事にあってはあらかじめ東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社又は本州四国連絡高速道路株式会社から提出され、機構が同意した修繕工事計画書に係る工事に限る。）に要する費用が縮減され、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社又は本州四国連絡高速道路株式会社から申請書により助成金交付の申請があった場合において、次に掲げる要件のいずれにも適合すると認めるときには、助成対象基準額（新設又は改築に係る工事にあっては別紙１－Ｅ－１から別紙１－Ｅ－２０３、別紙１－Ｃ－１から別紙１－Ｃ－１１４、別紙１－Ｗ－１から別紙１－Ｗ－１４０又は、別紙１－Ｈ－１から別紙１－Ｈ－４の額、修繕に係る工事にあっては修繕工事計画書又は特定更新等工事計画書に記載の額をいう。以下同じ。）から当該新設、改築又は修繕に係る工事に要する費用に係る債務であって、機構が会社から引き受けることとなるものの額を控除した額（東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社又は本州四国連絡高速道路株式会社の経営努力によるものと認められた部分に限る。）の５割に相当する額を、助成金として東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社又は本州四国連絡高速道路株式会社に交付するものとする。

①当該新設、改築又は修繕に係る工事に要する費用に係る債務であって、機構が東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社又は本州四国連絡高速道路株式会社から引き受けることとなるものの額が助成対象基準額を下回るものであること。

②申請に係る工事に要する費用の縮減が東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社又は本州四国連絡高速道路株式会社の経営努力によるものであること。

③申請書の記載事項が適正であること。

別紙１－Ｅ－４、別紙１－Ｅ－９から別紙１－Ｅ－１２、別紙１－Ｅ－１５から別紙１－Ｅ－１７、別紙１－Ｅ－２６、別紙１－Ｅ－２９から別紙１－Ｅ－３１、別紙１－Ｅ－３４、別紙１－Ｅ－３７、別紙１－Ｅ－４２、別紙１－Ｅ－５６から別紙１－Ｅ－５８、別紙１－Ｅ－６１、別紙１－Ｅ－６４、別紙１－Ｅ－６５、別紙１－Ｅ－６９、別紙１－Ｅ－７３、別紙１－Ｅ－７５、別紙１－Ｅ－７６、別紙１－Ｅ－８０、別紙１－Ｅ－８６、別紙１－Ｅ－９０、別紙１－Ｅ－９５、別紙１－Ｅ－９６、別紙１－Ｅ－９９、別紙１－Ｅ－１０１、別紙１－Ｅ－１０４、別紙１－Ｅ－１０７、別紙１－Ｅ－１０８、別紙１－Ｅ－１３０、別紙１－Ｅ－１４９から別紙１－Ｅ－１５２、別紙１－Ｅ－１５４から別紙１－Ｅ－１５７、別紙１－Ｅ－１５９、別紙１－Ｅ－１６１、別紙１－Ｅ－１６２、別紙１－Ｅ－１６４、別紙１－Ｅ－１６５、別紙１－Ｅ－１６７から別紙１－Ｅ－１６９、別紙１－Ｅ－１７１から別紙１－Ｅ－１９１、別紙１－Ｅ－１９３から別紙１－Ｅ－２００、別紙１－Ｃ－２から別紙１－Ｃ－５、別紙１－Ｃ－７から別紙１－Ｃ－１０、別紙１－Ｃ－１３から別紙１－Ｃ－１５、別紙１－Ｃ－１９、別紙１－Ｃ－２０、別紙１－Ｃ－２９、別紙１－Ｃ－３０、別紙１－Ｃ－３２から別紙１－Ｃ－３４、別紙１－Ｃ－５０、別紙１－Ｃ－５１、別紙１－Ｃ－５５、別紙１－Ｃ－７１、別紙１－Ｃ－７８から別紙１－Ｃ－８０、別紙１－Ｃ－８２から別紙１－Ｃ－８７、別紙１－Ｃ－９０から別紙１－Ｃ－１１０、別紙１－Ｗ－２から別紙１－Ｗ－６、別紙１－Ｗ－９、別紙１－Ｗ－１２、別紙１－Ｗ－１３、別紙１－Ｗ－１６、別紙１－Ｗ－２４、別紙１－Ｗ－２５、別紙１－Ｗ－２７、別紙１－Ｗ－３１、別紙１－Ｗ－３４、別紙１－Ｗ－３５、別紙１－Ｗ－４０、別紙１－Ｗ－４１、別紙１－Ｗ－４７、別紙１－Ｗ－６２、別紙１－Ｗ－６９、別紙１－Ｗ－７０、別紙１－Ｗ－７４、別紙１－Ｗ－９１、別紙１－Ｗ－９９から別紙１－Ｗ－１０１、別紙１－Ｗ－１０４から別紙１－Ｗ－１０８、別紙１－Ｗ－１１０、別紙１－Ｗ－１１１、別紙１－Ｗ－１１４、別紙１－Ｗ－１１５、別紙１－Ｗ－１１９から別紙１－Ｗ－１３０、別紙１－Ｗ－１３２、別紙１－Ｗ－１３３、別紙１－Ｈ－２及び別紙１－Ｈ－３を次のとおり改める。

別紙1-E-4

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（北海道余市郡余市町登町から北海道小樽市新光町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　北海道余市郡余市町登町　　から
北海道小樽市新光町　　まで

（ロ） 延　　長　　23. 3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
北海道余市郡余市町登町　から 北海道小樽市新光町　まで	100	23. 3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
北海道余市郡余市町登町 から 北海道小樽市新光町 まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道5号 道道登余市停車場線	北海道余市郡 余市町登町	平面接続	余市インターチェンジ
道道小樽塩谷インター線	北海道小樽市 塩谷	立体接続	小樽塩谷インターチェンジ

（4） 工事予算

117，521 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　北海道余市郡余市町登町（STA 853+16.687）から北海道小樽市新光町（STA 45+39.464）まで
平成　18 年　4 月　19 日

小樽ジャンクション小樽方面から余市方面へのランプ
ロ　北海道小樽市新光町（C-STA 1078+99.879）から北海道小樽市新光3丁目（C-STA 1094+31.457）まで
平成　31 年　2 月　7 日

②工事の完成予定年月日　平成　30 年　12 月　8 日　（余市IC～小樽JCT　供用開始）
令和　6 年　3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

129，739 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　129，249 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-9

東北中央自動車道相馬尾花沢線
（山形県東置賜郡高畠町大字深沼から山形県上山市金瓶まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北中央自動車道相馬尾花沢線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　山形県東置賜郡高畠町大字深沼　　から
山形県上山市金瓶　　まで

（ロ） 延　　長　　24．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
山形県東置賜郡 高畠町大字深沼　から 山形県上山市金瓶　まで	100	24．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245 kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山形県東置賜郡 高畠町大字深沼　から 山形県上山市金瓶　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	1．25×2	2．50	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

—　メートル　（土工部）
—　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道13号 （米沢南陽道路）	山形県東置賜郡 高畠町大字深沼	平面接続	本線
一般国道13号	山形県東置賜郡 高畠町大字深沼	立体接続	南陽高畠インターチェンジ
一般国道13号	山形県上山市藤吾	立体接続	かみのやま温泉インターチェンジ
一般国道13号	山形県上山市金瓶	立体接続	山形上山インターチェンジ

（4） 工事予算

124，096 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18　年　4　月　19　日

②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　4　月　13　日　（供用開始）
令和　元　年　7　月　11　日　（残事業一部完成）
令和　3　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

136，792　　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　136，792　百万円）（消費税込み）

別紙1-E-10

常磐自動車道

（福島県双葉郡富岡町大字上手岡から福島県相馬市粟津まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県双葉郡富岡町大字上手岡　　から
福島県相馬市粟津　　まで

（ロ） 延　　長　　47．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福島県双葉郡 富岡町大字上手岡　から 福島県相馬市 粟津　まで	100	47．1	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県双葉郡 富岡町大字上手岡　から 福島県相馬市 粟津　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道　小野富岡線	福島県双葉郡 富岡町大字上手岡	立体接続	常磐富岡インターチェンジ
一般国道114号	福島県双葉郡 浪江町大字室原	立体接続	浪江インターチェンジ
県道　原町川俣線	福島県南相馬市 原町区	立体接続	南相馬インターチェンジ
一般国道115号	福島県相馬市 粟津	立体接続	相馬インターチェンジ

（4） 工事予算

115，199 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成　10　年　4　月　17　日	
②工事の完成予定年月日	平成　24　年　4　月　8　日	（南相馬～相馬供用開始）
	平成　26　年　12　月　6　日	（浪江～南相馬供用開始）
	平成　27　年　3　月　1　日	（常磐富岡～浪江供用開始）
	令和　3　年　3　月　30　日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

108，797 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　108，797 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力損害により、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

別紙1-E-11

常磐自動車道

（福島県相馬市粟津から福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県相馬市粟津　　から
福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺　　まで

（ロ） 延　　長　　8．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福島県相馬市 粟津　から 福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺　まで	100	8．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間		工事施工	用地買収	摘　要
福島県相馬市 粟津	から	2 車線	4 車線	
福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺	まで			

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道115号	福島県相馬市 粟津	立体接続	相馬インターチェンジ
一般国道113号	福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺	立体接続	新地インターチェンジ

（4） 工事予算

17，386 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日	平成　11　年　1　月　8　日	
②工事の完成年月日	平成　26　年　12　月　6　日	（供用開始）
	平成　31　年　3　月　30　日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

20，449 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　20，449 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力損害により、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

別紙1-E-12

常磐自動車道

（福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺から宮城県亘理郡山元町大平まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺　　から
宮城県亘理郡山元町大平　　まで

（ロ） 延　　長　　14．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺　から 宮城県亘理郡 山元町大平　まで	100	14．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺　から 宮城県亘理郡 山元町大平　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道113号	福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺	立体接続	新地インターチェンジ
一般国道6号	宮城県亘理郡 山元町大平	立体接続	山元インターチェンジ

（4） 工事予算

35，935 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18　年　4　月　19　日

②工事の完成年月日　　平成　26　年　12　月　6　日　（供用開始）
平成　28　年　4　月　1　日　（一部供用開始）
平成　31　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

46，197 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　46，197 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力損害により、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

別紙1-E-15

東関東自動車道水戸線

（埼玉県三郷市鷹野三丁目から千葉県松戸市三矢小台二丁目まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県三郷市鷹野三丁目　　から
千葉県松戸市三矢小台二丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　5．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
埼玉県三郷市鷹野三丁目　から 千葉県松戸市三矢小台二丁目　まで	80	5．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
埼玉県三郷市鷹野三丁目　から 千葉県松戸市三矢小台二丁目　まで	4 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道298号	埼玉県三郷市 鷹野三丁目	立体接続	三郷南インターチェンジ
一般国道298号	千葉県松戸市 三矢小台二丁目	立体接続	松戸インターチェンジ

（4） 工事予算

99，710 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　12 日

②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　 6 月　 2 日　（供用開始）

令和　 4 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

89，862 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　89，862 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-16

東関東自動車道水戸線

（千葉県松戸市三矢小台二丁目から千葉県市川市高谷まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県松戸市三矢小台二丁目　　から
千葉県市川市高谷　　まで

（ロ） 延　　長　　10．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県松戸市 三矢小台二丁目	から	80	10．1	
千葉県市川市高谷	まで			

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
千葉県松戸市 三矢小台二丁目　から 千葉県市川市高谷　まで	4 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道298号	千葉県松戸市 三矢小台二丁目	立体接続	松戸インターチェンジ
一般国道298号	千葉県市川市 国分	立体接続	市川北インターチェンジ
一般国道298号	千葉県市川市 平田	立体接続	市川中央インターチェンジ
一般国道14号 （京葉道路）	千葉県市川市 稲荷木	立体接続	京葉ジャンクション
一般国道298号	千葉県市川市 高谷	立体接続	市川南インターチェンジ
県道高速湾岸線	千葉県市川市 高谷	立体接続	高谷ジャンクション
東関東自動車道	千葉県市川市 高谷	立体接続	高谷ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

813，105 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成　11 年　1 月　8 日		
②工事の完成予定年月日	平成　21 年　10 月　13 日	（京葉JCT施工に伴う京葉道路切替）	
	平成　28 年　2 月　25 日	（一部供用開始）	
	平成　30 年　6 月　2 日	（供用開始）	
	令和　4 年　3 月　30 日	（残事業完成）	

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

751，160 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　751，160 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-17

東関東自動車道水戸線

（茨城県鉾田市飯名から茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　茨城県鉾田市飯名　から
茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田　まで

（ロ） 延　　長　　8．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
茨城県鉾田市飯名　から 茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田　まで	100	8．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
茨城県鉾田市飯名　から 茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	—	—	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―　メートル（土工部）
―　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道鉾田茨城線	茨城県鉾田市 飯名	立体接続	鉾田インターチェンジ
県道茨城鹿島線	茨城県東茨城郡 茨城町大字鳥羽田	立体接続	茨城空港北インターチェンジ

（4） 工事予算

26，271 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日

②工事の完成予定年月日　平成　30 年　 2 月　 3 日　（鉾田IC～茨城空港北IC　供用開始）

令和　 7 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

32，281 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　32，281 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-26

北海道縦貫自動車道函館名寄線（八雲PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道二海郡八雲町

別　紙　1

（3） 工事予算

977 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　10 月　10 日　（供用開始）

令和　8 年　3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，201 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，201 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-29

北海道縦貫自動車道函館名寄線（剣淵PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道上川郡剣淵町

別　紙　1

（3） 工事予算

1，366 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　令和　8 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，762 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，689 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-30

北海道横断自動車道黒松内釧路線（銭函IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の箇所

北海道小樽市星野町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
道道銭函インター線	北海道小樽市 星野町	立体接続	銭函インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

5，585 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　8 年　7 月　31 日

②工事の完成予定年月日　　令和　2 年　2 月　24 日　（供用開始）

令和　3 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，828　　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3．828　百万円）（消費税込み）

別紙1-E-31

北海道横断自動車道黒松内釧路線（手稲IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の箇所

北海道札幌市手稲区富丘

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道手稲インター線	北海道札幌市 手稲区富丘	立体接続	手稲インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，267 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　18 日

②工事の完成予定年月日　　令和　 元 年　11 月　24 日　（供用開始）

令和　 3 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，543　　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，543　　百万円）（消費税込み）

別紙1-E-34

北海道横断自動車道黒松内北見線（本別JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内北見線

（2） 工事の箇所

北海道中川郡本別町勇足

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
北海道横断自動車道 黒松内釧路線	北海道中川郡 本別町勇足	立体接続	本別ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

1，409 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　令和　8 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，807 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，732 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-37

東北縦貫自動車道弘前線

（東京都練馬区大泉町五丁目から埼玉県川口市赤芝新田まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

東京都練馬区大泉町五丁目　　から
埼玉県川口市赤芝新田　　まで

別　紙　1

（3） 工事予算

12，785 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　8 年　7 月　31 日

②工事の完成予定年月日　　令和　3 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，290 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，007 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-42

東北縦貫自動車道弘前線(福島JCT)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

福島県福島市笹谷

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
東北中央自動車道 相馬尾花沢線	福島県福島市笹谷	平面接続	福島ジャンクション

（4） 工事予算

8，462 百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　平成　28 年　9 月　11 日　（供用開始）

令和　3 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

9，517 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　9，517 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力損害により、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

別紙1-E-56

日本海沿岸東北自動車道（雄和PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

日本海沿岸東北自動車道

（2） 工事の箇所

秋田県秋田市

別　紙　1

（3） 工事予算

1，307 百万円　（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 4 月　30 日

②工事の完成予定年月日　　令和　 7 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，457 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，403 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-57

東北中央自動車道相馬尾花沢線（山形PA）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北中央自動車道相馬尾花沢線

（2） 工事の箇所

山形県山形市

別　紙　1

（3） 工事予算

1，818 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　4 月　13 日（供用開始）
令和　3 年　3 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，374 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，374 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-58

東北中央自動車道相馬尾花沢線
（山形県天童市大字大町から山形県東根市大字羽入まで）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北中央自動車道相馬尾花沢線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　山形県天童市大字大町　　から
山形県東根市大字羽入　　まで

（ロ） 延　　長　　1．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
山形県天童市 大字大町　から 山形県東根市 大字羽入　まで	100	1．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山形県天童市 大字大町　から 山形県東根市 大字羽入　まで	4 車線	4 車線	付加車線事業

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50	2．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 中央帯の標準幅員

ー　　メートル

（チ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
国道287号	山形県東根市大字羽入	立体接続	東根インターチェンジ
東北中央自動車道相馬尾花沢線	山形県東根市大字羽入	平面接続	本線 （新直轄）

（4） 工事予算

3，717 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年 12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成 29 年　6 月 21 日（外々運用）
平成 31 年　3 月 23 日（供用開始）
令和　3 年　3 月 30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

4，156 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　4，156 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-61

関越自動車道新潟線

（埼玉県深谷市本田から群馬県渋川市八木原まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道　新潟線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間

Ⅰ	埼玉県深谷市本田	から
	埼玉県深谷市黒田	まで
Ⅱ	埼玉県本庄市児玉町高関	から
	埼玉県児玉郡上里町大字嘉美	まで
Ⅲ	群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田	から
	群馬県渋川市八木原	まで

（ロ） 延　　長

Ⅰ	埼玉県深谷市本田	から	2．3　キロメートル
	埼玉県深谷市黒田	まで	
Ⅱ	埼玉県本庄市児玉町高関	から	1．7　キロメートル
	埼玉県児玉郡上里町大字嘉美	まで	
Ⅲ	群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田	から	1．8　キロメートル
	群馬県渋川市八木原	まで	

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設計区間			設計速度（キロメートル/時）	延長（キロメートル）	摘要
Ⅰ	埼玉県深谷市本田	から	120	2．3	
	埼玉県深谷市黒田	まで			
Ⅱ	埼玉県本庄市児玉町高関	から	120	1．7	
	埼玉県児玉郡上里町大字嘉美	まで			
Ⅲ	群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田	から	120	1．8	
	群馬県渋川市八木原	まで			

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　3．50 メートル　（ただし、Ⅰ 埼玉県深谷市本田から埼玉県深谷市畠山までは3．00メートル（登坂車線））

（ホ） 車線数

設　計　区　間			工事施工		用地買収		摘　要
Ⅰ	埼玉県深谷市本田 埼玉県深谷市黒田	から まで	6	車線	6	車線	付加車線事業
Ⅱ	埼玉県本庄市児玉町高関 埼玉県児玉郡上里町大字嘉美	から まで	6	車線	6	車線	付加車線事業
Ⅲ	群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田 群馬県渋川市八木原	から まで	4	車線	4	車線	付加車線事業

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		摘　要
	左　側	計	左　側	計	左　側	計	
土工（掘割）部分	1．75	1．75	2．50	2．50	2．50	2．50	
トンネル部分	－	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75	1．75	－	－	2．50	2．50	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．50	1．50	2．50	2．50	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

8，348 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成　16 年　6 月　29 日		
②工事の完成予定年月日	平成　22 年　12 月　17 日	（本庄児玉IC　供用開始）	
	平成　23 年　3 月　17 日	（花園IC、渋川伊香保IC　供用開始）	
	平成　30 年　8 月　9 日	（花園IC　供用開始）	
	令和　3 年　3 月　30 日	（残事業完成）	

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

9，686 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　9，686 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-64

常磐自動車道

（埼玉県川口市赤芝新田から埼玉県三郷市番匠免二丁目まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

埼玉県川口市赤芝新田　　から
埼玉県三郷市番匠免二丁目　　まで

別　紙　1

（3） 工事予算

9，114 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　8 年　7 月　31 日

②工事の完成予定年月日　　令和　3 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2．289 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，194 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-65

常磐自動車道（八潮PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

埼玉県八潮市

別　紙　1

（3） 工事予算

25，619 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　18 日

②工事の完成予定年月日　　令和　 9 年　 3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

31，238 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　29，766 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-69

常磐自動車道（鳥の海PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

宮城県亘理郡亘理町

別　紙　1

（3） 工事予算

1，079 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　 6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　12 月　 6 日　（供用開始）

令和　 3 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，361 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，361 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-73

東関東自動車道水戸線

（埼玉県三郷市番匠免二丁目から埼玉県三郷市鷹野三丁目まで）（二次改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

埼玉県三郷市番匠免二丁目　　から
埼玉県三郷市鷹野三丁目　　まで

別　紙　1

（3） 工事予算

1，774 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　1 月　20 日

②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　6 月　2 日　（一部供用開始）
令和　3 年　3 月　31 日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，006 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，933 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-75

東関東自動車道水戸線（三郷JCT（ 二次改築））に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

Ⅰ	埼玉県三郷市天神 埼玉県三郷市上口	から まで
Ⅱ	埼玉県三郷市番匠免二丁目	

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
常磐自動車道 一般国道298号 県道高速足立三郷線	埼玉県三郷市 番匠免二丁目	立体接続	三郷ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

19，761 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	12 年	1 月	12 日	
②工事の完成予定年月日	平成	24 年	9 月	14 日	（BHランプ供用開始）
	平成	25 年	4 月	3 日	（Bランプ供用開始）
	平成	26 年	7 月	30 日	（一部供用開始）
	平成	30 年	4 月	11 日	（Rランプ供用開始）
	令和	3 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

21,420 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　21,420 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-76

東関東自動車道水戸線（三郷中央IC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

埼玉県三郷市谷口

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道298号	埼玉県三郷市 谷口	立体接続	三郷中央インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

3，133 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　1 月　12 日

②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　6 月　2 日　（供用開始）
令和　3 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，424 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，424 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-80

東関東自動車道水戸線（大栄JCT）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

千葉県成田市吉岡

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	千葉県成田市 吉岡	立体接続	大栄ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

2，245 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　令和　7 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，994 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，889 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-86

一般国道468号（横浜横須賀道路）

（神奈川県横浜市金沢区釜利谷町から神奈川県横浜市戸塚区原宿三丁目まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 横浜横須賀道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県横浜市金沢区釜利谷町　　から
神奈川県横浜市戸塚区原宿三丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　8．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町　から 神奈川県横浜市 戸塚区原宿三丁目　まで	80	8．7	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町　から 神奈川県横浜市 戸塚区原宿三丁目　まで	6 車線	6 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2 （1．75×2）	5．00 （3．50）	－	－	－	
トンネル部分	0．75×2	1．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道16号（横浜横須賀道路）	神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町	立体接続	釜利谷ジャンクション
都市計画道路 上郷公田線	神奈川県横浜市 栄区公田町	立体接続	公田インターチェンジ（仮称）
一般国道468号（横浜湘南道路） 及び都市計画道路　横浜藤沢線	神奈川県横浜市 栄区田谷町	立体接続	栄インター・ジャンクション（仮称）
一般国道1号	神奈川県横浜市 戸塚区原宿三丁目	立体接続	戸塚インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

370，175 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 神奈川県横浜市金沢区釜利谷町（STA0＋00）から神奈川県横浜市金沢区釜利谷町（STA2＋40）まで
平成 13 年 3 月 10 日

ロ 神奈川県横浜市金沢区釜利谷町（STA2＋40）から神奈川県横浜市栄区飯島町（STA59＋30）まで
平成 13 年 8 月 14 日

ハ 神奈川県横浜市栄区飯島町（STA59＋30）から神奈川県横浜市戸塚区原宿三丁目（STA87＋00）まで
令和 2 年 4 月 1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　令和 8 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

437，781 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　420，383 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-90

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）
（埼玉県桶川市大字川田谷から埼玉県久喜市菖蒲町上大崎まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県桶川市大字川田谷　　から
埼玉県久喜市菖蒲町上大崎　　まで

（ロ） 延　　長　　10．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設　計　区　間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
埼玉県桶川市大字川田谷 埼玉県久喜市菖蒲町上大崎	から まで	100	10．8	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設　計　区　間		工事施工	用地買収	摘　要
埼玉県桶川市大字川田谷 埼玉県久喜市菖蒲町上大崎	から まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道17号	埼玉県桶川市大字川田谷	立体接続	桶川北本インターチェンジ
県道川越栗橋線	埼玉県桶川市大字加納	立体接続	桶川加納インターチェンジ
一般国道122号	埼玉県久喜市菖蒲町	立体接続	白岡菖蒲インターチェンジ

（4） 工事予算

69，965 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日

イ　埼玉県桶川市大字川田谷(STA133+43)から埼玉県桶川市大字川田谷(STA134+95)まで
平成 27 年 3 月 1 日

ロ　埼玉県桶川市大字川田谷(STA134+95)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA151+00)まで
平成 26 年 4 月 1 日

ハ　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA151+00)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA152+60)まで
平成 26 年 11 月 1 日

ニ　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA152+60)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA155+20)まで
平成 26 年 8 月 1 日

ホ　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA155+20)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA156+49)まで
平成 26 年 8 月 20 日

ヘ　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA156+49)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA159+19)まで
平成 26 年 12 月 1 日

ト　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA159+19)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA161+94)まで
平成 26 年 12 月 20 日

別　紙　1

チ　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA161+94)から埼玉県北本市大字二ツ家(STA164+22)まで
　　平成　27　年　1　月　1　日

リ　埼玉県北本市大字二ツ家(STA164+22)から埼玉県北本市大字二ツ家(STA167+37)まで
　　平成　26　年　12　月　11　日

ヌ　埼玉県北本市大字二ツ家(STA167+37)から埼玉県桶川市大字加納(STA167+86)まで
　　平成　27　年　1　月　1　日

ル　埼玉県桶川市大字加納(STA167+86)から埼玉県桶川市大字加納(STA168+46)まで
　　平成　27　年　2　月　16　日

ヲ　埼玉県桶川市大字加納(STA168+46)から埼玉県桶川市大字加納(STA170+65)まで
　　平成　27　年　1　月　1　日

ワ　埼玉県桶川市大字加納(STA170+65)から埼玉県桶川市大字加納(STA179+47)まで
　　平成　27　年　3　月　1　日

カ　埼玉県桶川市大字加納(STA179+47)から埼玉県桶川市大字加納(STA180+84)まで
　　平成　27　年　3　月　1　日

ヨ　埼玉県桶川市大字加納(STA180+84)から埼玉県桶川市大字加納(STA182+59)まで
　　平成　25　年　4　月　1　日

タ　埼玉県桶川市大字加納(STA182+59)から埼玉県桶川市大字加納(STA183+91)まで
　　平成　24　年　12　月　21　日

別　紙　1

レ　埼玉県桶川市大字加納（STA183+91）から埼玉県桶川市大字加納（STA184+44）まで
　　平成　25　年　4　月　1　日

ソ　埼玉県桶川市大字加納（STA184+44）から埼玉県桶川市大字加納（STA187+47）まで
　　平成　24　年　2　月　1　日

ツ　埼玉県桶川市大字加納（STA187+47）から埼玉県桶川市大字加納（STA187+88）まで
　　平成　24　年　10　月　16　日

ネ　埼玉県桶川市大字加納（STA187+88）から埼玉県桶川市赤堀（STA191+49）まで
　　平成　23　年　12　月　15　日

ナ　埼玉県桶川市赤堀（STA191+49）から埼玉県桶川市赤堀（STA192+00）まで
　　平成　24　年　4　月　1　日

ラ　埼玉県桶川市赤堀（STA192+00）から埼玉県桶川市大字五丁台（STA195+00）まで
　　平成　23　年　12　月　15　日

ム　埼玉県桶川市大字五丁台（STA195+00）から埼玉県桶川市大字五丁台（STA196+70）まで
　　平成　24　年　4　月　1　日

ウ　埼玉県桶川市大字五丁台（STA196+70）から埼玉県桶川市大字五丁台（STA197+16）まで
　　平成　26　年　8　月　22　日

ノ　埼玉県桶川市大字五丁台（STA197+16）から埼玉県桶川市大字五丁台（STA198+35）まで
　　平成　24　年　12　月　21　日

別　紙　1

オ　埼玉県桶川市大字五丁台（STA198+35）から埼玉県久喜市菖蒲町下栢間（STA207+94）まで
　　平成　24　年　4　月　1　日

ク　埼玉県久喜市菖蒲町下栢間（STA207+94）から埼玉県久喜市菖蒲町下栢間（STA210+35）まで
　　平成　26　年　4　月　1　日

ヤ　埼玉県久喜市菖蒲町下栢間（STA210+35）から埼玉県久喜市菖蒲町上大崎（STA241+72）まで
　　平成　25　年　10　月　1　日

桶川北本IC　ランプ部

マ　埼玉県桶川市大字川田谷（B-STA2+31）から埼玉県桶川市大字川田谷(B-STA4+51)まで
　　平成　26　年　4　月　1　日

ケ　埼玉県桶川市大字川田谷（C-STA0+74）から埼玉県桶川市大字川田谷(C-STA5+92)まで
　　平成　25　年　3　月　1　日

フ　埼玉県桶川市大字川田谷（C-STA5+92）から埼玉県桶川市大字川田谷(C-STA6+73)まで
　　平成　27　年　3　月　1　日

コ　埼玉県桶川市大字川田谷（C-STA6+73）から埼玉県桶川市大字川田谷(C-STA7+90)まで
　　平成　25　年　3　月　1　日

エ　埼玉県桶川市大字川田谷（C-STA7+90）から埼玉県桶川市大字川田谷(C-STA9+42)まで
　　平成　26　年　4　月　1　日

別　紙　1

テ　埼玉県桶川市大字川田谷(D-STA5+81)から埼玉県桶川市大字川田谷(D-STA10+26)まで
　　平成　25　年　3　月　1　日

桶川加納IC　ランプ部

ア　埼玉県桶川市大字加納(A-STA1+70)から埼玉県桶川市大字加納(A-STA2+50)まで
　　平成　26　年　12　月　1　日

サ　埼玉県桶川市大字加納(B-STA2+72)から埼玉県桶川市大字加納(B-STA3+02)まで
　　平成　25　年　11　月　1　日

キ　埼玉県桶川市大字加納(C-STA1+99)から埼玉県桶川市大字加納(C-STA3+80)まで
　　平成　24　年　5　月　15　日

ユ　埼玉県桶川市大字加納(D-STA2+33)から埼玉県桶川市大字加納(D-STA2+72)まで
　　平成　24　年　5　月　15　日

メ　埼玉県桶川市大字加納(D-STA2+72)から埼玉県桶川市大字加納(D-STA4+40)まで
　　平成　27　年　2　月　11　日

桶川加納IC　料金所部

ミ　埼玉県桶川市大字加納(B-STA0+80)から埼玉県桶川市大字加納(E-STA0+50)まで
　　平成　24　年　5　月　15　日

桶川加納IC　ランプ部

シ　埼玉県桶川市大字加納(E-STA1+30)から埼玉県桶川市大字加納(E-STA1+58)まで
　　平成　25　年　10　月　1　日

別　紙　1

ヒ　埼玉県桶川市大字加納（G-STA1+98）から埼玉県桶川市大字加納(G-STA2+48)まで
　　平成　24　年　5　月　15　日

モ　埼玉県桶川市大字加納（G-STA2+98）から埼玉県桶川市大字加納(G-STA3+32)まで
　　平成　26　年　1　月　1　日

セ　埼玉県桶川市大字加納（H-STA2+32）から埼玉県桶川市大字加納(H-STA3+07)まで
　　平成　24　年　5　月　15　日

菖蒲PA

ス　埼玉県久喜市菖蒲町下栢間(STA207+22)から埼玉県久喜市菖蒲町下栢間(STA210+87)まで
　　平成　26　年　12　月　21　日

ス－1　埼玉県久喜市菖蒲町下栢間(STA207+87)から埼玉県久喜市菖蒲町下栢間(STA208+60)まで
　　平成　27　年　4　月　30　日

別　紙　1

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成年月日　　平成　27 年　10 月　31 日（供用開始）

令和　　3 年　　3 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

72，510 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　72，510 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-95

一般国道468号（東京湾横断・木更津東金道路）
（千葉県東金市丹尾から千葉県茂原市石神まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 東京湾横断･木更津東金道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　千葉県東金市丹尾　から
千葉県茂原市石神　まで

（ロ） 延　　長　21．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設　計　区　間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県東金市丹尾　から 千葉県茂原市石神　まで	100	21．6	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
千葉県東金市丹尾　から 千葉県茂原市石神　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．00×2	2．00	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道126号	千葉県東金市丹尾	立体接続	東金ジャンクション
市道5164号線	千葉県東金市山台	立体接続	東金インターチェンジ
県道五井本納線	千葉県茂原市上太田	立体接続	茂原北インターチェンジ
一般国道409号 （茂原・一宮・大原道路）	千葉県長生郡長南町坂本	立体接続	茂原長南インターチェンジ

（4） 工事予算

23，110 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ 千葉県東金市丹尾（STA0－01）から千葉県東金市小野（STA7＋60）まで
平成　24 年 11 月 1 日

イ 千葉県東金市小野（STA7＋60）から千葉県東金市小野（STA8＋60）まで
平成　24 年 10 月 1 日

イ 千葉県東金市小野（STA8＋60）から千葉県東金市小野（STA11＋60）まで
平成　24 年 12 月 1 日

ロ 千葉県東金市小野（STA11＋60）から千葉県東金市小野（STA14＋20）まで
平成　24 年 8 月 1 日

ロ 千葉県東金市小野（STA14＋20）から千葉県東金市丘山台（STA16＋40）まで
平成　24 年 11 月 1 日

ロ 千葉県東金市丘山台（STA16＋40）から千葉県東金市小野（STA19＋00）まで
平成　24 年 10 月 1 日

ハ 千葉県東金市小野（STA19＋00）から千葉県大網白里町養安寺（STA21＋35）まで
平成　24 年 12 月 1 日

別　紙　1

ニ　千葉県大網白里町養安寺（STA21＋35）から千葉県大網白里町小西（STA27＋85）まで
　平成　24　年　12　月　1　日

ホ　千葉県大網白里町小西（STA27＋85）から千葉県大網白里町餅木（STA33＋69．5）まで
　平成　24　年　9　月　1　日

ヘ　千葉県大網白里町餅木（STA33+69．5）から千葉県大網白里町餅木（STA35＋23）まで
　平成　24　年　6　月　1　日

ト　千葉県大網白里町餅木（STA35＋23）から千葉県大網白里町金谷郷（STA48＋69）まで
　平成　24　年　2　月　15　日

チ　千葉県大網白里町金谷郷（STA48＋69）から千葉県大網白里町南玉（STA57＋23）まで
　平成　24　年　10　月　1　日

リ　千葉県大網白里町南玉（STA57＋23）から千葉県千葉市緑区小食土町（STA65＋40）まで
　平成　21　年　8　月　1　日

ヌ　千葉県千葉市緑区小食土町（STA65＋40）から千葉県千葉市緑区小食土町（STA65＋70）まで
　平成　24　年　6　月　1　日

ル　千葉市緑区小食土町（STA65＋70）から千葉県大網白里町小中（STA80＋00）まで
　平成　21　年　8　月　1　日

ヲ　千葉県大網白里町小中（STA80＋00）から千葉県大網白里町神房（STA86＋00）まで
　平成　19　年　12　月　1　日

別　紙　1

ワ　千葉県大網白里町神房（STA86＋00）から千葉県茂原市柴名（STA106＋94）まで
　平成　21 年　8 月　1 日

カ　千葉県茂原市柴名（STA106＋94）から千葉県茂原市柴名（STA109＋20）まで
　平成　19 年 12 月　1 日

ヨ　千葉県茂原市柴名（STA109＋20）から千葉県茂原市柴名（STA113＋60）まで
　平成　24 年　5 月　1 日

タ　千葉県茂原市柴名（STA113＋60）から千葉県茂原市上太田（STA123＋11）まで
　平成　24 年 10 月　9 日

レ　千葉県茂原市上太田（STA123＋11）から千葉県茂原市上太田（STA124＋34）まで
　平成　24 年 11 月　1 日

ソ　千葉県茂原市上太田（STA124＋34）から千葉県茂原市真名（STA148＋91）まで
　平成　24 年　2 月 15 日

ツ　千葉県茂原市真名（STA148＋91）から千葉県茂原市真名（STA156＋20）まで
　平成　24 年　5 月　1 日

ネ　千葉県茂原市真名（STA156＋20）から千葉県長柄町榎本（STA179＋60）まで
　平成　24 年　2 月 15 日

ナ　千葉県長柄町榎本（STA179＋60）から千葉県長柄町榎本（STA183＋80）まで
　平成　24 年　7 月　1 日

別　紙　1

ラ　千葉県長柄町榎本（STA183＋80）から千葉県長柄町榎本（STA187＋78）まで
　平成　24 年　8 月　1 日

ラ　千葉県長柄町榎本（STA187＋78）から千葉県長南町須田（STA194＋40）まで
　平成　24 年　7 月　1 日

ム　千葉県長南町須田（STA194＋40）から千葉県長南町関原（STA203＋88．2）まで
　平成　24 年　8 月　1 日

ウ　千葉県長南町関原（STA203＋88．2）から千葉県茂原市石神（STA210＋39）まで
　平成　24 年　7 月　1 日

ノ　千葉県茂原市石神（STA210＋39）から千葉県茂原市石神（STA216＋20）まで
　平成　24 年　9 月　1 日

東金JCT　Cランプ
イ　千葉県東金市山田（STA5＋18）から千葉県東金市山田（STA6＋20）まで
　平成　24 年 12 月　1 日

別　紙　1

茂原北IC　ランプ部
オ　千葉県茂原市柴名（STA4＋20）から千葉県茂原市上太田（STA0＋60）まで
　平成　19 年 12 月 1 日

ク　千葉県茂原市上太田（STA0＋60）から千葉県茂原市上太田（STA0＋20）まで
　平成　20 年 10 月 1 日

ヤ　千葉県茂原市上太田（STA0＋20）から千葉県茂原市上太田（STA2＋10）まで
　平成　19 年 12 月 1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成 23 年 10 月 20 日　　（東金ICランプ切替）

　　平成 25 年 4 月 27 日　　（供用開始）

　　令和 2 年 3 月 30 日　　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

25，233 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　25，233 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-96

一般国道468号（東京湾横断・木更津東金道路）
（千葉県茂原市石神から千葉県木更津市下郡まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 東京湾横断・木更津東金道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県茂原市石神　　から
千葉県木更津市下郡　　まで

（ロ） 延　　長　　21．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県茂原市石神 千葉県木更津市下郡	から まで	100	21．3	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘　要
千葉県茂原市石神 千葉県木更津市下郡	から まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．00×2	2．00	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道409号 （茂原・一宮・大原道路）	千葉県長生郡長南町坂本	立体接続	茂原長南インターチェンジ
一般国道297号	千葉県市原市田尾	立体接続	市原鶴舞インターチェンジ
一般国道410号バイパス	千葉県木更津市下郡	立体接続	木更津東インターチェンジ

（4） 工事予算

13，660 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　　千葉県茂原市石神（STA216＋20）から千葉県長生郡長南町坂本（STA219＋73）まで
平成 24 年 9 月 1 日

ロ　　千葉県長生郡長南町坂本（STA219＋73）から千葉県長生郡長南町坂本（STA220＋73）まで
平成 24 年 5 月 1 日

ハ　　千葉県長生郡長南町坂本（STA220＋73）から千葉県長生郡長南町坂本（STA222＋77）まで
平成 24 年 7 月 18 日

ニ　　千葉県長生郡長南町坂本（STA222＋77）から千葉県長生郡長南町坂本（STA233＋60）まで
平成 24 年 5 月 1 日

ホ－1　千葉県長生郡長南町坂本（STA233＋60）から千葉県長生郡長南町報恩寺（STA243＋17）まで
平成 24 年 11 月 1 日

ホ－2　千葉県長生郡長南町報恩寺（STA243＋17）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA250＋00）まで
平成 24 年 8 月 1 日

ホ－3　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA250＋00）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA252＋59）まで
平成 24 年 9 月 1 日

別　紙　1

ホ － 4　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA252＋59）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA252＋64）まで
平成　24　年　8　月　1　日

ホ － 5　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA252＋64）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA253＋00）まで
平成　24　年　10　月　1　日

ヘ － 1　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA253＋00）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA253＋05）まで
平成　24　年　8　月　1　日

ヘ － 2　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA253＋05）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA259＋20）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ヘ － 3　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA259＋20）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA262＋60）まで
平成　24　年　11　月　1　日

ト － 1　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA262＋60）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA266＋60）まで
平成　24　年　10　月　1　日

ト － 2　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA266＋60）から千葉県長生郡長南町岩撫（STA272＋86）まで
平成　24　年　12　月　1　日

チ － 1　千葉県長生郡長南町岩撫（STA272＋86）から千葉県市原市田尾（STA297＋06）まで
平成　24　年　3　月　26　日

チ － 2　千葉県市原市田尾（STA297＋06）から千葉県市原市田尾（STA298＋49．7）まで
平成　24　年　10　月　1　日

別　紙　1

リ － 1　千葉県市原市田尾（STA298＋49．7）から千葉県市原市山小川（STA306＋80）まで
　　平成　24　年　12　月　1　日

リ － 2　千葉県市原市山小川（STA306＋80）から千葉県市原市山小川（STA307＋10）まで
　　平成　25　年　2　月　1　日

リ － 3　千葉県市原市山小川（STA307＋10）から千葉県市原市山小川（STA308＋40）まで
　　平成　24　年　12　月　1　日

リ － 4　千葉県市原市山小川（STA308＋40）から千葉県市原市山小川（STA309＋00）まで
　　平成　25　年　2　月　1　日

ヌ － 1　千葉県市原市山小川（STA309＋00）から千葉県市原市山小川（STA310＋00）まで
　　平成　25　年　2　月　1　日

ヌ － 2　千葉県市原市山小川（STA310＋00）から千葉県市原市不入（STA313＋81）まで
　　平成　24　年　12　月　1　日

ヌ － 3　千葉県市原市不入（STA313＋81）から千葉県市原市不入（STA316＋57）まで
　　平成　24　年　11　月　1　日

ヌ － 4　千葉県市原市不入（STA316＋57）から千葉県市原市大和田（STA317＋60）まで
　　平成　24　年　12　月　1　日

ヌ － 5　千葉県市原市大和田（STA317＋60）から千葉県市原市大和田（STA320＋05）まで
　　平成　25　年　2　月　20　日

別　紙　1

ヌ － 6　千葉県市原市大和田（STA320＋05）から千葉県市原市大和田（STA321＋18）まで
　　平成　24　年　12　月　1　日

ヌ － 7　千葉県市原市大和田（STA321＋18）から千葉県市原市大和田（STA321＋80）まで
　　平成　24　年　11　月　1　日

ヌ － 8　千葉県市原市大和田（STA321＋80）から千葉県市原市大和田（STA325＋40）まで
　　平成　24　年　12　月　1　日

ヌ － 9　千葉県市原市大和田（STA325＋40）から千葉県市原市養老（STA327＋3．5）まで
　　平成　25　年　2　月　12　日

ヌ － 10　千葉県市原市養老（STA327＋3．5）から千葉県市原市久保（STA332＋57）まで
　　平成　24　年　12　月　1　日

ヌ － 11　千葉県市原市久保（STA332＋57）から千葉県市原市久保（STA332＋72．6）まで
　　平成　24　年　11　月　1　日

ヌ － 12　千葉県市原市久保（STA332＋72．6）から千葉県市原市山口（STA340＋34）まで
　　平成　24　年　12　月　1　日

ル － 1　千葉県市原市山口（STA340＋34）から千葉県市原市山口（STA358＋20）まで
　　平成　24　年　11　月　1　日

ル － 2　千葉県市原市山口（STA358＋20）から千葉県市原市山口（STA360＋84）まで
　　平成　25　年　2　月　1　日

別　紙　1

ヲ　　千葉県市原市山口（STA360＋84）から千葉県木更津市真理谷（STA367＋59）まで
平成　24　年　11　月　1　日

ワ－1　千葉県木更津市真理谷（STA367＋59）から千葉県木更津市真理谷（STA372＋41）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ワ－2　千葉県木更津市真理谷（STA372＋41）から千葉県木更津市真理谷（STA375＋21）まで
平成　24　年　10　月　1　日

カ　　千葉県木更津市真理谷（STA375＋21）から千葉県木更津市真理谷（STA380＋69）まで
平成　23　年　11　月　21　日

ヨ　　千葉県木更津市真理谷（STA380＋69）から千葉県木更津市真理谷（STA392＋12）まで
平成　24　年　8　月　1　日

タ－1　千葉県木更津市真理谷（STA392＋12）から千葉県木更津市真理谷（STA394＋80）まで
平成　24　年　11　月　1　日

タ－2　千葉県木更津市真理谷（STA394＋80）から千葉県木更津市真理谷（STA400＋51）まで
平成　24　年　3　月　26　日

レ　　千葉県木更津市真理谷（STA400＋51）から千葉県木更津市真理谷（STA402＋30．7）まで
平成　23　年　11　月　21　日

ソ　　千葉県木更津市真理谷（STA402＋30．7）から千葉県木更津市真理谷（STA404＋78）まで
平成　24　年　3　月　26　日

別　紙　1

ツ　　千葉県木更津市真理谷（STA404＋78）から千葉県木更津市茅野（STA413＋63．6）まで
　　平成　23　年　11　月　21　日

ネ　　千葉県木更津市茅野（STA413＋63．6）から千葉県木更津市下郡（STA429＋17）まで
　　平成　24　年　12　月　1　日

茂原長南IC 料金所部

ナ　　千葉県長生郡長南町坂本（C1-STA0＋19．2）から千葉県長生郡長南町坂本（E-STA1+10．8）まで
　　平成　23　年　11　月　21　日

茂原長南IC 管理施設部

ラ－　1　千葉県長生郡長南町坂本（C1-STA3＋88．5）から千葉県長生郡長南町坂本（E-STA3＋7）まで
　　平成　24　年　3　月　26　日

ラ－　2　千葉県茂原市石神（B-STA1＋3）から千葉県茂原市石神（B-STA2＋1．8）まで
　　平成　24　年　7　月　18　日

ラ－　3　千葉県茂原市石神（C1-STA0＋0）から千葉県茂原市石神（C1-STA2＋0）まで
　　平成　24　年　7　月　18　日

ラ－　4　千葉県長生郡長南町千手堂（E-STA0＋0）から千葉県長生郡長南町千手堂（E-STA12＋15）まで
　　平成　24　年　7　月　18　日

ラ－　5　千葉県長生郡長南町千手堂（F-STA12＋18．6）から千葉県長生郡長南町千手堂（F-STA21＋10）まで
　　平成　24　年　7　月　18　日

別　紙　1

ラ－　6　千葉県長生郡長南町千手堂（G-STA12＋11）から千葉県長生郡長南町千手堂（G-STA21＋00）まで
平成　24　年　7　月　18　日

市原鶴舞IC

ム－　1　千葉県市原市山小川（A-STA2＋25．4）から千葉県市原市山小川（A-STA5＋44．9）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ム－　2　千葉県市原市山小川（B-STA2＋25．4）から千葉県市原市山小川（B-STA6＋11．9）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ム－　3　千葉県市原市山小川（B-STA6＋11．9）から千葉県市原市山小川（B-STA6＋42）まで
平成　25　年　2　月　1　日

ム－　4　千葉県市原市山小川（B-STA6＋42）から千葉県市原市山小川（B-STA7＋72）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ム－　5　千葉県市原市山小川（B-STA7＋72）から千葉県市原市山小川（B-STA8＋32．2）まで
平成　25　年　2　月　1　日

ム－　6　千葉県市原市山小川（C1-STA0＋8．9）から千葉県市原市山小川（C1-STA4＋14．7）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ム－　7　千葉県市原市山小川（C2-STA4＋8．5）から千葉県市原市山小川（C2-STA7＋8．6）まで
平成　24　年　12　月　1　日

別　紙　1

ム－ 8　千葉県市原市山小川（C2-STA7＋8．6）から千葉県市原市山小川（C2-STA7＋38．9）まで
平成　25　年　2　月　1　日

ム－ 9　千葉県市原市山小川（C2-STA7＋38．9）から千葉県市原市山小川（C2-STA7＋91．9）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ム－ 10　千葉県市原市山小川（D-STA4＋9．1）から千葉県市原市山小川（D-STA8＋26．5）まで
平成　24　年　12　月　1　日

市原鶴舞IC　料金所部
ウ　千葉県市原市田尾（C1-STA0＋8．95）から千葉県市原市田尾（E-STA0＋41．05）まで
平成　23　年　11　月　21　日

市原鶴舞IC　管理施設部
ノ　千葉県市原市田尾（C1-STA0＋95）から千葉県市原市田尾（E-STA0＋68）まで
平成　24　年　3　月　26　日

市原鶴舞IC　297号接道まで
オ　千葉県市原市田尾（E-STA0＋41．05）から千葉県市原市田尾（E-STA2＋34）まで
平成　24　年　11　月　1　日

高滝湖PA　内回り休憩施設
ク－ 1　千葉県市原市大和田から千葉県市原市大和田まで
平成　24　年　12　月　1　日

別　紙　1

高滝湖PA　外回り休憩施設
ク－２　千葉県市原市大和田から千葉県市原市大和田まで
平成　26　年　12　月　11　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　4　月　27　日　（供用開始）
平成　25　年　7　月　12　日　（高滝湖PA 内回り供用開始）
平成　27　年　8　月　10　日　（高滝湖PA 外回り供用開始）
令和　3　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

14，940 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　14，940 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-99

一般国道14号（京葉道路）（京葉市川PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道14号

（有料道路名 ： 京葉道路）

（2） 工事の箇所

千葉県市川市

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

別　紙　1

（4） 工事予算

17，018 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　7　月　3　日

②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　4 月　24 日　（供用開始）

令和　3 年　3 月　31 日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

18，816 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　18，485 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-101

一般国道16号（横浜横須賀道路）

（神奈川県横浜市金沢区並木三丁目から神奈川県横浜市金沢区釜利谷町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道16号

（有料道路名 ： 横浜横須賀道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県横浜市金沢区並木三丁目　　から
神奈川県横浜市金沢区釜利谷町　　まで

（ロ） 延　　長　　4．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設　計　区　間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県横浜市 金沢区並木三丁目 神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町	から まで	80	4．2	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設　計　区　間		工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県横浜市 金沢区並木三丁目 神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町	から まで	6 車線	6 車線	6車線化

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道長浜第56号	神奈川県横浜市 金沢区並木三丁目	立体接続	並木インターチェンジ
市道長浜第99号	神奈川県横浜市 金沢区並木三丁目	立体接続	並木インターチェンジ
県道高速湾岸線 （首都高速道路湾岸線）	神奈川県横浜市 金沢区並木三丁目	平面接続	並木インターチェンジ
市道堀口第531号	神奈川県横浜市 金沢区能見台東	立体接続	堀口能見台インターチェンジ

（4） 工事予算

176 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　3 年 12 月 17 日

②工事の完成予定年月日　　令和　8 年　3 月 31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

325 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　316 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-104

一般国道126号（千葉東金道路）

（千葉県東金市丹尾から千葉県山武市松尾町谷津まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道126号

（有料道路名 ： 千葉東金道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　千葉県東金市丹尾　から
千葉県山武市松尾町谷津　まで

（ロ） 延　　長　15. 7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　有料道路事業

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県東金市丹尾 千葉県山武市松尾町谷津	から まで	100	15．7	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
千葉県東金市丹尾 千葉県山武市松尾町谷津	から まで	4 車線	4 車線	4車線化事業

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （東京湾横断・木更津東金道路）	千葉県東金市丹尾	平面接続 立体接続	東金ジャンクション
東金市道5146号線	千葉県東金市山台	立体接続	東金インターチェンジ
県道成東酒々井線	千葉県山武市矢部	立体接続	山武成東インターチェンジ
一般国道126号 （銚子連絡道路）	千葉県山武市松尾町谷津	立体接続	松尾横芝インターチェンジ
県道成田松尾線	千葉県山武市松尾町谷津	立体接続	松尾横芝インターチェンジ

（4） 工事予算

18，564 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　7　月　3　日

②工事の完成予定年月日　　令和　9　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

22，087 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　21，078 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-107

一般国道466号（第三京浜道路）（野川IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道466号

（有料道路名 ： 第三京浜道路）

（2） 工事の箇所

神奈川県川崎市宮前区野川

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道尻手黒川線	神奈川県川崎市 宮前区野川	立体接続	野川インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

17，414 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　63　年　1　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　令和　8　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

12，197 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　11，624 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-108

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）

（東京都西多摩郡日の出町平井から埼玉県鶴ヶ島市大字藤金まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

東京都西多摩郡日の出町平井　　から

埼玉県鶴ヶ島市大字藤金　　まで

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

別　紙　1

（4） 工事予算

1，643 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　61　年　12　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　令和　5　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，833 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，757 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-130

東日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る

高速道路利便増進事業に関する計画（スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

（1） 工事予算

43，953 百万円（消費税込み）

（2） 工事に要する費用に係る債務引受限度額

48，256 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円（消費税込み））

（3） 個別箇所に関する工事の内容

個別箇所に関する工事の内容は、下記のとおりとする。
ただし、工事予算及び債務引受限度額については、（1）工事予算及び（2）債務引受限度額の内数である。
また、工事完成後は精算額としている。

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手及び完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
東北縦貫自動車道 弘前線	栃木県 佐野市 黒袴町	県道 佐野環状線	栃木県 佐野市 関川町及び 黒袴町	立体接続	平成21年9月11日	平成23年4月28日 （供用開始） 令和3年3月30日 （残事業完成）	893百万円	1,235百万円	―	佐野 SA
東北縦貫自動車道 弘前線	栃木県 宇都宮市 今里町	県道 上河内 スマート インター線	栃木県 宇都宮市 今里町	立体接続	平成21年9月11日	平成22年12月18日 （供用開始） 平成24年3月28日 （残事業完成）	300百万円	338百万円	―	上河内 SA

別　紙　1

(イ) 路線名	(ロ) 工事の箇所	(ハ)工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			(ニ) 工事の着手及び完成の予定年月日		(ホ) 工事予算 (消費税込み)	(ヘ) 債務引受限度額 (消費税込み)	うち 助成対象 基準額 (消費税込み)	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
東北縦貫自動車道 弘前線	栃木県 那須郡 那須町 豊原丙	県道 那須高原 スマート インター線	栃木県 那須郡 那須町 豊原丙	立体接続	平成21年9月11日	平成22年12月18日 (供用開始) 平成24年3月28日 (残事業完成)	447百万円	483百万円	―	那須 高原 SA
東北横断自動車道 釜石秋田線	秋田県 大仙市 九升田	市道 赤坂強首線	秋田県 大仙市 強首及び 九升田	立体接続	平成21年9月11日	平成23年3月26日 (供用開始) 平成24年3月28日 (残事業完成)	92百万円	96百万円	―	西仙北 SA
東北横断自動車道 いわき新潟線	新潟県 新潟市 秋葉区福島	市道新津 1－90号線 及び 市道新津 1－91号線	新潟県 新潟市 秋葉区福島	立体接続	平成21年9月11日	平成23年12月17日 (供用開始) 平成26年3月30日 (残事業完成)	1,271百万円	1,387百万円	―	本線 直結 型
関越自動車道 新潟線	埼玉県 坂戸市塚崎	市道3979 号路線及び 市道6919 号路線	埼玉県 坂戸市塚崎 及び粟生田	立体接続	平成21年9月11日	平成25年8月25日 (供用開始) 平成27年3月30日 (残事業完成)	1,885百万円	2,132百万円	―	本線 直結 型
関越自動車道 新潟線	群馬県高崎 市上滝町	市道 G680号線 及び 市道 G681号線	群馬県高崎 市上滝町及 び佐波郡玉 村町上新田	立体接続	平成21年9月11日	平成26年2月22日 (供用開始) 平成27年3月30日 (残事業完成)	2,762百万円	3,174百万円	―	本線 直結 型
常磐自動車道	茨城県 石岡市 正上内	市道 A2485号線	茨城県 石岡市 正上内	立体接続	平成21年9月11日	平成23年3月24日 (供用開始) 平成25年3月28日 (残事業完成)	2,772百万円	3,006百万円	―	本線 直結 型
北陸自動車道	新潟県 三条市 福島新田	市道岡野 新田1号線 及び 市道岡野 新田2号線	新潟県 三条市 福島新田	立体接続	平成21年9月11日	平成24年7月14日 (供用開始) 平成26年3月30日 (残事業完成)	904百万円	1,028百万円	―	栄PA

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手及び完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
関越自動車道 新潟線	埼玉県大里郡寄居町用土	深谷市道岡2-570号及び寄居町道A046号線	埼玉県深谷市本郷及び大里郡寄居町用土	立体接続	平成24年5月1日	平成31年3月28日 （下り線供用開始） 令和3年3月31日 （残事業完成）	1,420百万円	1,842百万円	―	寄居PA
関越自動車道 新潟線	埼玉県児玉郡上里町大字五明	町道2480号線及び町道2087号線	埼玉県児玉郡上里町大字五明	立体接続	平成24年5月1日	平成27年12月20日 （供用開始） 平成29年3月30日 （残事業完成）	1,165百万円	1,240百万円	―	上里SA
北陸自動車道	新潟県長岡市上野町	市道上川西398号線及び市道上川西399号線	新潟県長岡市上野町及び大荒戸町	立体接続	平成24年5月1日	平成29年3月25日 （供用開始） 平成30年3月30日 （残事業完成）	2,490百万円	2,569百万円	―	本線直結型
北陸自動車道	新潟県新潟市江南区西野	主要地方道新潟港横越線	新潟県新潟市江南区西野	立体接続	平成24年5月1日	平成28年3月26日 （供用開始） 平成29年3月31日 （残事業完成）	3,376百万円	3,562百万円	―	本線直結型
北海道縦貫自動車道 函館名寄線	北海道砂川市空知太	市道砂川SAスマートインター線	北海道砂川市北光	立体接続	平成25年7月1日	平成27年8月8日 （供用開始） 平成29年3月30日 （残事業完成）	420百万円	455百万円	―	砂川SA
東北縦貫自動車道 弘前線	福島県郡山市大槻町	市道中央インター1号線及び市道中央インター2号線	福島県郡山市大槻町及び片平町	立体接続	平成25年7月1日	平成31年1月13日 （供用開始） 令和2年3月30日 （残事業完成）	2,390百万円	2,802百万円	―	本線直結型
東北縦貫自動車道 弘前線	岩手県奥州市胆沢区小山	市道附野下笹森線及び県道衣川水沢線	岩手県奥州市胆沢区小山	立体接続	平成25年7月1日	平成30年4月21日 （供用開始） 令和2年3月30日 （残事業完成）	2,549百万円	2,766百万円	―	本線直結型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手及び完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
東北縦貫自動車道 弘前線	岩手県紫波郡矢巾町大字煙山	県道不動盛岡線及び町道堤川目線	岩手県紫波郡矢巾町大字上矢次及び煙山	立体接続	平成25年7月1日	平成30年3月24日 （供用開始） 令和2年3月30日 （残事業完成）	1,229百万円	1,337百万円	—	矢巾PA
東北縦貫自動車道 弘前線	岩手県滝沢市高屋敷平	市道茨島土沢線	岩手県滝沢市高屋敷平	立体接続	平成25年7月1日	平成31年4月20日 （供用開始） 令和3年3月30日 （残事業完成）	4,421百万円	4,586百万円	—	本線直結型
常磐自動車道	福島県南相馬市鹿島区浮田字椴木沢	市道西138号線	福島県南相馬市鹿島区浮田字椴木沢	立体接続	平成25年7月1日	平成27年2月21日 （供用開始） 平成28年3月30日 （残事業完成）	286百万円	291百万円	—	南相馬鹿島SA
常磐自動車道	宮城県亘理郡山元町坂元字法羅	町道坂元インター線	宮城県亘理郡山元町坂元字上小山	立体接続	平成25年7月1日	平成29年4月1日 （供用開始） 平成30年3月30日 （残事業完成）	2,740百万円	2,875百万円	—	本線直結型
常磐自動車道	宮城県亘理郡亘理町逢隈高屋	町道亘理スマートインター線	宮城県亘理郡亘理町逢隈高屋字新谷地	立体接続	平成25年7月1日	平成28年3月19日 （供用開始） 平成30年3月30日 （残事業完成）	623百万円	702百万円	—	鳥の海PA
北関東自動車道	群馬県太田市成塚町	市道太田成塚北金井1093号線	群馬県太田市北金井町	立体接続	平成25年7月1日	平成30年7月28日 （供用開始） 令和2年3月30日 （残事業完成）	1,320百万円	1,441百万円	—	太田強戸PA
一般国道6号 （仙台東部道路）	宮城県名取市下増田耕谷	市道飯野坂杉ケ袋線	宮城県名取市下増田耕谷及び飯野坂小揚場	立体接続	平成25年7月1日	平成29年3月18日 （供用開始） 平成30年3月30日 （残事業完成）	2,275百万円	2,352百万円	—	本線直結型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手及び完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
一般国道468号 （東京湾横断・木更津東金道路）	千葉県大網白里市小中	市道01-03 2号線	千葉県大網白里市小中	立体接続	平成25年7月1日	平成31年3月24日 （供用開始） 令和2年3月30日 （残事業完成）	3,173百万円	3,449百万円	―	本線直結型
一般国道468号 （東京湾横断・木更津東金道路）	千葉県茂原市国府関	市道3級42 21号線	千葉県茂原市国府関	立体接続	平成25年7月1日	令和2年2月16日 （供用開始） 令和3年3月30日 （残事業完成）	2,749百万円	3,108百万円	―	本線直結型

別紙1-E-149

関越自動車道上越線

（長野県上水内郡信濃町大字野尻から新潟県上越市大字中屋敷まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道上越線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　長野県上水内郡信濃町大字野尻　　から
新潟県上越市大字中屋敷　　まで

（ロ） 延　　長　　37．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分

設 計 区 間		道路の区分	摘　要
長野県上水内郡信濃町大字野尻	から	第1種第3級	道路構造令
新潟県上越市中郷区二本木	まで		
新潟県上越市中郷区二本木	から	第1種第2級	道路構造令
新潟県上越市大字中屋敷	まで		

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
長野県上水内郡信濃町大字野尻 新潟県上越市中郷区二本木	から まで	80	17．6	
新潟県上越市中郷区二本木 新潟県上越市大字中屋敷	から まで	100	19．9	

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
長野県上水内郡信濃町大字野尻	から	4 車線	4 車線	4車線化
新潟県上越市大字中屋敷	まで			

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

設計区間	構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
		左　側	計	左　側	右　側	計	
長野県上水内郡 信濃町大字野尻 から	土工（掘割）部分	2．50	2．50	－	－	－	
	トンネル部分	－	－	－	－	－	
新潟県上越市 中郷区二本木 まで	橋梁高架部分 （中小橋）	1．75	1．75	－	－	－	
	橋梁高架部分 （長大橋）	1．75	1．75	－	－	－	
新潟県上越市 中郷区二本木 から	土工（掘割）部分	2．50	2．50	2．50	1．25	3．75	
	トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
新潟県上越市 大字中屋敷 まで	橋梁高架部分 （中小橋）	2．50	2．50	2．50	1．25	3．75	
	橋梁高架部分 （長大橋）	2．50	2．50	2．50	1．25	3．75	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

別　紙　1

（チ） 中央帯の標準幅員

設 計 区 間		幅　員	摘　要
長野県上水内郡信濃町大字野尻	から	3．00メートル（土工部）	
新潟県上越市中郷区二本木	まで	3．00メートル（橋梁部）	
新潟県上越市中郷区二本木	から	4．50メートル（土工部）	
新潟県上越市大字中屋敷	まで	4．50メートル（橋梁部）	

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

81，901 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　24　年　5　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　平成　30　年　12　月　7　日　（一部供用開始）

令和　元　年　12　月　5　日　（供用開始）

令和　5　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

88，704 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　88，704 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-150

東関東自動車道千葉富津線

（千葉県木更津市中烏田から千葉県富津市竹岡まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道千葉富津線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　千葉県木更津市中烏田　から
千葉県富津市竹岡　まで

（ロ） 延　　長　20．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県木更津市中烏田 から 千葉県富津市竹岡 まで	100	20．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
千葉県木更津市中烏田　から 千葉県富津市竹岡　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4.5 m メートル（土工部）
4.5 m メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

30，087 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成 24 年 5 月 1 日

②工事の完成予定年月日　平成 31 年 3 月 31 日（木更津南JCT～富津中央IC 供用開始）
令和 2 年 3 月 6 日（富津中央IC～富津竹岡IC 供用開始）
令和 4 年 3 月 30 日（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

33，373 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　33，373 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-151

東関東自動車道水戸線（潮来IC）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

茨城県潮来市福島

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般県道水戸神栖線	茨城県潮来市福島	立体接続	潮来インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，245 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　23 年　4 月　1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　7 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，437 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，372 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（鉾田IC）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

茨城県鉾田市秋山

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道鉾田茨城線	茨城県鉾田市 飯名	立体接続	鉾田インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，490 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　23 年　4 月　1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　7 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，765 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，705 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-154

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）
（埼玉県久喜市下早見から茨城県猿島郡五霞町大字江川まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県久喜市下早見　　から
茨城県猿島郡五霞町大字江川　　まで

（ロ） 延　　長　　12．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設　計　区　間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
埼玉県久喜市下早見 茨城県猿島郡五霞町大字江川	から まで	100	12．7	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設　計　区　間		工事施工	用地買収	摘　要
埼玉県久喜市下早見 茨城県猿島郡五霞町大字江川	から まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	１．７５×２	３．５０	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　３．５　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
東北縦貫自動車道 弘前線	埼玉県久喜市 下早見	立体接続	久喜白岡ジャンクション
都市計画道路 惣新田・幸手線	埼玉県幸手市 大字平須賀	立体接続	幸手インターチェンジ
一般国道4号	茨城県猿島郡五霞町 大字江川	立体接続	五霞インターチェンジ

（4） 工事予算

25，514 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　埼玉県久喜市下早見（STA274+95）から埼玉県幸手市大字上高野（STA331+83）まで
平成　26　年　4　月　1　日

ロ　埼玉県幸手市大字上高野（STA331+83）から埼玉県幸手市大字上高野（STA335+54）まで
平成　26　年　11　月　13　日

ハ　埼玉県幸手市大字上高野（STA335+54）から埼玉県幸手市大字上高野（STA339+04）まで
平成　26　年　10　月　1　日

ニ　埼玉県幸手市大字上高野（STA339+04）から埼玉県幸手市大字平須賀（STA357+16）まで
平成　26　年　4　月　1　日

ホ　埼玉県幸手市大字平須賀（STA357+16）から埼玉県幸手市大字平須賀（STA361+47）まで
平成　24　年　7　月　1　日

ヘ　埼玉県幸手市大字平須賀（STA361+47）から埼玉県幸手市大字平須賀（STA361+56）まで
平成　25　年　1　月　15　日

ト　埼玉県幸手市大字平須賀（STA361+56）から埼玉県幸手市大字木立（STA382+10）まで
平成　24　年　7　月　1　日

別　紙　1

チ　埼玉県幸手市大字木立（STA382+10）から茨城県猿島郡五霞町大字幸主（STA5+37）まで
　　平成　26　年　8　月　1　日

リ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主（STA5+37）から茨城県猿島郡五霞町大字幸主（STA10+43）まで
　　平成　26　年　4　月　1　日

ヌ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主（STA10+43）から茨城県猿島郡五霞町大字幸主（STA12+30）まで
　　平成　26　年　12　月　2　日

ル　茨城県猿島郡五霞町大字幸主（STA12+30）から茨城県猿島郡五霞町大字幸主（STA14+31）まで
　　平成　26　年　10　月　30　日

ヲ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主（STA14+31）から茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA15+01）まで
　　平成　26　年　11　月　13　日

ワ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA15+01)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(STA16+91)まで
　　平成　26　年　10　月　30　日

幸手IC　ランプ部
カ　埼玉県幸手市大字平須賀(D-STA1+28)から埼玉県幸手市大字平須賀(H-STA0+64)まで
　　平成　26　年　5　月　1　日

ヨ　埼玉県幸手市大字平須賀(H-STA0+64)から埼玉県幸手市大字平須賀(H-STA1+10)まで
　　平成　26　年　8　月　1　日

別　紙　1

タ　埼玉県幸手市大字平須賀(A-STA1+06)から埼玉県幸手市大字平須賀(E-STA0+67)まで
　　平成　26　年　5　月　1　日

レ　埼玉県幸手市大字平須賀(E-STA0+67)から埼玉県幸手市大字平須賀(E-STA1+12)まで
　　平成　26　年　8　月　1　日

幸手IC　管理施設部
ソ　埼玉県幸手市大字平須賀(D-STA1+31)から埼玉県幸手市大字平須賀(H-STA0+56)まで
　　平成　26　年　4　月　1　日

五霞IC　ランプ部
ツ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(A-STA0+00)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(A-STA0+12)まで
　　平成　26　年　10　月　30　日

ネ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(A-STA0+12)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(A-STA1+93)まで
　　平成　26　年　12　月　2　日

ナ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(B-STA1+86)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(B-STA3+68)まで
　　平成　26　年　12　月　2　日

ラ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(C-STA0+52)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(C-STA2+25)まで
　　平成　26　年　11　月　13　日

ム　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(D-STA1+79)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(D-STA4+50)まで
　　平成　26　年　10　月　30　日

別　紙　1

ウ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(E-STA0+00)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(E-STA1+56)まで
平成　26　年　11　月　26　日

ノ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(F-STA1+58)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(F-STA4+10)まで
平成　27　年　1　月　26　日

オ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(G-STA1+00)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(G-STA4+12)まで
平成　27　年　1　月　26　日

ク　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(H-STA1+60)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(H-STA3+91)まで
平成　26　年　11　月　11　日

ヤ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA0+02)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA1+46)まで
平成　26　年　12　月　2　日

マ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA1+46)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA3+83)まで
平成　26　年　12　月　2　日

ケ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA3+83)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA6+80)まで
平成　26　年　12　月　16　日

フ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA6+80)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA7+37)まで
平成　26　年　12　月　6　日

コ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA7+37)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA8+78)まで
平成　26　年　11　月　18　日

別　紙　1

エ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA8+78)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA8+96)まで
　　平成　26　年　12　月　6　日

テ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA8+96)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA11+72)まで
　　平成　26　年　11　月　13　日

ア　茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA11+72)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA11+88)まで
　　平成　27　年　2　月　1　日

サ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA11+88)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA14+15)まで
　　平成　26　年　12　月　6　日

五霞IC　料金所部
キ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA5+65)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA6+30)まで
　　平成　26　年　5　月　1　日

別　紙　1

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　29　日（供用開始）

平成　27　年　10　月　31　日（五霞インターチェンジ増設レーン供用開始）

令和　7　年　3　月　30　日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

27，162 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　27，162 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-155

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）
（茨城県猿島郡五霞町大字江川から茨城県つくば市新井まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　茨城県猿島郡五霞町大字江川　　から
茨城県つくば市新井　　まで

（ロ） 延　　長　　35．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
茨城県猿島郡五霞町大字江川 茨城県つくば市新井	から まで	100	35．4	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
茨城県猿島郡五霞町大字江川 茨城県つくば市新井	から まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．5　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道4号	茨城県猿島郡 五霞町大字江川	立体接続	五霞インターチェンジ
一般国道354号	茨城県猿島郡 境町大字蛇池	立体接続	境古河インターチェンジ
主要地方道 結城岩井線	茨城県坂東市 冨田	立体接続	坂東インターチェンジ
一般国道294号	茨城県常総市 三坂新田町	立体接続	常総インターチェンジ
県道 取手つくば線	茨城県つくば市 柳橋	立体接続	つくば中央インターチェンジ

（4） 工事予算

43，594 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA16+91）から茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA17+13）まで
平成　26　年　10　月　30　日

ロ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA17+13）から茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA19+34）まで
平成　26　年　11　月　11　日

ハ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA19+34）から茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA23+00）まで
平成　26　年　11　月　11　日

ニ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA23+00）から茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA26+60）まで
平成　26　年　12　月　2　日

ホ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA26+60）から茨城県猿島郡五霞町大字山王山（STA30+20）まで
平成　26　年　12　月　11　日

ヘ　茨城県猿島郡五霞町大字山王山（STA30+20）から茨城県猿島郡五霞町大字小福田（STA37+30）まで
平成　24　年　9　月　1　日

ト　茨城県猿島郡五霞町大字小福田（STA37+30）から茨城県猿島郡五霞町大字大福田（STA41+90）まで
平成　26　年　11　月　1　日

別　紙　1

チ　　茨城県猿島郡五霞町大字大福田（STA41+90）から茨城県猿島郡境町大字塚崎（STA50+25）まで
平成　26　年　9　月　1　日

リ　　茨城県猿島郡境町大字塚崎（STA50+25）から茨城県猿島郡境町大字長井戸（STA79+72）まで
平成　24　年　9　月　1　日

ヌ　　茨城県猿島郡境町大字長井戸（STA79+72）から茨城県猿島郡境町大字長井戸（STA80+40）まで
平成　25　年　2　月　1　日

ル　　茨城県猿島郡境町大字長井戸（STA80+40）から茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA88+80）まで
平成　24　年　9　月　1　日

ヲ－1－1－1　　茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA88+80）から茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA92+00）まで
平成　28　年　8　月　1　日

ヲ－1－1－2　　茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA92+00）から茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA93+23）まで
平成　28　年　3　月　1　日

ヲ－1－1－3　　茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA93+23）から茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA99+00）まで
平成　28　年　1　月　1　日

ヲ－1－1－4　　茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA99+00）から茨城県猿島郡境町山崎（STA111+28）まで
平成　28　年　8　月　1　日

別　紙　1

ヲ－１－２　茨城県猿島郡境町山崎(STA111+28)から茨城県猿島郡境町山崎(STA120+00)まで
平成　28　年　2　月　1　日

ヲ－１－３－１　茨城県猿島郡境町山崎(STA120+00)から茨城県坂東市菅谷(STA129+03)まで
平成　28　年　3　月　1　日

ヲ－１－３－２　茨城県坂東市菅谷(STA129+03)から茨城県坂東市生子(STA140+00)まで
平成　28　年　8　月　1　日

ヲ－１－３－３　茨城県坂東市生子(STA140+00)から茨城県坂東市生子(STA156+60)まで
平成　28　年　1　月　1　日

ヲ－１－４　茨城県坂東市生子(STA156+60)から茨城県坂東市半谷(STA159+11)まで
平成　28　年　2　月　1　日

ヲ－１－５－１　茨城県坂東市半谷(STA159+11)から茨城県坂東市冨田(STA162+80)まで
平成　28　年　8　月　1　日

ヲ－１－５－２　茨城県坂東市冨田(STA162+80)から茨城県坂東市冨田(STA167+90)まで
平成　28　年　6　月　1　日

ヲ－１－５－３　茨城県坂東市冨田(STA167+90)から茨城県坂東市冨田(STA172+45)まで
平成　28　年　4　月　1　日

別　紙　1

ヲ－ 2 茨城県坂東市冨田(STA172+45)から茨城県坂東市弓田(STA181+17)まで
平成 28 年 4 月 1 日

ヲ－ 3 － 1 茨城県坂東市弓田(STA181+17)から茨城県坂東市弓田(STA182+22)まで
平成 28 年 6 月 1 日

ヲ－ 3 － 2 茨城県坂東市弓田(STA182+22)から茨城県坂東市弓田(STA208+20)まで
平成 28 年 8 月 1 日

ヲ－ 4 茨城県坂東市弓田(STA208+20)から茨城県常総市大生郷町(STA231+73)まで
平成 28 年 5 月 1 日

ヲ－ 5 茨城県常総市大生郷町(STA231+73)から茨城県常総市花島町(STA251+16)まで
平成 28 年 8 月 1 日

ヲ－ 6 茨城県常総市花島町(STA251+16)から茨城県常総市三坂町(STA266+19)まで
平成 28 年 5 月 1 日

ヲ－ 7 茨城県常総市三坂町(STA266+19)から茨城県常総市三坂町(STA269+17)まで
平成 28 年 9 月 1 日

ヲ－ 8 茨城県常総市三坂町(STA269+17)から茨城県つくば市高良田元上新田(STA292+93)まで
平成 28 年 5 月 1 日

別　紙　1

ヲ－ 9 茨城県つくば市高良田元上新田（STA292+93）から茨城県つくば市高須賀（STA298+71）まで
平成 28 年 8 月 8 日

ヲ－ 10 茨城県つくば市高須賀（STA298+71））から茨城県つくば市高須賀（STA302+38）まで
平成 28 年 6 月 1 日

ヲ－ 11 茨城県つくば市高須賀（STA302+38）から茨城県つくば市高須賀（STA311+00）まで
平成 28 年 4 月 1 日

ヲ－ 12 茨城県つくば市高須賀（STA311+00）から茨城県つくば市島名（STA343+77）まで
平成 28 年 8 月 8 日

ヲ－ 13 茨城県つくば市島名（STA343+77）から茨城県つくば市平（STA352+40）まで
平成 28 年 5 月 1 日

ヲ－ 14 茨城県つくば市平（STA352+40）から茨城県つくば市大白硲（STA354+00）まで
平成 28 年 8 月 8 日

ヲ－ 15 茨城県つくば市大白硲（STA354+00）から茨城県つくば市柳橋（STA367+47）まで
平成 28 年 4 月 1 日

ヲ－ 16 茨城県つくば市柳橋（STA367+47）から茨城県つくば市新井（STA371+21）まで
平成 28 年 8 月 8 日

別　紙　1

坂東IC ランプ部

ワ－ 1　　茨城県坂東市冨田(C-STA1+00)から茨城県坂東市冨田(E-STA0+35)まで
　　平成　27　年　7　月　10　日

ワ－ 2　　茨城県坂東市冨田(A-STA1+00)から茨城県坂東市冨田(A-STA4+02)まで
　　平成　28　年　4　月　1　日

ワ－ 3　　茨城県坂東市冨田(B-STA1+00)から茨城県坂東市弓田(B-STA4+64)まで
　　平成　28　年　4　月　1　日

ワ－ 4　　茨城県坂東市冨田(C-STA1+00)から茨城県坂東市冨田(C-STA6+04)まで
　　平成　28　年　4　月　1　日

ワ－ 5　　茨城県坂東市冨田(D-STA1+00)から茨城県坂東市冨田(D-STA8+23)まで
　　平成　28　年　4　月　1　日

常総IC　ランプ部

カ－ 1　　茨城県常総市三坂町(A-STA0+55)から茨城県常総市三坂町(E-STA0+25)まで
　　平成　27　年　7　月　1　日

カ－ 2　　茨城県常総市三坂町(A-STA0+55)から茨城県常総市三坂町(A-STA1+00)まで
　　平成　28　年　3　月　1　日

別　紙　1

常総IC　ランプ部

カ － 3　　茨城県常総市三坂町（A-STA6+35）から茨城県常総市三坂町（A-STA6+90）まで
　　平成　28　年　5　月　1　日

カ － 4　　茨城県常総市三坂町（B-STA6+92）から茨城県常総市三坂新田町（B-STA8+12）まで
　　平成　28　年　5　月　1　日

カ － 5　　茨城県常総市三坂町（D-STA2+40）から茨城県常総市三坂町（D-STA5+68）まで
　　平成　28　年　5　月　1　日

カ － 6　　茨城県常総市三坂町（A-STA0+77）から茨城県常総市三坂町（A-STA6+35）まで
　　平成　28　年　9　月　1　日

カ － 7　　茨城県常総市三坂町（B-STA1+00）から茨城県常総市三坂町（B-STA6+92）まで
　　平成　28　年　9　月　1　日

カ － 8　　茨城県常総市三坂町（C-STA0+77）から茨城県常総市三坂町（C-STA4+31）まで
　　平成　28　年　9　月　1　日

カ － 9　　茨城県常総市三坂町（D-STA1+00）から茨城県常総市三坂町（D-STA2+40）まで
　　平成　28　年　9　月　1　日

別　紙　1

つくば中央IC
ヨ － 1　　茨城県つくば市新井（A-STA0+85）から茨城県つくば市新井（A-STA3+55）まで
　　平成　28　年　8　月　8　日

ヨ － 2　　茨城県つくば市新井（D-STA1+50）から茨城県つくば市柳橋（D-STA7+79）まで
　　平成　28　年　8　月　8　日

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、
　会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　29　日（五霞～境古河　供用開始）

　　平成　29　年　2　月　26　日（境古河～つくば中央　供用開始）

　　令和　7　年　3　月　30　日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

47，697 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　47，697 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-156

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）
（茨城県稲敷市沼田から千葉県成田市吉岡まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　茨城県稲敷市沼田　　から
千葉県成田市吉岡　　まで

（ロ） 延　　長　　20．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設　計　区　間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
茨城県稲敷市沼田 千葉県成田市吉岡	から まで	100	20．3	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設　計　区　間		工事施工	用地買収	摘　要
茨城県稲敷市沼田 千葉県成田市吉岡	から まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2 2．30×1 2．50×1	3．50 2．30 2．50	－	－	－	稲敷～神崎 神崎～大栄 神崎～大栄
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．5	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．5	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．5　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
主要地方道 江戸崎新利根線	茨城県稲敷市 沼田	立体接続	稲敷インターチェンジ
県道 江戸崎下総線	茨城県稲敷市 桑山	立体接続	稲敷東インターチェンジ
一般国道356号	千葉県香取郡 神崎町大字松崎	立体接続	神崎インターチェンジ
主要地方道 成田下総線	千葉県成田市 青山	立体接続	下総インターチェンジ
東関東自動車道 水戸線	千葉県成田市 吉岡	立体接続	大栄ジャンクション

（4） 工事予算

18，734 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ－ 1 茨城県稲敷市沼田（STA195+40）から茨城県稲敷市沼田（STA203+05）まで
平成 25 年 10 月 1 日

イ－ 2 茨城県稲敷市沼田（STA203+05）から茨城県稲敷市沼田（STA205+45）まで
平成 25 年 7 月 1 日

イ－ 3 茨城県稲敷市沼田（STA205+45）から茨城県稲敷市沼田（STA208+55）まで
平成 25 年 4 月 1 日

イ－ 4 茨城県稲敷市沼田（STA208+55）から茨城県稲敷市沼田（STA209+75）まで
平成 25 年 8 月 1 日

イ－ 5 茨城県稲敷市沼田（STA209+75）から茨城県稲敷市沼田（STA210+75）まで
平成 25 年 10 月 1 日

イ－ 6 茨城県稲敷市沼田（STA210+75）から茨城県稲敷市江戸崎（STA211+95）まで
平成 25 年 8 月 1 日

イ－ 7 茨城県稲敷市江戸崎（STA211+95）から茨城県稲敷市江戸崎（STA213+20）まで
平成 26 年 3 月 1 日

別　紙　1

イ－ 8 茨城県稲敷市江戸崎(STA213+20)から茨城県稲敷市江戸崎(STA220+74)まで
平成 25 年 8 月 1 日

イ－ 9 茨城県稲敷市江戸崎(STA220+74)から茨城県稲敷市江戸崎(STA225+65)まで
平成 25 年 7 月 1 日

イ－ 10 茨城県稲敷市江戸崎(STA225+65)から茨城県稲敷市駒塚(STA233+35)まで
平成 25 年 4 月 1 日

ロ－ 1 茨城県稲敷市駒塚(STA233+35)から茨城県稲敷市駒塚(STA233+85)まで
平成 25 年 11 月 1 日

ロ－ 2 茨城県稲敷市駒塚(STA233+85)から茨城県稲敷市駒塚(STA236+00)まで
平成 26 年 3 月 1 日

ロ－ 3 茨城県稲敷市駒塚(STA236+00)から茨城県稲敷市椎塚(STA237+82)まで
平成 25 年 9 月 1 日

ロ－ 4 茨城県稲敷市椎塚(STA237+82)から茨城県稲敷市椎塚(STA242+85)まで
平成 25 年 10 月 1 日

ロ－ 5 茨城県稲敷市椎塚(STA242+85)から茨城県稲敷市清水(STA247+10)まで
平成 26 年 3 月 1 日

ロ－ 6 茨城県稲敷市清水(STA247+10)から茨城県稲敷市清水(STA248+89)まで
平成 25 年 11 月 1 日

別　紙　1

ロ－ 7　茨城県稲敷市清水（STA248+89）から茨城県稲敷市清水（STA252+90）まで
　　平成　25　年　10　月　1　日

ハ－ 1　茨城県稲敷市清水（STA252+90）から茨城県稲敷市清水（STA265+45）まで
　　平成　25　年　10　月　1　日

ハ－ 2　茨城県稲敷市清水（STA265+45）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA4+65）まで
　　平成　25　年　4　月　1　日

ニ－ 3　千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA4+65）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA7+80）まで
　　平成　25　年　11　月　1　日

ニ－ 4　千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA7+80）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA12+60）まで
　　平成　26　年　7　月　17　日

ニ－ 5　千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA12+60）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA13+24）まで
　　平成　26　年　8　月　1　日

ホ－ 1　千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA13+24）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA13+55）まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

ホ－ 2　千葉県香取郡神崎町大字松崎（STA13+55）から千葉県成田市高（STA17+20）まで
　　平成　26　年　8　月　1　日

ホ－ 3　千葉県成田市高（STA17+20）から千葉県成田市高（STA17+80）まで
　　平成　26　年　10　月　1　日

別　紙　1

ホ－ 4 千葉県成田市高(STA17+80)から千葉県成田市高(STA19+40)まで
平成 26 年 8 月 1 日

ホ－ 5 千葉県成田市高(STA19+40)から千葉県成田市高(STA19+64)まで
平成 26 年 9 月 1 日

ホ－ 6 千葉県成田市高(STA19+64)から千葉県成田市高(STA20+24)まで
平成 26 年 8 月 18 日

ホ－ 7 千葉県成田市高(STA20+24)から千葉県成田市高(STA21+46)まで
平成 26 年 9 月 1 日

ホ－ 8 千葉県成田市高(STA21+46)から千葉県成田市高(STA22+02)まで
平成 26 年 11 月 10 日

ホ－ 9 千葉県成田市高(STA22+02)から千葉県成田市名木(STA24+35)まで
平成 26 年 9 月 15 日

ホ－ 10 千葉県成田市名木(STA24+35)から千葉県成田市名木(STA27+80)まで
平成 26 年 11 月 20 日

ホ－ 11 千葉県成田市名木(STA27+80)から千葉県成田市名木(STA31+20)まで
平成 26 年 12 月 1 日

ホ－ 12 千葉県成田市名木(STA31+20)から千葉県成田市名木(STA32+10)まで
平成 26 年 10 月 1 日

別　紙　1

ホ－ 13 千葉県成田市名木（STA32+10）から千葉県成田市名木（STA35+50）まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

ホ－ 14 千葉県成田市名木（STA35+50）から千葉県成田市名木（STA37+60）まで
　　平成　26　年　11　月　20　日

ホ－ 15 千葉県成田市名木（STA37+60）から千葉県成田市名木（STA39+00）まで
　　平成　26　年　12　月　1　日

ホ－ 16 千葉県成田市名木（STA39+00）から千葉県成田市名木（STA41+83）まで
　　平成　26　年　11　月　10　日

ホ－ 17 千葉県成田市名木（STA41+83）から千葉県成田市名木（STA45+40）まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

ヘ－ 1　千葉県成田市名木（STA45+40）から千葉県成田市倉水（STA59+20）まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

ヘ－ 2　千葉県成田市倉水（STA59+20）から千葉県成田市稲荷山（STA60+40）まで
　　平成　26　年　12　月　1　日

ヘ－ 3　千葉県成田市稲荷山（STA60+40）から千葉県成田市稲荷山（STA63+00）まで
　　平成　26　年　11　月　10　日

ヘ－ 4　千葉県成田市稲荷山（STA60+40）から千葉県成田市成井（STA63+80）まで
　　平成　26　年　10　月　1　日

別　紙　1

へ－ 5 千葉県成田市成井(STA63+80)から千葉県成田市成井(STA66+20)まで
平成 26 年 11 月 20 日

へ－ 6 千葉県成田市成井(STA66+20)から千葉県成田市成井(STA67+45)まで
平成 26 年 12 月 10 日

へ－ 7 千葉県成田市成井(STA67+45)から千葉県成田市成井(STA68+20)まで
平成 26 年 9 月 1 日

へ－ 8 千葉県成田市成井(STA68+20)から千葉県成田市成井(STA71+40)まで
平成 26 年 8 月 1 日

へ－ 9 千葉県成田市成井(STA71+40)から千葉県成田市成井(STA73+46)まで
平成 26 年 7 月 17 日

へ－ 10 千葉県成田市成井(STA73+46)から千葉県成田市芝(STA76+52)まで
平成 26 年 8 月 18 日

へ－ 11 千葉県成田市芝(STA76+52)から千葉県成田市芝(STA87+77)まで
平成 26 年 7 月 17 日

へ－ 12 千葉県成田市芝(STA87+77)から千葉県成田市芝(STA92+20)まで
平成 26 年 8 月 18 日

へ－ 13 千葉県成田市芝(STA92+20)から千葉県成田市吉岡(STA101+68)まで
平成 26 年 7 月 17 日

別　紙　1

へ－ 14 千葉県成田市吉岡（STA101+68）から千葉県成田市吉岡（STA102+95）まで
平成　26　年　9　月　15　日

ト　千葉県成田市吉岡（STA102+95）から千葉県成田市吉岡（STA106+70）まで
平成　26　年　11　月　20　日

稲敷東IC
ハ　茨城県稲敷市清水（A-STA0＋85）から茨城県稲敷市清水（E-STA0＋55）まで

神崎IC
ニ－ 1 千葉県香取郡神崎町大字松崎（C-STA2＋22）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（E-STA0＋50）まで
平成　25　年　1　月　21　日

ニ－ 2 千葉県香取郡神崎町大字松崎（E-STA0＋50）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（E-STA3＋25）まで
平成　25　年　10　月　1　日

ニ－ 3 千葉県香取郡神崎町大字松崎（B-STA2+22）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（B-STA7+06）まで
平成　26　年　7　月　17　日

ニ－ 4 千葉県香取郡神崎町大字松崎（C1-STA2+22）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（C1-STA4+58）まで
平成　26　年　7　月　17　日

ニ－ 5 千葉県香取郡神崎町大字松崎（C2-STA0+0）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（C2-STA3+20）まで
平成　26　年　7　月　17　日

ニ－ 6 千葉県香取郡神崎町大字松崎（D-STA0+0）から千葉県香取郡神崎町大字松崎（D-STA2+0）まで
平成　26　年　9　月　1　日

別　紙　1

下総IC

へ－ 1　千葉県成田市青山(C1-STA0+50)から千葉県成田市青山(E-STA0+71)まで
　　平成　26　年　7　月　17　日

へ－ 2　千葉県成田市青山(C1-STA0+50)から千葉県成田市青山(C1-STA1+91)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

へ－ 3　千葉県成田市青山(A-STA0+50)から千葉県成田市名木(A-STA4+25)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

へ－ 4　千葉県成田市青山(B-STA0+50)から千葉県成田市名木(B-STA4+96)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

へ－ 5　千葉県成田市青山(C2-STA1+91)から千葉県成田市名木(C2-STA4+97)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

へ－ 6　千葉県成田市青山(D-STA1+91)から千葉県成田市名木(D-STA5+86)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

へ－ 7　千葉県成田市青山(E-STA0+71)から千葉県成田市名木(E-STA1+91)まで
　　平成　27　年　1　月　1　日

別　紙　1

大栄JCT

ト－ 1　千葉県成田市吉岡(B-STA2+10)から千葉県成田市吉岡(B-STA9+53)まで
　　平成　26　年　12　月　1　日

ト－ 2　千葉県成田市吉岡(H-STA2+10)から千葉県成田市吉岡(H-STA7+48)まで
　　平成　26　年　12　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　26　年　4　月　12　日　　(稲敷IC～神崎IC　供用開始)

平成　27　年　6　月　7　日　　(神崎IC～大栄JCT　供用開始)

令和　7　年　3　月　30　日　　(残事業完成)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

20，527 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額　　20，527 百万円)(消費税込み)

別紙1-E-157

関越自動車道新潟線

（東京都三鷹市北野から東京都練馬区大泉町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道新潟線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　東京都三鷹市北野　から
東京都練馬区大泉町　まで

（ロ） 延　長　9．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　直轄事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 2 種 第 1 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設　計　区　間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
東京都三鷹市北野　から 東京都練馬区大泉町　まで	80	9．8	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．25 メートル

（ヘ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
東京都三鷹市北野　から 東京都練馬区大泉町　まで	6 車線	6 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	—	—	2．50	0．75	3．25	
トンネル部分	—	—	2．50	0．75	3．25	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	—	—	—	—	—	

（チ） 付加車線の標準幅員　　— メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－ メートル （土工部）
－ メートル （橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中央自動車道富士吉田線	東京都三鷹市北野	立体接続 平面接続	中央ジャンクション（仮称） 本線
都道新宿国立線	東京都三鷹市牟礼	立体接続	東八道路インターチェンジ（仮称）
都道東京所沢線	東京都練馬区関町南	立体接続	青梅街道インターチェンジ（仮称）
都道練馬所沢線	東京都練馬区東大泉	立体接続	目白通りインターチェンジ（仮称）
東北縦貫自動車道弘前線	東京都練馬区大泉町	平面接続	本線
関越自動車道新潟線	東京都練馬区大泉町	立体接続	大泉ジャンクション

（4） 工事予算

520，308 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　東京都三鷹市北野(STA.63+36)から東京都練馬区石神井台(STA.133+16)まで
令和　2 年　4 月　1 日

ロ　東京都練馬区石神井台(STA.133+16)から東京都練馬区石神井台（STA.137+10)まで
令和　2 年　4 月　1 日

ハ　東京都練馬区石神井台(STA.137+10)から東京都練馬区石神井町(STA.149+40)まで
令和　元 年　8 月　15 日

ニ　東京都練馬区石神井町(STA.149+40)から東京都練馬区大泉町(STA.159+15)まで
平成　29 年　6 月　1 日

ホ　東京都練馬区大泉町(STA.159+15)から東京都練馬区大泉町(STA.160+89)まで
平成　26 年　9 月　11 日

・ なお、直轄事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が直轄事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　令和　3 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

555，669 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　540，639 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-159

北関東自動車道（太田強戸PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の箇所

群馬県太田市

別　紙　1

（3） 工事予算

5，996 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　25 年　7 月　1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　7 月　28 日　（供用開始）

令和　2 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，435 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，435 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-161

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）

（神奈川県横浜市栄区田谷町から神奈川県藤沢市城南二丁目まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名　　一般国道468号
（有料道路名 : 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県横浜市栄区田谷町　　から
神奈川県藤沢市城南二丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　7．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県横浜市栄区田谷町　から 神奈川県藤沢市城南二丁目　まで	80	7．3	

別　紙　1

（二） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県横浜市栄区田谷町　から 神奈川県藤沢市城南二丁目　まで	4 車線	4 車線	

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．5×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	2．50	0．75	3．25	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00 メートル　（土工部）
3．00 メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道468号（横浜横須賀道路）及び都市計画道路横浜藤沢線	神奈川県横浜市栄区田谷町	立体接続	栄インター・ジャンクション（仮称）
一般国道1号	神奈川県藤沢市城南二丁目	立体接続	藤沢インターチェンジ
一般国道1号（新湘南バイパス）	神奈川県藤沢市城南二丁目	平面接続	藤沢インターチェンジ

（4） 工事予算

154，914 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　神奈川県横浜市栄区田谷町(STA.00+73)から神奈川県藤沢市城南一丁目(STA.74+05)まで
令和　2　年　4　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　令和　7　年　3　月 31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

168，836 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　160，472 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-162

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）
（千葉県成田市吉岡から千葉県山武市松尾町谷津まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名　　一般国道468号
（有料道路名 : 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県成田市吉岡　　から
千葉県山武市松尾町谷津　　まで

（ロ） 延　　長　　18．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県成田市吉岡　から 千葉県山武市松尾町谷津　まで	100	18．5	

別　紙　1

（二） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
千葉県成田市吉岡　から 千葉県山武市松尾町谷津　まで	2 車線	4 車線	

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．00×2	2．00	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	2．50	0．75	3．25	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．5 メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
東関東自動車道水戸線	千葉県成田市 吉岡	立体接続	大栄ジャンクション
県道成田小見川鹿島港線	千葉県成田市 川上	立体接続	（主）成田小見川鹿島港線 インターチェンジ（仮称）
一般国道296号	千葉県香取郡 多古町喜多	立体接続	国道296号インターチェンジ（仮称）
一般国道126号（銚子連絡道路） 及び県道成田松尾線	千葉県山武市 松尾町谷津	立体接続	松尾横芝インターチェンジ
一般国道126号（千葉東金道路）	千葉県山武市 松尾町谷津	平面接続	松尾横芝インターチェンジ

（4） 工事予算

54，560 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　千葉県成田市吉岡(STA.0+00)から千葉県山武市松尾町谷津(STA.184+90)まで
平成　31 年　4 月　1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　令和　7 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

64，515 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　61，829 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-164

日本海沿岸東北自動車道（酒田みなとIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

日本海沿岸東北自動車道

（2） 工事の箇所

山形県酒田市藤塚字ふけ田

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
主要地方道酒田八幡線	山形県酒田市 藤塚字南割	立体接続	酒田みなとインターチェンジ
日本海沿岸東北自動車道	山形県酒田市 藤塚字ふけ田	平面接続	本線 （新直轄）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，655 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　　1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　　5 年　　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，016 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，968 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-165

常磐自動車道（いわき小名浜IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県いわき市山田町長沢

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
小名浜道路 （県道いわき上三坂小野線）	福島県いわき市 山田町長沢	立体接続	いわき小名浜インターチェンジ （仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，341 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　　1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　　4 年　　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，512 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，445 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-167

東北縦貫自動車道　弘前線（平泉スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

岩手県西磐井郡平泉町字祇園

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道　祇園線	岩手県西磐井郡平泉町字 祇園	立体接続	平泉スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

3，115 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　 3 年　 3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，423 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-168

東北縦貫自動車道　八戸線（八戸西スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　八戸線

（2） 工事の箇所

青森県八戸市大字尻内町字根岸

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道　新川添線（上り線） 及び市道　畑田線（下り線）	青森県八戸市大字尻内町 字新川添及び畑田	立体接続	八戸西スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

2，646 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　23 日（供用開始）
令和　 3 年　 3 月　30 日（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，777 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-169

東北横断自動車道　釜石秋田線（横手北スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北横断自動車道　釜石秋田線

（2） 工事の箇所

秋田県横手市猪岡字竜ノ末

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道　横手北スマートインター線	秋田県横手市猪岡字水越	立体接続	横手北スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

3，104 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　 元 年　 8 月　 4 日　（供用開始）

令和　 2 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

3、396 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-171

常磐自動車道（水戸北スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

茨城県水戸市飯富町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道飯富286号線及び市道飯富287号線	茨城県水戸市飯富町	立体接続	水戸北スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，330 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　令和　 元 年　 9 月　 7 日　　（供用開始）

令和　 3 年　 3 月　30 日　　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，511 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-172

常磐自動車道（ならはスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県双葉郡楢葉町大字大谷

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道　ならはスマートインター線	福島県双葉郡楢葉町大字 大谷	立体接続	ならはスマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

3，082 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　21 日（供用開始）
令和　 3 年　 3 月　30 日（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，228 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-173

東北縦貫自動車道弘前線（桑折JCT）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

福島県伊達郡桑折町大字松原

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道115号（東北中央自動車道） 相馬福島道路	福島県伊達郡桑折町 大字松原	立体接続	桑折ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

6，930 百万円 （消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　27 年　 9 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　 3 年　 3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

7，575 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　7，386 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-174

常磐自動車道（大熊IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県双葉郡大熊町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道西20号線	福島県双葉郡大熊町	立体接続	大熊インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

2，541 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　27 年　 9 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日（供用開始）
令和　 2 年　 3 月　 6 日（残事業一部完成）
令和　 3 年　 3 月　30 日（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，760 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，760 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力災害により設定された帰還困難区域における施工のため、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

別紙1-E-175

常磐自動車道（常磐双葉IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県双葉郡双葉町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道双葉インター線	福島県双葉郡双葉町	立体接続	常磐双葉インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

2，734 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　27 年　 9 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　令和　 2 年　 3 月　 7 日（供用開始）
令和　 3 年　 3 月　30 日（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，932 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，932 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力災害により設定された帰還困難区域における施工のため、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

別紙1-E-176

東北縦貫自動車道弘前線（大谷スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

栃木県宇都宮市宝木町及び駒生町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道大谷スマートインター1号線及び市道大谷スマートインター2号線	栃木県宇都宮市宝木町及び駒生町	立体接続	大谷スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

3，681 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　27 年　 9 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　 4 年　 9 月　30 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

4，127 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-177

関越自動車道新潟線（三芳スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道新潟線

（2） 工事の箇所

埼玉県入間郡三芳町上富

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道幹線3号線及び町道上富69号線	埼玉県入間郡三芳町上富	立体接続	三芳スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

2，149 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　27 年　 9 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　 4 年　 3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，360 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-178

一般国道16号（横浜横須賀道路）（横須賀PAスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道16号

（有料道路名：横浜横須賀道路）

（2） 工事の箇所

神奈川県横須賀市平作

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道7566号坂本芦名線	神奈川県横須賀市平作	立体接続	横須賀PAスマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，103 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　27 年　 9 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　 3 年　 3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，178 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-179

東関東自動車道水戸線（京葉JCT）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

千葉県市川市稲荷木

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道14号 （京葉道路）	千葉県市川市 稲荷木	立体接続	京葉ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

34，317 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　28 年　3 月　1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　8 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

40，085 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　38，210 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-180

常磐自動車道

（福島県いわき市好間町から福島県双葉郡広野町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　福島県いわき市好間町　から
福島県双葉郡広野町　まで

（ロ） 延　　長　　26．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福島県いわき市好間町　から 福島県双葉郡広野町　まで	100	26．6	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
福島県いわき市好間町　から 福島県双葉郡広野町　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル（土工部）
4．50　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

91，497 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　28　年　7　月　1　日
②工事の完成予定年月日　　令和　3　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

99，720 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　97，278 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-181

常磐自動車道

（宮城県亘理郡山元町大平から宮城県亘理郡亘理町逢隈まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮城県亘理郡山元町大平　　から
宮城県亘理郡亘理町逢隈　　まで

（ロ） 延　　長　　11．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
宮城県亘理郡山元町大平　から 宮城県亘理郡亘理町逢隈　まで	100	11．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
宮城県亘理郡山元町大平　から 宮城県亘理郡亘理町逢隈　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル（土工部）
4．50　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

28，461 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　28　年　7　月　1　日
②工事の完成予定年月日　　令和　3　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

33，087 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　32，214 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-182

一般国道6号（仙台東部道路）

（宮城県亘理郡亘理町逢隈から宮城県岩沼市押分まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道6号

（有料道路名 ： 仙台東部道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　宮城県亘理郡亘理町逢隈　から
宮城県岩沼市押分　まで

（ロ） 延　　長　　2. 2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
宮城県亘理郡亘理町逢隈 宮城県岩沼市押分	から まで	100	2．2	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
宮城県亘理郡亘理町逢隈 宮城県岩沼市押分	から まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル（土工部）
4．50　メートル（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

別　紙　1

（4） 工事予算

12，202 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　28　年　7　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　令和　3　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

14，109 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　13，780 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-183

北海道縦貫自動車道函館名寄線（苫小牧中央IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道苫小牧市字高丘

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
道道　苫小牧中央インター線	北海道苫小牧市 字高丘	立体接続	苫小牧中央インターチェンジ （仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

2，403 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　28　年　7　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　令和　3　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，645 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，561 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-184

東北縦貫自動車道　弘前線（都賀西方スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

栃木県栃木市都賀町及び西方町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道都賀西方スマートインター1号線及び市道都賀西方スマートインター2号線	栃木県栃木市都賀町及び西方町	立体接続	都賀西方スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，256 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　28　年　7　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　令和　5　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，518 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円）（消費税込み）

別紙1-E-185

東北縦貫自動車道　弘前線（矢板北スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

栃木県矢板市下太田地内及び長井地内

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道矢板北スマートインター1号線及び市道矢板北スマートインター2号線	栃木県矢板市下太田地内及び長井地内	立体接続	矢板北スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，103　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　28　年　7　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　令和　3　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，248 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円）（消費税込み）

別紙1-E-186

東関東自動車道水戸線

（茨城県潮来市延方から茨城県鉾田市秋山まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　茨城県潮来市延方　から
茨城県鉾田市秋山　まで

（ロ） 延　　長　　30．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　直轄事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設　計　区　間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
茨城県潮来市延方 茨城県鉾田市秋山	から まで	80	30．9	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設　計　区　間		工事施工	用地買収	摘　要
茨城県潮来市延方 茨城県鉾田市秋山	から まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．0	－	－	－	
トンネル部分	0．75×2	1．5	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．0	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．5	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．5　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道水戸神栖線及び 市道（潮）1級13号線	茨城県潮来市 延方	立体接続	潮来インターチェンジ
市道麻生1-17号	茨城県行方市 石神	立体接続	麻生インターチェンジ（仮称）
一般国道354号	茨城県行方市 両宿	立体接続	北浦インターチェンジ（仮称）
県道鉾田茨城線	茨城県鉾田市 飯名	立体接続	鉾田インターチェンジ

（4） 工事予算

17，041 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　29　年　7　月　1　日

・ なお、直轄事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、
会社が直轄事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいい、茨城県潮来市延方（STA－1－8.1
茨城県鉾田市塔ヶ崎（STA286+4.0）は、令和5年　4月　1日までに着手するものとする

②工事の完成予定年月日　　令和　7　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

20，454 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　19．576 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-187

東北縦貫自動車道 弘前線（菅生スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

宮城県柴田郡村田町菅生

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
主要地方道　仙台村田線	宮城県柴田郡村田町菅生	立体接続	菅生スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

2，134 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　29 年　10 月　　1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　　5 年　　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，696 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円）（消費税込み）

別紙1-E-188

関越自動車道上越線（甘楽PAスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道　上越線

（2） 工事の箇所

群馬県甘楽郡甘楽町大字白倉及び天引

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道　甘楽PAスマートIC線	群馬県甘楽郡甘楽町大字 白倉及び天引	立体接続	甘楽PAスマートインターチェンジ （仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

989 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　29 年　10 月　　1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　　5 年　　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，251 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円）（消費税込み）

別紙1-E-189

北関東自動車道（出流原PAスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の箇所

栃木県佐野市出流原町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道出流原PAスマートインター線（西行き）及び市道出流原PAスマートインター線（東行き）	栃木県佐野市出流原町	立体接続	出流原PAスマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，356 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　29 年　10 月　　1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　　4 年　　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，671 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円）（消費税込み）

別紙1-E-190

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）　（つくばスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

茨城県つくば市島名

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道つくばスマートICアクセス1号線及び市道つくばスマートICアクセス2号線	茨城県つくば市島名	立体接続	つくばスマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，938 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　29 年　10 月　　1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　　4 年　　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，404 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円）（消費税込み）

別紙1-E-191

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）
（埼玉県久喜市大字下早見から千葉県成田市吉岡まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号（有料道路名　：　首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県久喜市大字下早見　　から
千葉県成田市吉岡　　まで

（ロ） 延　　長　　92．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般道路事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
埼玉県久喜市大字下早見　から 千葉県成田市吉岡　まで	100	92．2	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
埼玉県久喜市大字下早見　から 千葉県成田市吉岡　まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

設 計 区 間	構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
		左 側	計	左 側	右 側	計	
埼玉県久喜市大字下早見 から 千葉県成田市吉岡 まで	土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
	トンネル部分	—	—	—	—	—	
	橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
	橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

（チ） 付加車線の標準幅員　　—　メートル

別　紙　1

（リ） 中央帯の標準幅員

設 計 区 間	幅　　員	摘　要
埼玉県久喜市大字下早見　から 千葉県成田市吉岡　まで	3．00メートル（土工部） 3．50メートル（橋梁部）	

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
ー	ー	ー	

（4） 工事予算

388，606 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　元　年　5　月　1　日
②工事の完成予定年月日　　令和　7　年　3　月　31　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

443，249 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　422，526 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-193

日本海沿岸東北自動車道（胎内スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

日本海沿岸東北自動車道

（2） 工事の箇所

新潟県胎内市鴻ノ巣 及び 宮瀬

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
(仮称)市道胎内スマートインター1号線 及び (仮称)市道胎内スマートインター2号線	新潟県胎内市 鴻ノ巣及び宮瀬	立体接続	胎内スマートインターチェンジ(仮称)

別　紙　1

（4） 工事予算

926 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　30 年　 9 月　10 日

②工事の完成予定年月日　　令和　 5 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，204 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-194

北関東自動車道　（下野スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の箇所

栃木県下野市下古山及び上古山

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道下野スマートインター線（西行き）及び市道下野スマートインター線（東行き）	栃木県下野市下古山及び上古山	立体接続	下野スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

2，203 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　30 年　 9 月　10 日

②工事の完成予定年月日　　令和　 5 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，780 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-195

中央自動車道長野線（筑北スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道長野線

（2） 工事の箇所

長野県東筑摩郡筑北村西条小仁熊

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
村道滝上北線	長野県 東筑摩郡 筑北村 西条小仁熊	立体接続	筑北スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，863 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　30 年　 9 月　10 日

②工事の完成予定年月日　　令和　 5 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，374 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道　弘前線（蓮田スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

埼玉県蓮田市大字川島及び黒浜

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道蓮田白岡久喜線 及び 市道57号線	埼玉県蓮田市大字川島 及び 黒浜	立体接続	蓮田スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，390 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　元 年　11 月　1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　6 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，820 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-E-197

東北縦貫自動車道弘前線（花巻PAスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

岩手県花巻市諏訪 及び 大谷地

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道山の神諏訪線　及び 県道花巻和賀線	岩手県花巻市諏訪 及び　大谷地	立体接続	花巻PAスマートインターチェンジ （仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，309 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　元 年　12 月　24 日

②工事の完成予定年月日　　令和　6 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，739 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-E-198

東北中央自動車道相馬尾花沢線（山形PAスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北中央自動車道相馬尾花沢線

（2） 工事の箇所

山形県山形市大道端

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道西部工業団地村木沢線	山形県山形市大道端	立体接続	山形PAスマートインターチェンジ （仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，433 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　元 年　12 月　24 日

②工事の完成予定年月日　　令和　6 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，863 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-E-199

常磐自動車道（つくばみらいスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

茨城県つくばみらい市古川

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
(仮称)つくばみらいスマートIC1号線 及び (仮称)つくばみらいスマートIC2号線	茨城県つくばみらい市古川	立体接続	つくばみらいスマートインターチェンジ(仮称)

別　紙　1

（4） 工事予算

2，322 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　元 年　11 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　 6 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，945 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-200

常磐自動車道（小高スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県南相馬市小高区大田和

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道大田和インター線　及び 市道川房インター線	福島県南相馬市小高区大田和	立体接続	小高スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

2，613 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　元 年　12 月　24 日

②工事の完成予定年月日　　令和　7 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，375 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-2

第二東海自動車道横浜名古屋線

（神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県厚木市下津古久まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市門沢橋　　から
神奈川県厚木市下津古久　　まで

（ロ） 延　　長　　1．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市 門沢橋　から 神奈川県厚木市 下津古久　まで	120	1．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県海老名市 門沢橋　から 神奈川県厚木市 下津古久　まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）

2．25　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	神奈川県海老名市 門沢橋	立体接続	海老名南ジャンクション
第一東海自動車道	神奈川県海老名市 門沢橋	立体接続	海老名南ジャンクション
一般国道129号	神奈川県厚木市 下津古久	立体接続	厚木南インターチェンジ

（4） 工事予算

101，038 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成　10　年　4　月　17　日	
②工事の完成予定年月日	平成　30　年　1　月　28　日	（供用開始）
	平成　31　年　3　月　16　日	（残事業一部完成）
	令和　5　年　3　月　30　日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

84，104 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　84，104 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-3

第二東海自動車道横浜名古屋線

（神奈川県厚木市下津古久から神奈川県伊勢原市上粕屋まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県厚木市下津古久　　から
神奈川県伊勢原市上粕屋　　まで

（ロ） 延　　長　　6．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県厚木市 下津古久　から 神奈川県伊勢原市 上粕屋　まで	120	6．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県厚木市 下津古久　から 神奈川県伊勢原市 上粕屋　まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）

2．25　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道129号	神奈川県厚木市 下津古久	立体接続	厚木南インターチェンジ
第一東海自動車道	神奈川県伊勢原市 東富岡	立体接続	伊勢原ジャンクション
一般国道246号 （厚木秦野道路）	神奈川県伊勢原市 上粕屋	立体接続	伊勢原大山インターチェンジ

（4） 工事予算

248，199 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成　10　年　4　月　17　日	
②工事の完成予定年月日	平成　31　年　3　月　17　日	[厚木南IC～伊勢原JCT]
	令和　2　年　3　月　7　日	[伊勢原JCT～伊勢原大山IC]
	令和　9　年　3　月　30　日	[残事業完成]

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

258，586 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　258，586 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-4

第二東海自動車道横浜名古屋線
（神奈川県伊勢原市上粕屋から神奈川県秦野市柳川まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県伊勢原市上粕屋　　から
神奈川県秦野市柳川　　まで

（ロ） 延　　長　　12．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県伊勢原市上粕屋　から 神奈川県秦野市柳川　まで	120	12．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県伊勢原市上粕屋 から 神奈川県秦野市柳川 まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	－	－	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	1．75	1．25	3．00	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道246号（厚木秦野道路）	神奈川県伊勢原市上粕屋	立体接続	伊勢原大山インターチェンジ
一般国道246号	神奈川県秦野市菖蒲	立体接続	秦野インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

339，813 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　1　月　12　日
②工事の完成予定年月日　　令和　4　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

363，706 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　345，521 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-5

第二東海自動車道横浜名古屋線

（神奈川県秦野市柳川から静岡県御殿場市駒門まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県秦野市柳川　　から
静岡県御殿場市駒門　　まで

（ロ） 延　　長　　32．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県秦野市柳川　から 静岡県御殿場市駒門　まで	120	32．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県秦野市柳川　から 静岡県御殿場市駒門　まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	―――	―――	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―――　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道138号 及び県道仁杉柴怒田線	静岡県御殿場市柴怒田	立体接続	御殿場インターチェンジ（仮称）
第一東海自動車道	静岡県御殿場市駒門	立体接続	御殿場ジャンクション

（4） 工事予算

564，116 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18　年　4　月　19　日
②工事の完成予定年月日　　平成　29　年　4　月　20　日　［駒門PA（下り線）］
令和　3　年　3　月　31　日　［御殿場IC（仮称）～御殿場JCT］
令和　6　年　3　月　31　日　［秦野IC（仮称）～御殿場IC（仮称）］

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

616，191 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　585，381 百万円）（消費税込み）

別紙1−C−7

第二東海自動車道横浜名古屋線

（静岡県駿東郡長泉町大字元長窪から静岡県浜松市北区引佐町東黒田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　　から
静岡県浜松市北区引佐町東黒田　　まで

（ロ） 延　　長　　131．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
静岡県駿東郡 長泉町大字元長窪　から 静岡県浜松市 北区引佐町東黒田　まで	120	131．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル　および　3．75 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
静岡県駿東郡 長泉町大字元長窪　から 静岡県浜松市 北区引佐町東黒田　まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	—	—	3．00	1．75	4．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分 （中小橋）	—	—	3．00	1．75	4．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	—	—	3．00	1．25	4．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号（伊豆縦貫自動車道） 及び県道大岡元長窪線	静岡県駿東郡 長泉町大字元長窪	立体接続	長泉沼津インターチェンジ
一般国道139号（西富士道路） 及び県道一色久沢線	静岡県富士市 厚原	立体接続	新富士インターチェンジ
一般国道52号	静岡県静岡市 清水区宍原	立体接続	新清水インターチェンジ
中部横断自動車道	静岡県静岡市 清水区吉原	立体接続	新清水ジャンクション
県道清水富士宮線	静岡県静岡市 清水区杉山	立体接続	清水いはらインターチェンジ
第一東海自動車道	静岡県静岡市 清水区草ヶ谷	立体接続	清水ジャンクション
県道井川湖御幸線 及び県道山脇大谷線	静岡県静岡市 葵区下	立体接続	新静岡インターチェンジ

別　紙　1

一般国道1号 及び県道静岡朝比奈藤枝線	静岡県藤枝市 岡部町入野	立体接続	藤枝岡部インターチェンジ
一般国道473号	静岡県島田市 横岡新田	立体接続	島田金谷インターチェンジ
県道掛川天竜線	静岡県周智郡 森町睦実	立体接続	森掛川インターチェンジ
一般国道152号	静岡県浜松市 浜北区中瀬	立体接続	浜松浜北インターチェンジ
一般国道474号 （三遠南信自動車道）	静岡県浜松市 北区引佐町東黒田	立体接続	浜松いなさジャンクション
一般国道257号	静岡県浜松市 北区引佐町東黒田	立体接続	浜松いなさインターチェンジ
第一東海自動車道	静岡県浜松市 北区三ヶ日町福長	立体接続	三ヶ日ジャンクション

（4） 工事予算

2，294，898 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5　年　12　月　4　日

②工事の完成予定年月日　　平成　24　年　4　月　14　日　（供用開始）

平成　30　年　3　月　29　日　（残事業一部完成）

令和　3　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

970，776 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　970，776 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-8

第二東海自動車道横浜名古屋線
（静岡県浜松市北区引佐町東黒田から愛知県豊田市岩倉町まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県浜松市北区引佐町東黒田　　から
愛知県豊田市岩倉町　　まで

（ロ） 延　　長　　55. 2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
静岡県浜松市北区引佐町東黒田 から 愛知県豊田市岩倉町 まで	120	55. 2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
静岡県浜松市北区引佐町東黒田 から 愛知県豊田市岩倉町 まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	3．25×2	6．50	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	3．25×2	6．50	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00メートル(土工部)
3．00メートル(橋梁部)

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道474号 （三遠南信自動車道）	静岡県浜松市北区引佐町東黒田	立体接続	浜松いなさジャンクション
一般国道151号	愛知県新城市八束穂	立体接続	新城インターチェンジ
一般国道473号	愛知県岡崎市樫山町	立体接続	岡崎東インターチェンジ
一般国道475号 （東海環状自動車道）	愛知県豊田市岩倉町	立体接続	豊田東ジャンクション

（4） 工事予算

610，642 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成　5　年　12　月　4　日	
②工事の完成予定年月日	平成　28　年　2　月　13　日	（供用開始）
	平成　30　年　3　月　29　日	（残事業一部完成）
	令和　7　年　3　月　30　日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

639，318 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　639，318 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-9

中部横断自動車道

（静岡県静岡市清水区吉原から山梨県南巨摩郡南部町福士まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中部横断自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県静岡市清水区吉原　　から
山梨県南巨摩郡南部町福士　　まで

（ロ） 延　　長　　20. 7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
静岡県静岡市 清水区吉原　から 山梨県南巨摩郡 南部町福士　まで	80	20. 7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
静岡県静岡市 清水区吉原　から 山梨県南巨摩郡 南部町福士　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）
　　－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県静岡市 清水区吉原	立体接続	新清水ジャンクション
一般国道52号	山梨県南巨摩郡 南部町福士	立体接続	富沢インターチェンジ
中部横断自動車道	山梨県南巨摩郡 南部町福士	平面接続	本線（新直轄）

（4） 工事予算

169，616 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　10　日　（供用開始）
　　令和　元　年　11　月　16　日　（残事業一部完成）
　　令和　5　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

186，010 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　186，010 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-10

中部横断自動車道

（山梨県西八代郡市川三郷町宮原から山梨県南巨摩郡富士川町大椚まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中部横断自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　山梨県西八代郡市川三郷町宮原　　から
山梨県南巨摩郡富士川町大椚　　まで

（ロ） 延　　長　　9．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル／時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
山梨県西八代郡 市川三郷町宮原　から 山梨県南巨摩郡 富士川町大椚　まで	80	9．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山梨県西八代郡 市川三郷町宮原　から 山梨県南巨摩郡 富士川町大椚　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル
　　－　メートル

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中部横断自動車道	山梨県西八代郡 市川三郷町宮原	平面接続	本線（新直轄）
県道市川三郷身延線	山梨県西八代郡 市川三郷町宮原	立体接続	六郷インターチェンジ
一般国道52号	山梨県南巨摩郡 富士川町青柳町	立体接続	増穂インターチェンジ

（4） 工事予算

72，873 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　3　月　18　日　（増穂IC切り回し）
　　平成　29　年　3　月　19　日　（供用開始）
　　平成　31　年　3　月　10　日　（残事業一部完成）
　　令和　4　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

79，356 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　79，356 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-13

近畿自動車道名古屋神戸線

（三重県四日市市伊坂町から三重県四日市市北山町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県四日市市伊坂町　から
三重県四日市市北山町　まで

（ロ） 延　　長　　4．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
三重県四日市市伊坂町　から 三重県四日市市北山町　まで	100	4．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県四日市市伊坂町 から 三重県四日市市北山町 まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
近畿自動車道　名古屋亀山線	三重県四日市市伊坂町	立体接続	四日市ジャンクション
一般国道475号 （東海環状自動車道）	三重県四日市市北山町	立体接続	新四日市ジャンクション

（4） 工事予算

53，328 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　平成　28　年　8　月　11　日　（供用開始）
平成　31　年　3　月　16　日　（残事業一部完成）
令和　4　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

57，413 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　57，413 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-14

近畿自動車道名古屋神戸線

（三重県四日市市北山町から三重県三重郡菰野町大字潤田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県四日市市北山町　　から
三重県三重郡菰野町大字潤田　　まで

（ロ） 延　　長　　8．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
三重県四日市市北山町　から 三重県三重郡菰野町大字潤田　まで	120	8．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県四日市市北山町 から 三重県三重郡菰野町大字潤田 まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道475号 （東海環状自動車道）	三重県四日市市北山町	立体接続	新四日市ジャンクション
一般国道477号	三重県三重郡菰野町 大字潤田	立体接続	菰野インターチェンジ

（4） 工事予算

99，673　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　17　日　（供用開始）
　　令和　6　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

108，750　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　108，750　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-15

近畿自動車道名古屋神戸線

（三重県三重郡菰野町大字潤田から三重県亀山市安坂山町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県三重郡菰野町大字潤田　　から
三重県亀山市安坂山町　　まで

（ロ） 延　　長　　14．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
なお、暫定施工時は、第1種第2級(道路構造令)

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
三重県三重郡菰野町大字潤田　から 三重県亀山市安坂山町　まで	120	14．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県三重郡菰野町大字潤田 から 三重県亀山市安坂山町 まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	―	―	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	―	―	―	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	－

（4） 工事予算

196，276 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　18　年　4　月　19　日
②工事の完成予定年月日　平成　31　年　3　月　17　日　（供用開始）
令和　元　年　12　月　21　日　（亀山西JCT）
令和　6　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

207，747 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　207，747 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-19

近畿自動車道敦賀線

（福井県小浜市府中から福井県敦賀市高野まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福井県小浜市府中　　から
福井県敦賀市高野　　まで

（ロ） 延　　長　　39．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福井県小浜市府中　から 福井県敦賀市高野　まで	80	39．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福井県小浜市府中 から 福井県敦賀市高野 まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	—	—	—	
トンネル部分	1．25×2	2．50	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

※　土工部については、左側路肩を二次除雪作業に必要な作業幅員2．50mを確保する。

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　―　メートル

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道上中田烏線	福井県三方上中郡若狭町上黒田	立体接続	若狭上中インターチェンジ
一般国道27号	福井県三方上中郡若狭町気山	立体接続	若狭三方インターチェンジ
一般国道27号	福井県三方郡美浜町山上	立体接続	若狭美浜インターチェンジ
北陸自動車道	福井県敦賀市高野	立体接続	敦賀ジャンクション

（4） 工事予算

172，262 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　11　年　1　月　8　日

②工事の完成予定年月日　平成　22　年　12　月　6　日　（敦賀JCT切り回し）

平成　23　年　10　月　28　日　（敦賀JCT切り回し②）

平成　26　年　7　月　20　日　（供用開始）

令和　3　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

180，649　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　180，649　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-20

中央自動車道富士吉田線（高井戸IC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の箇所

東京都杉並区上高井戸

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
都道環状放射5号線	東京都杉並区上高井戸	立体接続	浅間橋ONランプ
都道環状放射5号線	東京都杉並区上高井戸	立体接続	高井戸OFFランプ
主要地方道環状8号線	東京都杉並区上高井戸	立体接続	中之橋ONランプ

（4） 工事予算

42，799 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　37 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　 3 月　29 日　（工事一部完成）
令和　 3 年　 3 月　31 日　（工事完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

49，484 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額 47，010 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-29

中央自動車道西宮線（養老JCT）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

岐阜県養老郡養老町飯積

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道475号 （東海環状自動車道）	岐阜県養老郡養老町飯積	立体接続	養老ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

2，258 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　10 月　22 日　（供用開始）
令和　 3 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，907 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，907 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-30

中央自動車道長野線（松本JCT）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　長野線

（2） 工事の箇所

長野県松本市島立

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道158号 （中部縦貫自動車道）	長野県松本市島立	立体接続	松本ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

4，331 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　令和　8 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

5，732 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　5，445　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-32

第一東海自動車道

（神奈川県海老名市大谷から神奈川県海老名市今里まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市大谷　　から
神奈川県海老名市今里　　まで

（ロ） 延　　長　　2．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市 大谷　から 神奈川県海老名市 今里　まで	120	2．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．60 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市 大谷　から 神奈川県海老名市 今里　まで	6 車線	6 車線	付加車線事業

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

12，251 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　14　年　4　月　9　日
②工事の完成予定年月日　　平成　26　年　6　月　25　日　（供用開始）
令和　3　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

13，013 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　13，013 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-33

第一東海自動車道

（神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市社家まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市門沢橋　　から
神奈川県海老名市社家　　まで

（ロ） 延　　長　　1．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市 門沢橋　から 神奈川県海老名市 社家　まで	80	1．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県海老名市 門沢橋　から 神奈川県海老名市 社家　まで	4 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　　メートル　　（土工部）

3．00　　メートル　　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	神奈川県海老名市 門沢橋	平面接続	本線
第二東海自動車道 横浜名古屋線	神奈川県海老名市 門沢橋	立体接続	海老名南ジャンクション
第一東海自動車道	神奈川県海老名市 社家	立体接続	海老名ジャンクション

（4） 工事予算

41，996 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成 11 年 1 月 8 日	
②工事の完成予定年月日	平成 27 年 3 月 8 日	（供用開始）
	平成 31 年 3 月 28 日	（残事業一部完成）
	令和 2 年 3 月 30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

29，363 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　29，363 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-34

第一東海自動車道

（神奈川県海老名市社家から神奈川県海老名市中新田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市社家　　から
神奈川県海老名市中新田　　まで

（ロ） 延　　長　　1．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　海老名市社家から海老名市中新田まで
第 1 種 第 3 級（道路構造令）

海老名市中新田から海老名市中新田まで
第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市 社家 神奈川県海老名市 中新田	から まで	80	1．2	
神奈川県海老名市 中新田 神奈川県海老名市 中新田	から まで	100	0．7	

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県海老名市 社家 神奈川県海老名市 中新田	から まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	上段（第1種第3級） 海老名市社家から 海老名市中新田まで 下段（第1種第2級） 海老名市中新田から 海老名市中新田まで
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2 2．50×2	3．50 5．00	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－

（チ） 中央帯の標準幅員

海老名市社家から海老名市中新田まで

－　メートル　（土工部）

3．00　メートル　（橋梁部）

海老名市中新田から海老名市中新田まで

－　メートル　（土工部）

4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
第一東海自動車道	神奈川県海老名市 社家	立体接続	海老名ジャンクション
県道藤沢厚木線	神奈川県海老名市 中新田	立体接続	海老名インターチェンジ
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	神奈川県海老名市 中新田	平面接続	本線

（4） 工事予算

78，517 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　22　年　2　月　27　日　（供用開始）
平成　31　年　3　月　28　日　（残事業一部完成）
令和　2　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

41，370 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　41，370 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-50

一般国道1号（新湘南バイパス）

（神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県中郡大磯町東町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道1号

（有料道路名 ： 新湘南バイパス）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　神奈川県茅ヶ崎市柳島　から
神奈川県中郡大磯町東町　まで

（ロ） 延　　長　　5．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県茅ヶ崎市 柳島 神奈川県中郡 大磯町東町	から まで	80	5．6	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県茅ヶ崎市 柳島 神奈川県中郡 大磯町東町	から まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	１．２５×２	２．５	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
３．００　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道相模原茅ヶ崎線	神奈川県茅ヶ崎市 柳島	立体接続	茅ヶ崎海岸インターチェンジ
一般国道134号	神奈川県 平塚市高浜台	立体接続	平塚インターチェンジ （仮称）
一般国道134号	神奈川県中郡 大磯町東町	立体接続	大磯インターチェンジ （仮称）
一般国道1号 （西湘バイパス）	神奈川県中郡 大磯町東町	平面接続	本線

（4） 工事予算

5，144 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県茅ヶ崎市柳島まで

令和　3　年　4　月　1　日

別　紙　1

ロ　神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県中郡大磯町東町まで

令和　5　年　4　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　令和　6　年　3　月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，546 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，219 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-51

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）
（神奈川県海老名市中新田から神奈川県厚木市上依知まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市中新田　　から
神奈川県厚木市上依知　　まで

（ロ） 延　　長　　10．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市 中新田　から 神奈川県厚木市 上依知　まで	100	10．1	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市 中新田　から 神奈川県厚木市 上依知　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
第一東海自動車道	神奈川県海老名市 中新田	平面接続	本線
県道藤沢厚木線	神奈川県海老名市 中新田	立体接続	海老名インターチェンジ
一般国道246号 （厚木秦野道路）	神奈川県厚木市 中依知	立体接続	圏央厚木インターチェンジ
一般国道129号	神奈川県厚木市 中依知	立体接続	圏央厚木インターチェンジ
一般国道129号	神奈川県相模原市 南区当麻	立体接続	相模原愛川インターチェンジ
県道相模原町田線	神奈川県相模原市 南区当麻	立体接続	相模原愛川インターチェンジ

（4） 工事予算

92，277 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ 神奈川県海老名市中新田から神奈川県海老名中新田まで　（STA110+52～STA113+40）
平成 16 年 6 月 29 日

ロ 神奈川県海老名市中新田から神奈川県海老名市河原口まで（STA113+40～STA114+60）
平成 21 年 5 月 11 日

ハ 神奈川県海老名市河原口から神奈川県厚木市金田まで　（STA114+60～STA128+40）
平成 16 年 6 月 29 日

ニ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA128+40～STA129+20）
平成 23 年 2 月 1 日

ホ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA129+20～STA130+00）
平成 23 年 6 月 1 日

ヘ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA130+00～STA131+20）
平成 23 年 1 月 1 日

ト 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA131+20～STA132+91）
平成 23 年 1 月 1 日

チ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA132+91～STA138+00）
平成 18 年 6 月 30 日

別　紙　1

リ　神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA138+00～STA139+00）
　平成　23　年　1　月　1　日

ヌ　神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市下依知まで　（STA139+00～STA146+05）
　平成　18　年　6　月　30　日

ル　神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市下依知まで　（STA146+05～STA151+50）
　平成　20　年　7　月　1　日

ヲ　神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市下依知まで　（STA151+50～STA152+50）
　平成　21　年　12　月　1　日

ワ　神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市中依知まで　（STA152+50～STA160+93.5）
　平成　20　年　7　月　1　日

カ　神奈川県厚木市中依知から神奈川県厚木市関口まで　（STA160+93.5～STA164+85）
　平成　20　年　7　月　1　日

ヨ　神奈川県厚木市下依知　（圏央厚木IC取り付け部）
　平成　24　年　7　月　1　日

タ　神奈川県厚木市関口から神奈川県厚木市山際まで　（STA164+85～STA176+50）
　平成　19　年　2　月　1　日

レ　神奈川県厚木市山際から神奈川県厚木市上依知まで　（STA176+50～STA201+45）
　平成　24　年　6　月　1　日

別　紙　1

ソ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで　（STA201+45～STA206+31）
　平成　23　年　12　月　1　日

ツ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで　（STA204+10～STA204+70）
　平成　25　年　2　月　1　日

ネ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで　（STA204+70～STA206+31）
　平成　24　年　6　月　1　日

ナ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで　（STA206+31～STA211+44）
　平成　24　年　6　月　1　日

ラ　神奈川県厚木市上依知　（相模原愛川ICランプ部）
　平成　24　年　12　月　1　日

ム　神奈川県厚木市上依知　（相模原愛川IC　Hランプ部）
　平成　25　年　1　月　7　日

ウ　神奈川県厚木市上依知　（相模原愛川IC　E,Fランプ部）
　平成　25　年　2　月　1　日

ヰ　神奈川県相模原市南区当麻　（相模原愛川IC料金所部）
　平成　24　年　5　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日

平成　25　年　3　月　30　日　（供用開始）
平成　30　年　3　月　29　日　（残事業一部完成）
令和　3　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

91，717 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　91，717 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-55

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）

（神奈川県茅ヶ崎市西久保から神奈川県海老名市門沢橋まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県茅ヶ崎市西久保　　から

神奈川県海老名市門沢橋　　まで

（ロ） 延　　長　　7．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県茅ヶ崎市 西久保 神奈川県海老名市 門沢橋	から まで	80	7．9	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県茅ヶ崎市 西久保 神奈川県海老名市 門沢橋	から まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号 （新湘南ﾊﾞｲﾊﾟｽ）	神奈川県茅ケ崎市 西久保	立体接続	茅ヶ崎ジャンクション
県道 伊勢原藤沢線	神奈川県高座郡 寒川町田端	立体接続	寒川南インターチェンジ
県道 相模原茅ヶ崎線	神奈川県高座郡 寒川町宮山	立体接続	寒川北インターチェンジ
第二東海自動車道 横浜名古屋線	神奈川県海老名市 門沢橋	立体接続	海老名南ジャンクション
第一東海自動車道	神奈川県海老名市 門沢橋	平面接続	本線

（4） 工事予算

22，127 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　神奈川県茅ヶ崎市西久保から神奈川県高座郡寒川町田端まで　（STA.-1+86～STA.9+27）
平成 24 年 7 月 1 日

ロ　神奈川県高座郡寒川町田端から神奈川県高座郡寒川町田端まで　（STA.9+27～STA.11+57）
平成 25 年 3 月 1 日

ハ　神奈川県高座郡寒川町田端　（寒川南IC 料金所部）
平成 24 年 5 月 1 日

ニ　神奈川県高座郡寒川町田端　（寒川南IC ランプ部）
平成 24 年 12 月 1 日

ホ　神奈川県高座郡寒川町田端　（寒川南IC Cランプ部）
平成 25 年 1 月 15 日

ヘ　神奈川県高座郡寒川町田端　（寒川南IC D，Eランプ部）
平成 25 年 2 月 17 日

ト　神奈川県高座郡寒川町田端から神奈川県高座郡寒川町一ノ宮まで　（STA.11+57～STA.27+10）
平成 24 年 5 月 1 日

チ　神奈川県高座郡寒川町一ノ宮から神奈川県高座郡寒川町一ノ宮まで　（STA.27+10～STA.35+42）
平成 24 年 12 月 1 日

別　紙　1

リ　神奈川県高座郡寒川町一ノ宮から神奈川県高座郡寒川町宮山まで　（STA.35+42～STA.50+93.5）
　平成　24　年　6　月　1　日

ヌ　神奈川県高座郡寒川町宮山　（寒川北IC 料金所部）
　平成　24　年　6　月　1　日

ル　神奈川県高座郡寒川町宮山　（寒川北IC ランプ部）
　平成　24　年　12　月　1　日

ヲ　神奈川県高座郡寒川町宮山　（寒川北IC AC，Bランプ部）
　平成　25　年　1　月　1　日

ワ　神奈川県高座郡寒川町宮山　（寒川北IC AC，B，Dランプ部）
　平成　25　年　2　月　1　日

カ　神奈川県高座郡寒川町宮山　（寒川北IC Eランプ部）
　平成　25　年　2　月　1　日

ヨ　神奈川県高座郡寒川町宮山から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.50+93.5～STA.53+78）
　平成　24　年　7　月　1　日

タ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.53+78～STA.57+15.5）
　平成　26　年　11　月　1　日

レ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.57+15.5～STA.59+30.5）
　平成　26　年　12　月　1　日

別　紙　1

ソ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.59+30.5～STA.60+77.5）
平成　26　年　7　月　1　日

ツ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.60+77.5～STA.62+24.5）
平成　26　年　1　月　1　日

ネ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.62+24.5～STA.66+93）
平成 23　年 1　月 1　日

ナ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県海老名市門沢橋まで　（STA.66+93～STA.72+09）
平成 22　年 8　月 1　日

ラ　神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市門沢橋まで　（STA.72+09～STA.73+39）
平成 23　年 3　月 1　日

ム　神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市門沢橋まで　（STA.73+39～STA.76+23）
平成 22　年 8　月 1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

別　紙　1

②工事の完成予定年月日

平成　25　年　4　月　14　日　（茅ヶ崎JCT～寒川北IC）　（供用開始）
平成　27　年　3　月　8　日　（寒川北IC～海老名南JCT）　（供用開始）
令和　2　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

23，916　　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　23，916　　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-71

中日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る

高速道路利便増進事業に関する計画（スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

（1） 工事予算

60，953 百万円（消費税込み）

（2） 工事に要する費用に係る債務引受限度額

68，400 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円（消費税込み））

（3） 個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額は、下記のとおりとする。
ただし、工事予算及び債務引受限度額については、（1）工事予算及び（2）債務引受限度額の内数である。
また、工事完成後は精算額としている。

別　紙　1

(イ) 路線名	(ロ) 工事の箇所	(ハ)工事方法 他の道路との連結位置及び接続の方法			(ニ) 工事の着手および完成の予定年月日		(ホ) 工事予算 (消費税込み)	(ヘ) 債務引受限度額 (消費税込み)	うち 助成対象 基準額 (消費税込み)	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
中央自動車道 富士吉田線	東京都府中市是政	都道川崎府中線及び市道中央道側道	東京都府中市小柳町及び東京都府中市是政	立体接続	平成21年9月29日	平成27年3月7日 (供用開始) 平成30年3月29日 (残事業完成)	2,014百万円	2,237百万円	ー	本線 直結型
中央自動車道 西宮線	滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺	県道湖東三山インター線	滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺	立体接続	平成21年9月29日	平成25年10月21日 (供用開始) 平成26年3月31日 (残事業完成)	1,184百万円	1,335百万円	ー	湖東三山 PA
中央自動車道 長野線	長野県松本市島内	市道8087号線及び市道豊科3531号線	長野県松本市島内及び長野県安曇野市豊科高家	立体接続	平成21年9月29日	平成22年11月27日 (供用開始) 平成23年1月31日 (残事業完成)	494百万円	547百万円	ー	梓川 SA
第一東海自動車道	愛知県名古屋市守山区下志段味	市道守山パーキングエリア線	愛知県名古屋市守山区下志段味	立体接続	平成21年9月29日	平成30年3月24日 (供用開始) 令和3年3月30日 (残事業完成)	3,064百万円	3,633百万円	ー	守山 PA
中央自動車道 富士吉田線	山梨県富士吉田市上暮地	県道富士吉田西桂線	山梨県富士吉田市上暮地	立体接続	平成23年4月28日	平成30年4月15日 (供用開始:東京方面) 平成30年8月 6日 (供用開始:河口湖方面) 令和3年3月30日 (残事業完成)	4,461百万円	4,737百万円	ー	本線 直結型
第一東海自動車道	静岡県焼津市上新田	市道0105号線	静岡県焼津市上新田	立体接続	平成23年4月28日	平成28年3月12日 (供用開始) 平成30年3月29日 (残事業完成)	2,745百万円	3,094百万円	ー	本線 直結型
東海北陸自動車道	富山県南砺市上川崎	市道南砺スマートインター線	富山県南砺市柴田屋	立体接続	平成23年4月28日	平成27年3月1日 (供用開始) 平成28年3月30日 (残事業完成)	1,323百万円	1,457百万円	ー	本線 直結型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との連結位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県静岡市葵区飯間	市道小瀬戸飯間線及び市道飯間本線	静岡県静岡市葵区小瀬戸及び静岡県静岡市葵区飯間	立体接続	平成23年4月28日	平成24年4月14日 （供用開始） 平成25年3月30日 （残事業完成）	200百万円	208百万円	―	静岡 SA
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県浜松市浜北区四大地	市道浜北灰木大平1号線及び市道須部灰の木線	静岡県浜松市浜北区四大地及び静岡県浜松市北区都田町	立体接続	平成23年4月28日	平成24年4月14日 （供用開始） 平成25年3月30日 （残事業完成）	223百万円	230百万円	―	浜松 SA
北陸自動車道	富山県砺波市下中条	市道高岡砺波インター線	富山県砺波市下中条	立体接続	平成23年4月28日	平成27年3月1日 （供用開始） 平成28年3月30日 （残事業完成）	1,964百万円	2,125百万円	―	本線 直結型
一般国道475号 （東海環状自動車道）	岐阜県土岐市泉町	市道81920号線、82525号線及び82526号線	岐阜県土岐市泉町	立体接続	平成23年4月28日	平成25年2月28日 （供用開始） 平成25年8月30日 （残事業完成）	475百万円	533百万円	―	五斗蒔 PA
中央自動車道 西宮線	山梨県笛吹市八代町南	県道313号藤垈石和線及び市道4015号線	山梨県笛吹市八代町南	立体接続	平成24年5月17日	平成29年3月26日 （供用開始） 令和2年3月30日 （残事業完成）	2,140百万円	2,484百万円	―	本線 直結型
第一東海自動車道	静岡県沼津市宮本	市道0118号線及び市道0105号線	静岡県沼津市宮本	立体接続	平成24年5月17日	平成28年3月19日 （供用開始） 平成29年3月30日 （残事業完成）	633百万円	735百万円	―	愛鷹 PA
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県周智郡森町大字円田	町道遠州森町PA上り線及び町道遠州森町PA下り線	静岡県周智郡森町大字一宮及び静岡県周智郡森町大字円田	立体接続	平成24年5月17日	平成26年3月29日 （供用開始） 平成27年3月30日 （残事業完成）	567百万円	632百万円	―	遠州森町 PA

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との連結位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
北陸自動車道	滋賀県長浜市小谷丁野町	県道郷野湖北線及び県道丁野虎姫長浜線	滋賀県長浜市湖北町及び滋賀県長浜市小谷丁野町	立体接続	平成24年5月17日	平成29年3月25日 （供用開始） 平成30年3月29日 （残事業完成）	2,358百万円	2,573百万円	－	本線 直結型
近畿自動車道 名古屋神戸線	三重県鈴鹿市山本町	市道山本65号線	三重県鈴鹿市山本町	立体接続	平成24年5月17日	平成31年3月17日 （供用開始） 令和3年3月30日 （残事業完成）	1,566百万円	1,720百万円	－	鈴鹿PA
近畿自動車道 敦賀線	福井県敦賀市長谷	市道長谷2号線	福井県敦賀市長谷	立体接続	平成24年5月17日	平成29年3月25日 （供用開始） 平成30年3月29日 （残事業完成）	2,164百万円	2,398百万円	－	本線 直結型
中央自動車道 富士吉田線	山梨県上野原市大野	市道談合坂サービスエリア線	山梨県上野原市大野	立体接続	平成25年7月5日	令和2年5月31日	2,009百万円	2,335百万円	－	談合坂 SA
中央自動車道 西宮線	岐阜県安八郡安八町中	町道南長田坊野1号線	岐阜県安八郡安八町中	立体接続	平成25年7月5日	平成30年3月24日 （供用開始） 平成31年3月28日 （残事業完成）	3,472百万円	3,770百万円	－	本線 直結型
中央自動車道 西宮線	岐阜県養老郡養老町橋爪南川原	町道橋爪1号線及び町道橋爪42号線	岐阜県養老郡養老町橋爪南川原	立体接続	平成25年7月5日	平成30年6月24日 （供用開始） 令和2年3月30日 （残事業完成）	796百万円	1,020百万円	－	養老 SA
第一東海自動車道	神奈川県綾瀬市小園	県道藤沢座間厚木	神奈川県綾瀬市小園	立体接続	平成25年7月5日	令和3年6月30日	7,787百万円	8,918百万円	－	本線 直結型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との連結位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
第一東海自動車道	静岡県静岡市駿河区宮川	市道大谷改良区7号線	静岡県静岡市駿河区宮川	立体接続	平成25年7月5日	令和元年9月14日 （供用開始） 令和3年3月30日 （残事業完成）	5,125百万円	5,444百万円	－	本線 直結型
第一東海自動車道	静岡県浜松市東区有玉西町	市道有玉南初生線及び市道有玉西12号線	静岡県浜松市東区有玉西町	立体接続	平成25年7月5日	平成29年3月18日 （供用開始） 平成30年3月29日 （残事業完成）	869百万円	974百万円	－	三方原PA
第一東海自動車道	静岡県浜松市西区呉松町	県道引佐舘山寺線及び県道湖東舘山寺線	静岡県浜松市西区呉松町	立体接続	平成25年7月5日	平成31年3月17日 （供用開始） 令和3年3月30日 （残事業完成）	2,294百万円	2,553百万円	－	本線 直結型
第一東海自動車道	愛知県豊田市西田町長根山	市道上郷スマートインター1号線及び市道上郷スマートインター2号線	愛知県豊田市永覚新町及び愛知県豊田市西田町外林	立体接続	平成25年7月5日	令和3年3月31日	1,803百万円	2,061百万円	－	上郷SA
第二東海自動車道横浜名古屋線	静岡県駿東郡小山町大御神	町道3628号線及び町道3984号線	静岡県駿東郡小山町大御神	立体接続	平成25年7月5日	令和6年3月31日	895百万円	1,058百万円	－	小山PA （仮称）
第二東海自動車道横浜名古屋線	静岡県沼津市根古屋	市道1970号線及び市道1971号線	静岡県沼津市根古屋	立体接続	平成25年7月5日	平成29年3月18日 （供用開始） 平成30年3月29日 （残事業完成）	775百万円	879百万円	－	駿河湾沼津SA
第二東海自動車道横浜名古屋線	静岡県磐田市敷地	市道下野部敷地線	静岡県磐田市敷地	立体接続	平成25年7月5日	令和2年9月30日	1,984百万円	2,130百万円	－	本線 直結型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との連結位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
北陸自動車道	石川県能美市吉原釜屋町	市道木曽街道線	石川県能美市吉原釜屋町	立体接続	平成25年7月5日	平成30年3月25日 （供用開始） 平成31年3月28日 （残事業完成）	2,284百万円	2,600百万円	－	本線 直結型
近畿自動車道 敦賀線	福井県三方上中郡若狭町鳥浜	町道若狭梅街道線	福井県三方上中郡若狭町鳥浜	立体接続	平成25年7月5日	平成30年3月24日 （供用開始） 平成31年3月28日 （残事業完成）	1,606百万円	1,998百万円	－	三方五湖 PA
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	東京都八王子市美山町	市道川口339号線	東京都八王子市美山町	立体接続	平成25年7月5日	平成28年12月24日 （供用開始） 平成30年3月29日 （残事業完成）	969百万円	1,144百万円	－	本線 直結型
一般国道475号 （東海環状自動車道）	岐阜県岐阜市北野北	市道北野北線	岐阜県岐阜市北野北	立体接続	平成25年7月5日	令和2年3月20日 （供用開始） 令和3年3月30日 （残事業完成）	710百万円	838百万円	－	岐阜三輪 PA

別紙1-C-78

東海北陸自動車道（西尾張IC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の箇所

愛知県一宮市大和町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道岐阜稲沢線	愛知県一宮市 大和町	立体接続	西尾張インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

797 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 9 月　 5 日

②工事の完成予定年月日　　令和　 3 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

962　 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　914　 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-79

東海北陸自動車道

（岐阜県郡上市白鳥町那留から岐阜県高山市清見町夏厩まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県郡上市白鳥町那留　　から
岐阜県高山市清見町夏厩　　まで

（ロ） 延　　長　　40．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
岐阜県郡上市白鳥町那留　から 岐阜県高山市清見町夏厩　まで	80	40．9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県郡上市白鳥町那留　から 岐阜県高山市清見町夏厩　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75	1．75	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	—	—	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25	1．25	1．25	1．00	2．25	

※　切土部については、左側路肩を堆雪余裕幅として白鳥～高鷲2．0m、高鷲～飛騨清見3．0m拡幅する。

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	－

（4） 工事予算

106，600 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	24 年	5 月	1 日		
②工事の完成予定年月日	平成	30 年	11 月	30 日	（白鳥IC～高鷲IC）	（供用開始）
	平成	30 年	12 月	8 日	（ひるがの高原SA～飛騨清見IC）	（供用開始）
	平成	31 年	3 月	20 日	（高鷲IC～ひるがの高原SA）	（供用開始）
	令和	元 年	11 月	28 日	（荘川IC～飛騨清見IC）	（残事業一部完成）
	令和	4 年	3 月	30 日	（工事完成）	

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

114，919 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　114，919 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-80

一般国道475号（東海環状自動車道）
（岐阜県関市広見から岐阜県大垣市桧町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　岐阜県関市広見　から
岐阜県大垣市桧町　まで

（ロ） 延　　長　35. 3キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
岐阜県関市広見 から 岐阜県大垣市桧町 まで		100	35．3	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県関市広見 から 岐阜県大垣市桧町 まで		2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）
　　－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道418号	岐阜県関市広見	立体接続	関広見インターチェンジ
一般国道256号	岐阜県山県市大字西深瀬	立体接続	山県インターチェンジ
都計道岐阜インター線	岐阜県岐阜市大学北	立体接続	岐阜インターチェンジ（仮称）
一般国道157号	岐阜県本巣市上保	立体接続	糸貫インターチェンジ（仮称）
県道 岐阜関ヶ原線	岐阜県安八郡神戸町大字西座倉	立体接続	大野神戸インターチェンジ
一般国道21号及び県道大垣環状線	岐阜県大垣市桧町	立体接続	大垣西インターチェンジ

（4） 工事予算

127，240　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手(予定)年月日

イ　岐阜県大垣市桧町から岐阜県大垣市熊野町まで
平成　31　年　2　月　1　日

ロ　岐阜県大垣市桧町から岐阜県大垣市池尻町まで
平成　31　年　3　月　1　日

ハ　岐阜県大垣市池尻町から岐阜県大垣市北方町まで
平成　31　年　4　月　1　日

ニ　岐阜県大垣市北方町から岐阜県安八郡神戸町大字神戸まで
令和　元　年　5　月　1　日

ホ　岐阜県安八郡神戸町大字神戸から岐阜県安八郡神戸町大字神戸まで
令和　元　年　8　月　1　日

ヘ　岐阜県安八郡神戸町大字神戸から岐阜県安八郡神戸町西座倉まで
平成　31　年　4　月　1　日

ト　岐阜県安八郡神戸町西座倉から岐阜県揖斐郡大野町下磯まで　　（大野神戸IC　Bランプ）
平成　31　年　4　月　1　日

チ　岐阜県安八郡神戸町西座倉から岐阜県安八郡神戸町西座倉まで　（大野神戸IC　Cランプ）
令和　元　年　8　月　1　日

別　紙　1

リ　岐阜県揖斐郡大野町下磯から岐阜県揖斐郡大野町下磯まで　　（大野神戸IC　Eランプ・料金所）
　平成　31　年２　　月１　　日

ヌ　岐阜県安八郡神戸町西座倉から岐阜県安八郡神戸町西座倉まで
　平成　30　年５　　月１　　日

ル　岐阜県安八郡神戸町西座倉から岐阜県揖斐郡大野町下磯まで
　令和　２　年９　　月１　　日

ヲ　岐阜県揖斐郡大野町下磯から岐阜県瑞穂市七崎まで
　平成　30　年５　　月１　　日

ワ 岐阜県瑞穂市七崎から岐阜県瑞穂市七崎まで
　平成　31　年　４　月　１　日

カ　岐阜県瑞穂市七崎から岐阜県本巣市見延まで
　平成　30　年　５　月　１　日

ヨ　岐阜県本巣市見延から岐阜県本巣市見延まで
　令和　元　年　12　月　１　日

タ　岐阜県本巣市見延から岐阜県本巣市三橋まで
　平成　30　年　５　月　１　日

レ　岐阜県本巣市三橋から岐阜県本巣市三橋まで
　令和　５　年　11　月　１　日

別　紙　1

ソ　岐阜県本巣市三橋から岐阜県岐阜市城田寺まで
　平成　30　年　5　月　1　日

ツ　岐阜県岐阜市城田寺から岐阜県岐阜市城田寺まで
　平成　30　年　9　月　1　日

ネ　岐阜県岐阜市城田寺から岐阜県山県市西深瀬まで
　令和　5　年　4　月　1　日

ナ　岐阜県山県市西深瀬から岐阜県山県市西深瀬まで
　平成　30　年　5　月　1　日

ラ　岐阜県山県市西深瀬から岐阜県山県市西深瀬まで
　令和　2　年　1　月　1　日

ム　岐阜県山県市西深瀬から岐阜県山県市西深瀬まで
　令和　元　年　7　月　1　日

ウ　岐阜県山県市西深瀬から岐阜県山県市西深瀬まで
　令和　元　年　6　月　1　日

ヰ　岐阜県山県市西深瀬から山県市東深瀬まで
　平成　31　年　4　月　1　日

ノ　岐阜県山県市東深瀬から岐阜県山県市東深瀬まで
　令和　元　年　6　月　1　日

別　紙　1

オ　岐阜県山県市東深瀬から岐阜県山県市東深瀬まで
　令和　元　年　５　月　１　日

ク　岐阜県山県市東深瀬から岐阜県山県市東深瀬まで
　平成　30　年　12　月　１　日

ヤ　岐阜県山県市東深瀬から岐阜県山県市東深瀬まで
　平成　31　年　２　月　１　日

マ　岐阜県山県市東深瀬から岐阜県岐阜市山県北野北まで
　平成　30　年　12　月　１　日

ケ　岐阜県岐阜市山県北野北から岐阜県岐阜市山県北野まで
　平成　31　年　２　月　１　日

フ　岐阜県岐阜市山県北野から岐阜県岐阜市三輪まで
　平成　30　年　12　月　１　日

コ　岐阜県岐阜市三輪から岐阜県関市広見まで
　平成　31　年　４　月　１　日

エ　岐阜県関市広見から岐阜県関市広見まで
　令和　元　年　８　月　１　日

テ　岐阜県関市広見から岐阜県関市広見まで
　平成　30　年　12　月　１　日

別　紙　1

ア　岐阜県関市広見から岐阜県関市広見まで
　令和　元　年　6　月　1　日

サ　岐阜県関市広見から岐阜県関市広見まで
　平成　31　年　4　月　1　日

キ　岐阜県関市広見から岐阜県関市広見まで
　平成　30　年　12　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　令和　元 年　12 月　14 日　（大野神戸IC～大垣西IC）　（供用開始）
　　令和　2 年　3 月　20 日　（関広見IC～山県IC）　（供用開始）
　　令和　7 年　3 月　31 日　［山県IC～大野神戸IC］

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

142，600 百万円（消費税込み）
（うち、助成対象基準額　　135，470 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-82

一般国道475号（東海環状自動車道）
（岐阜県養老郡養老町飯積から三重県員弁郡東員町大字長深まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　　岐阜県養老郡養老町飯積　　から
三重県員弁郡東員町大字長深　　まで

（ロ） 延　　長　　34．1キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
岐阜県養老郡養老町飯積 三重県員弁郡東員町大字長深	から まで	100	34．1	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県養老郡養老町飯積 三重県員弁郡東員町大字長深	から まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中央自動車道　西宮線	岐阜県養老郡養老町飯積	立体接続	養老ジャンクション
県道　養老平田線	岐阜県養老郡養老町口ヶ島	立体接続	養老インターチェンジ
一般国道306号及び一般国道365号	三重県いなべ市北勢町阿下喜	立体接続	北勢インターチェンジ（仮称）
一般国道365号	三重県いなべ市大安町高柳	立体接続	大安インターチェンジ
一般国道365号	三重県員弁郡東員町大字長深	立体接続	東員インターチェンジ

（4） 工事予算

78，120　　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　岐阜県養老郡養老町直江から岐阜県養老郡養老町直江まで　（養老JCT　Gランプ）
　平成 29 年 3 月 1 日

ロ　岐阜県養老郡養老町飯積から岐阜県養老郡養老町高田まで　（No.4+7.0～No.53+5.5）
　平成 29 年 4 月 1 日

ハ　岐阜県養老郡養老町高田から岐阜県養老郡養老町高田まで　（No.53+5.5～No.63+7.5）
　平成 29 年 5 月 1 日

ニ　岐阜県養老郡養老町高田から岐阜県養老郡養老町高田まで　（No.63+7.5～No.111+0.0）
　平成 29 年 4 月 1 日

ホ　岐阜県養老郡養老町高田から岐阜県養老郡養老町口ケ島まで　（No.111+0.0～No.121+15.0）
　平成 29 年 5 月 1 日

ヘ　岐阜県養老郡養老町口ケ島から岐阜県養老郡養老町口ケ島まで　（No.121+15.0～No.130+13.0）
　平成 29 年 4 月 1 日

ト　岐阜県養老郡養老町口ケ島から岐阜県養老郡養老町西岩道まで　（No.130+13.0～No.141+11.0）
　平成 29 年 5 月 1 日

チ　岐阜県養老郡養老町西岩道から岐阜県養老郡養老町口ケ島まで　（養老IC　ランプ部）
　平成 29 年 4 月 1 日

別　紙　1

リ　岐阜県養老郡養老町ロケ島から岐阜県養老郡養老町大跡まで　　（養老IC　料金所部）
平成　28　年　12　月　1　日

ヌ-1　岐阜県養老郡養老町西岩道から岐阜県養老郡養老町ロケ島まで
令和　7　年　4　月　1　日

ヌ-2　岐阜県養老郡養老町ロケ島から岐阜県養老郡養老町市笠まで
令和　4　年　10　月　1　日

ヌ-3　岐阜県養老郡養老町市笠から岐阜県養老郡養老町小倉まで
令和　5　年　10　月　1　日

ヌ-4　岐阜県養老郡養老町小倉から岐阜県養老郡養老町一色まで
令和　8　年　1　月　1　日

ヌ-5　岐阜県養老郡養老町一色から岐阜県養老郡養老町横屋まで
令和　5　年　10　月　1　日

ヌ-5　岐阜県養老郡養老町横屋から岐阜県海津市南濃町徳田まで
令和　8　年　1　月　1　日

ル-1　岐阜県海津市南濃町徳田から三重県いなべ市北勢町二之瀬まで
令和　3　年　4　月　1　日

ル-2　三重県いなべ市北勢町二之瀬から三重県いなべ市北勢町二之瀬まで
令和　3　年　10　月　1　日

別　紙　1

ヲ−1　三重県いなべ市北勢町二之瀬から三重県いなべ市北勢町二之瀬まで
令和　6　年　4　月　1　日

ヲ−2　三重県いなべ市北勢町二之瀬から三重県いなべ市北勢町田辺まで
令和　3　年　4　月　1　日

ヲ−3　三重県いなべ市北勢町田辺から三重県いなべ市北勢町向平まで
令和　7　年　4　月　1　日

ヲ−4　三重県いなべ市北勢町向平から三重県いなべ市北勢町瀬木まで
令和　3　年　4　月　1　日

ヲ−5　三重県いなべ市北勢町瀬木から三重県いなべ市北勢町阿下喜まで
令和　7　年　4　月　1　日

ワ　三重県いなべ市北勢町阿下喜から三重県いなべ市北勢町阿下喜まで
平成　30　年　5　月　1　日

カ　三重県いなべ市北勢町阿下喜から三重県いなべ市北勢町阿下喜まで
令和　4　年　4　月　1　日

ヨ　三重県いなべ市北勢町阿下喜から三重県いなべ市北勢町阿下喜まで
令和　4　年　4　月　1　日

タ　三重県いなべ市北勢町阿下喜から三重県いなべ市北勢町阿下喜まで
平成　30　年　5　月　1　日

別　紙　1

レ　三重県いなべ市北勢町阿下喜から三重県いなべ市北勢町阿下喜まで
　令和　６　年　７　月　１　日

ソ　三重県いなべ市北勢町阿下喜から三重県いなべ市北勢町阿下喜まで
　令和　６　年　７　月　１　日

ツ　三重県いなべ市北勢町阿下喜から三重県いなべ市北勢町治田外面まで
　平成　30　年　５　月　１　日

ネ　三重県いなべ市北勢町治田外面から三重県いなべ市北勢町治田外面まで
　令和　元　年　９　月　１　日

ナ　三重県いなべ市北勢町治田外面から三重県いなべ市北勢町治田外面まで
　平成　30　年　５　月　１　日

ラ　三重県いなべ市北勢町治田外面から三重県いなべ市大安町丹生川久下まで
　令和　６　年　４　月　１　日

ム　三重県いなべ市大安町丹生川久下から三重県いなべ市北勢町麻生田まで
　平成　30　年　５　月　１　日

ウ　三重県いなべ市北勢町麻生田から三重県いなべ市北勢町麻生田まで
　令和　６　年　８　月　１　日

ヰ　三重県いなべ市北勢町麻生田から三重県いなべ市大安町片樋まで
　平成　30　年　５　月　１　日

別　紙　1

ノ　三重県いなべ市大安町片樋から三重県いなべ市大安町高柳まで
　平成　31　年　4　月　1　日

オ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで
　平成　30　年　5　月　1　日

ク　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで
　令和　6　年　4　月　1　日

ヤ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで
　平成　31　年　4　月　1　日

マ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで
　平成　30　年　5　月　1　日

ケ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで
　令和　3　年　7　月　1　日

フ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで
　平成　30　年　5　月　1　日

コ-1　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで
　令和　3　年　7　月　1　日

コ-2　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで
　令和　3　年　4　月　1　日

別　紙　1

エ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで　（大安IC　Eランプ土工部　E-No.32+3.32～E-No.24+4.0）
平成　30　年　12　月　1　日

テ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで　（大安IC　Eランプ橋梁部　E-No.24+4.0～E-No.15+0.0）
平成　30　年　8　月　1　日

ア　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで　（大安IC料金所部　E-No.15+0.0～A2-No0+0）
平成　30　年　4　月　1　日

サ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで　（大安IC　A・Cランプ橋梁部　C2-No.0+0～C2-No.28+0.0）
平成　30　年　8　月　1　日

キ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで　（大安IC　Cランプ土工部　C2-No.28+0.0～C2-No.59+1.3）
平成　30　年　12　月　1　日

ユ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市員弁町北金井まで　（大安IC　Cランプ土工部　C2-No.59+1.3～C2-No.77+9.2）
平成　30　年　8　月　1　日

メ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市員弁町北金井まで　（大安IC　Bランプ部　B-No.0+0～No.B-No.54+1.8）
平成　30　年　8　月　1　日

ミ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市員弁町北金井まで　（No.327+0.0～№289+17.0）
平成　30　年　8　月　1　日

シ　三重県いなべ市員弁町北金井から三重県員弁郡東員町大字南大社まで　（No.289+17.0～№104+16.0）
平成　30　年　10　月　1　日

別　紙　1

ヲ　三重県員弁郡東員町大字南大社から三重県員弁郡東員町大字南大社まで　(No.104+16.0～No.92+4.0)
　平成　30　年　11　月　1　日

ヒ　三重県員弁郡東員町大字南大社から三重県員弁郡東員町大字南大社まで　(No.92+4.0～No.76+4.0)
　平成　30　年　12　月　1　日

モ　三重県員弁郡東員町大字南大社から三重県員弁郡東員町大字長深まで　(No.76+4.0～No.67+11.0 内回り)
　平成　30　年　10　月　16　日

セ　三重県員弁郡東員町大字南大社から三重県員弁郡東員町大字長深まで　(No.76+4.0～No.69+1.0 外回り)
　平成　30　年10　月　1　日

ス　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　(No.67+11.0～No.57+5.0　内回り)
　平成　30　年　9　月　1　日

ン　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　(No.69+1.0～No.55+7.0 外回り)
　平成　30　年　11　月　15　日

イ’　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　(No.57+5.0～No.42+18.0　内回り)
　平成　30　年　7　月　1　日

ロ’　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　(No.55+7.0～No.51+11.0　外回り)
　平成　30　年　7　月　1　日

ハ’　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　(No.51+11.0～No.42+18.0 外回り)
　平成　30　年　9　月　1　日

別　紙　1

ニ’　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　（No.42+18.0～No.18+0.0　内回り）
　平成　30　年　4　月　1　日

ホ’　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　（No.42+18.0～No.33+17.0　外回り）
　平成　30　年　6　月　1　日

ヘ’　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　（No.33+17.0～No.18+0.0　外回り）
　平成　30　年　4　月　1　日

ト’　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　（東員IC　A・Dランプ部）
　平成　30　年　4　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日

平成　29 年　10 月　22 日　　（養老JCT～養老IC）（供用開始）

平成　31 年　 3 月　17 日　　（大安IC～東員IC）　（供用開始）

令和　 7 年　 3 月　31 日　　［北勢IC（仮称）～大安IC］

令和　 9 年　 3 月　31 日　　［養老IC～北勢IC（仮称）］

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

89，939　　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　85，442　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-83

一般国道475号（東海環状自動車道）
（三重県員弁郡東員町大字長深から三重県四日市市北山町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　三重県員弁郡東員町大字長深　から
三重県四日市市北山町　まで

（ロ） 延　長　1. 4キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
三重県員弁郡東員町大字長深 から 三重県四日市市北山町 まで		100	1．4	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
三重県員弁郡東員町大字長深 から 三重県四日市市北山町 まで		2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道365号	三重県員弁郡東員町大字長深	立体接続	東員インターチェンジ
近畿自動車道　名古屋神戸線	三重県四日市市北山町	立体接続	新四日市ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

2，990　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 三重県員弁郡東員町大字長深　（東員IC地下通路部）
平成 27 年 1 月 1 日

ロ 三重県員弁郡東員町大字長深　（東員IC料金所部）
平成 27 年 4 月 1 日

ハ 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　（東員IC Dランプ部）
平成 27 年 4 月 1 日

ニ 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　（東員IC Eランプ部）
平成 27 年 6 月 1 日

ホ 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　（東員IC A・Dランプ部）
平成 27 年 7 月 15 日

ヘ 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　（上り線：No.18+0.0～No.7+12.0）
平成 27 年 4 月 1 日

別　紙　1

ト　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県四日市市北山町まで　（上り線：No.7+12.0～STA. 3+40.0）
　平成 27 年　7 月 15 日

チ　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県四日市市北山町まで　（下り線：No.18.+0.0～STA. 3+40.0）
　平成 27 年　7 月 15 日

リ　三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで　（新四日市JCT　B・Dランプ）
　平成 27 年　4 月　1 日

ヌ　三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで　（新四日市JCT　Dランプ）
　平成 27 年 12 月　1 日

ル　三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで　（新四日市JCT　Dランプ）
　平成 27 年 12 月　1 日

ヲ　三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで　（新四日市JCT　Dランプ）
　平成 27 年 12 月　1 日

ワ　三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで　（新四日市JCT　Bランプ）
　平成 30 年　7 月　1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が、一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

別　紙　1

②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　8 月　11 日　（供用開始）
平成　31 年　3 月　17 日　（新四日市JCT　Bランプ供用開始）
令和　3 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，143 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，143 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-84

中央自動車道　富士吉田線

（東京都三鷹市北野から東京都世田谷区大蔵まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　東京都三鷹市北野　から
東京都世田谷区大蔵　まで

（ロ） 延　　長　　6．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　直轄事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 2 種 第 1 級（道路構造令）

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
東京都三鷹市北野　から 東京都世田谷区大蔵　まで	80	6．4	

別　紙　1

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．25メートル

（ヘ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
東京都三鷹市北野　から 東京都世田谷区大蔵　まで	6 車線	6 車線	

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	―――	―――	―――	―――	―――	
トンネル部分	―――	―――	2．50	0．75	3．25	
橋梁高架部分（中小橋）	―――	―――	―――	―――	―――	
橋梁高架部分（長大橋）	―――	―――	―――	―――	―――	

別　紙　1

（チ） 付加車線の標準幅員　　―――　　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

―――　　メートル　（土工部）
―――　　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
関越自動車道 新潟線	東京都三鷹市北野	平面接続	本線
中央自動車道 富士吉田線	東京都三鷹市北野	立体接続	中央ジャンクション（仮称）
第一東海自動車道	東京都世田谷区大蔵	立体接続	東名ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

447，803 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　東京都三鷹市北野から東京都世田谷区喜多見
平成　30　年　10　月　1　日

ロ　東京都世田谷区成城から東京都世田谷区喜多見
平成　24　年　5　月　17　日

ロ’　東京都世田谷区成城から東京都世田谷区喜多見
平成　30　年　10　月　1　日

ハ　東京都世田谷区喜多見から東京都世田谷区大蔵
平成　24　年　5　月　17　日

ニ　東京都三鷹市北野から東京都世田谷区喜多見
平成　29　年　3　月　1　日

ホ　東京都調布市東つつじヶ丘から東京都世田谷区喜多見
平成　29　年　3　月　1　日

・なお、直轄事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が直轄事業者から事業引き継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　令和　3　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

476，691 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　452，856 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-85

近畿自動車道伊勢線
（愛知県名古屋市中川区島井町から愛知県海部郡飛島村木場まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　伊勢線

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　愛知県名古屋市中川区島井町　から
愛知県海部郡飛島村木場　まで

（ロ） 延　　長　12．2キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　直轄事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 2 種 第 1 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
愛知県名古屋市中川区島井町	から	60	12．2	
愛知県海部郡飛島村木場	まで			

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘　要
愛知県名古屋市中川区島井町	から	4 車線	4 車線	
愛知県海部郡飛島村木場	まで			

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）

2．25　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
近畿自動車道 名古屋亀山線	愛知県名古屋市中川区島井町	平面接続 及び立体接続	名古屋西ジャンクション
市道高速1号 （名古屋高速道路）	愛知県名古屋市中川区島井町	立体接続	名古屋西ジャンクション
一般国道302号	愛知県名古屋市中川区服部	立体接続	名古屋西ジャンクション南インターチェンジ（仮称）
一般国道302号	愛知県名古屋市中川区かの里及び愛知県名古屋市港区西蟹田	立体接続	富田インターチェンジ（仮称）
一般国道302号	愛知県名古屋市港区南陽町大字茶屋新田	立体接続	南陽インターチェンジ（仮称）
一般国道302号	愛知県海部郡飛島村大字梅之郷	立体接続	名四西インターチェンジ（仮称）
近畿自動車道 名古屋神戸線	愛知県海部郡飛島村木場	立体接続	飛島ジャンクション（仮称）
一般国道302号 （伊勢湾岸道路）	愛知県海部郡飛島村木場	立体接続	飛島ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

170，390 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手(予定)年月日

イ　愛知県名古屋市中川区島井町　から　愛知県名古屋市中川区島井町　まで
平成　24年　5月　17日

ロ　愛知県名古屋市中川区島井町　から　愛知県名古屋市中川区服部　まで
平成　29年　8月　23日

ハ　愛知県名古屋市中川区服部　から　愛知県名古屋市中川区供米田　まで
平成　30年　9月　1日

ニ　愛知県名古屋市中川区供米田　から　愛知県名古屋市中川区かの里　まで
令和　2年　4月　1日

ホ　愛知県名古屋市中川区かの里　から　愛知県名古屋市港区南陽町　まで
平成　30年　9月　1日

ヘ　愛知県名古屋市港区南陽町　から　愛知県海部郡飛島村大字梅之郷　まで
平成　29年　8月　23日

ト　愛知県海部郡飛島村大字梅之郷　から　愛知県海部郡飛島村大字梅之郷　まで
令和　2年　4月　1日

チ　愛知県海部郡飛島村大字梅之郷　から　愛知県海部郡飛島村木場　まで
平成　29年　8月　23日

リ　愛知県海部郡飛島村木場　から　愛知県海部郡飛島村木場　まで
平成　29年　8月　23日

ヌ　愛知県海部郡飛島村木場　から　愛知県海部郡飛島村木場　まで
平成　24年　5月　17日

・なお、直轄事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が直轄事業者から事業引き継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　令和　　3 年　　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

178，581 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　169，652 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-86

第一東海自動車道（横浜青葉JCT）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の箇所

神奈川県横浜市青葉区下谷本町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
横浜市道高速横浜環状北西線 （首都高速道路）	神奈川県横浜市 青葉区下谷本町	立体接続	横浜青葉インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

470 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成年月日

①工事の着手年月日

令和　2 年　1 月　29 日

②工事の完成年月日

令和　2 年　3 月　21 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

517 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　517 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-87

中央自動車道西宮線（甲府中央スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

山梨県甲府市大津町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道29号甲府中央右左口線	山梨県甲府市 大津町	立体接続	甲府中央スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

3，396　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　令和　7 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，855　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-90

第二東海自動車道横浜名古屋線（山北スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道横浜名古屋線

（2） 工事の箇所

神奈川県足柄上郡山北町川西

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道10号河内川谷戸線	神奈川県足柄上郡 山北町川西	立体接続	山北スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

762　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　令和　6 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

873　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-91

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）（厚木PAスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

神奈川県厚木市山際　　から

神奈川県厚木市関口　　まで

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道2-46号線及び 市道B-266号線	神奈川県厚木市山際及び 神奈川県厚木市関口	立体接続	厚木PAスマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，288　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　令和　2 年　9 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，436　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-92

一般国道475号（東海環状自動車道）（海津スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

岐阜県海津市南濃町志津新田

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
（仮称）海津34421号線	岐阜県海津市 南濃町志津新田	立体接続	海津スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

846　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　令和　9 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，050　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-93

第二東海自動車道横浜名古屋線（秦野SAスマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道横浜名古屋線

（2） 工事の箇所

神奈川県秦野市横野　　から
神奈川県秦野市戸川　　まで

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道144号線及び市道146号線	神奈川県秦野市横野及び戸川	立体接続	秦野SAスマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

724　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　27 年　8 月　26 日

②工事の完成予定年月日　令和　4 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

807　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-94

中央自動車道西宮線（座光寺スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

長野県飯田市座光寺地先

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道座光寺280号線 市道座光寺281号線	長野県飯田市座光寺地先	立体接続	座光寺スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，630　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　28 年　6 月　24 日

②工事の完成予定年月日　令和　3 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，796　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-95

第一東海自動車道（足柄スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の箇所

静岡県駿東郡小山町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道2451号線及び2452号線	静岡県駿東郡小山町桑木地内	立体接続	足柄スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1,421　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　28 年　6 月　24 日

②工事の完成予定年月日　平成　31 年　3 月　9 日　（供用開始）

令和　2 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,576　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-96

第一東海自動車道（駒門スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の箇所

静岡県御殿場市駒門　　から
静岡県御殿場市町屋　　まで

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道3697号線及び3698号線	静岡県御殿場市駒門及び町屋	立体接続	駒門スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

962　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　28 年　6 月　24 日

②工事の完成予定年月日　令和　2 年　3 月　28 日　（供用開始）

令和　3 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,059　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-97

北陸自動車道（上市スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北陸自動車道

（2） 工事の箇所

富山県中新川郡上市町江上　から
富山県中新川郡上市町東江上 まで

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
（仮称）上市インター南線 及び（仮称）上市インター北線	富山県中新川郡上市町中江上 及び富山県中新川郡上市町東江上	立体接続	上市スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1,946　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　28 年　6 月　24 日

②工事の完成予定年月日　令和　2 年　12 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2,182　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-98

一般国道138号（東富士五湖道路）（富士吉田南スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道138号（東富士五湖道路）

（2） 工事の箇所

山梨県富士吉田市上吉田

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道農場線	山梨県富士吉田市上吉田	立体接続	富士吉田南スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

3,369　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　28 年　6 月　24 日

②工事の完成予定年月日　令和　3 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3,590　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-99

第一東海自動車道（豊橋PA（下り線））に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2）工事の箇所

愛知県豊橋市

（3） 工事予算

1，985 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成　29　年　5　月　13　日	
②工事の完成予定年月日	平成　31　年　4　月　12　日	（供用開始）
	令和　3　年　3　月　30　日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，155 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，155 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-100

中央自動車道西宮線（神坂スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

岐阜県中津川市神坂地内

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道神坂44号線、 市道神坂45号線	岐阜県中津川市神坂地内	立体接続	（仮称）神坂スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1,268　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　29 年　8 月　31 日

②工事の完成予定年月日　令和　4 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,394　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-101

第二東海自動車道横浜名古屋線（刈谷スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道横浜名古屋線

（2） 工事の箇所

愛知県刈谷市東境町地内

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道01-41号線	愛知県刈谷市東境町地内	立体接続	（仮称）刈谷スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1,302　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　29 年　8 月　31 日

②工事の完成予定年月日　令和　4 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,433　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-102

中央自動車道西宮線（多賀スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

滋賀県犬上郡多賀町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
（仮称）町道多賀スマートインター線、 町道四ツ屋胡宮線	滋賀県犬上郡多賀町	立体接続	多賀スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1,977　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　30 年　8 月　24 日

②工事の完成予定年月日　令和　5 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2,237　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-103

第二東海自動車道横浜名古屋線
（静岡県御殿場市駒門から静岡県駿東郡長泉町大字元長窪まで）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県御殿場市駒門　　から
静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　　まで

（ロ） 延　　長　　13．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
静岡県御殿場市駒門 から 静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 まで	120	13．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル　及び　　3．75 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
静岡県御殿場市駒門　から 静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　まで	6 車線	6 車線	6車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	3．00	3．00	3．00	1．75	4．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	3．00	3．00	3．00	1．25	4．25	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
第一東海自動車道	静岡県御殿場市駒門	立体接続	御殿場ジャンクション
一般国道1号（伊豆縦貫自動車道） 及び県道大岡元長窪線	静岡県駿東郡 長泉町大字元長窪	立体接続	長泉沼津インターチェンジ

（4） 工事予算

14，362 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　30 年　 8 月　24 日
②工事の完成予定年月日　　令和　 3 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

15，303 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　14，538 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-104

第二東海自動車道横浜名古屋線
（静岡県駿東郡長泉町大字元長窪から静岡県浜松市北区引佐町東黒田まで）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　　から
静岡県浜松市北区引佐町東黒田　　まで

（ロ） 延　　長　　131．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 から 静岡県浜松市北区引佐町東黒田 まで	120	131．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル　及び　　3．75 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 から 静岡県浜松市北区引佐町東黒田 まで	6 車線	6 車線	6車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	3．00	3．00	3．00	1．75	4．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	3．00	3．00	3．00	1．75	4．75	
橋梁高架部分（長大橋）	3．00	3．00	3．00	1．25	4．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号（伊豆縦貫自動車道） 及び県道大岡元長窪線	静岡県駿東郡 長泉町大字元長窪	立体接続	長泉沼津インターチェンジ
一般国道139号（西富士道路） 及び県道一色久沢線	静岡県富士市 厚原	立体接続	新富士インターチェンジ
一般国道52号	静岡県静岡市 清水区宍原	立体接続	新清水インターチェンジ
中部横断自動車道	静岡県静岡市 清水区吉原	立体接続	新清水ジャンクション
県道清水富士宮線	静岡県静岡市 清水区杉山	立体接続	清水いはらインターチェンジ
第一東海自動車道	静岡県静岡市 清水区草ヶ谷	立体接続	清水ジャンクション
県道井川湖御幸線 及び県道山脇大谷線	静岡県静岡市 葵区下	立体接続	新静岡インターチェンジ

別　紙　1

一般国道1号 及び県道静岡朝比奈藤枝線	静岡県藤枝市 岡部町入野	立体接続	藤枝岡部インターチェンジ
一般国道473号	静岡県島田市 横岡新田	立体接続	島田金谷インターチェンジ
県道掛川天竜線	静岡県周智郡 森町睦実	立体接続	森掛川インターチェンジ
一般国道152号	静岡県浜松市 浜北区中瀬	立体接続	浜松浜北インターチェンジ
一般国道474号 （三遠南信自動車道）	静岡県浜松市 北区引佐町東黒田	立体接続	浜松いなさジャンクション
一般国道257号	静岡県浜松市 北区引佐町東黒田	立体接続	浜松いなさインターチェンジ
第一東海自動車道	静岡県浜松市 北区三ヶ日町福長	立体接続	三ヶ日ジャンクション

（4） 工事予算

76，040 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　30 年　 8 月　24 日
②工事の完成予定年月日　　令和　 3 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

81，032 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　76，980 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-105

近畿自動車道伊勢線（多気スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　伊勢線

（2） 工事の箇所

三重県多気郡多気町地内

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道　国道インター線	三重県多気郡多気町地内	立体接続	多気スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

280　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　30 年　8 月　24 日

②工事の完成予定年月日　令和　2 年　12 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

349　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　332　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-106

近畿自動車道 名古屋神戸線

（三重県亀山市安坂山町から滋賀県甲賀市甲賀町岩室まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県亀山市安坂山町　から
滋賀県甲賀市甲賀町岩室　まで

（ロ） 延　　長　　14．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
三重県亀山市安坂山町　から 滋賀県甲賀市甲賀町岩室　まで	120	14．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル　及び　3．75 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
三重県亀山市安坂山町　から 滋賀県甲賀市甲賀町岩室　まで	6 車線	6 車線	6車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	3．00×2	6．00	3．00	1．75	4．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	3．00×2	6．00	3．00	1．25	4．25	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　4．50 メートル（土工部）
4．50 メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	－

（4） 工事予算

51，503　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　令和　元 年　5 月　1 日
②工事の完成予定年月日　令和　9 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

59，376 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　56，407 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-107

中央自動車道西宮線（諏訪湖スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

長野県諏訪市豊田　　から
長野県岡谷市湊　　まで

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
（仮称）諏訪市道33225号線及び（仮称）岡谷市道湊133号線	長野県諏訪市豊田及び 長野県岡谷市湊	立体接続	諏訪湖スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，916　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　令和　元 年　11 月　1 日

②工事の完成予定年月日　令和　6 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，208　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-108

第一東海自動車道（岡崎阿知和スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の箇所

愛知県岡崎市西阿知和町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道岡崎阿知和スマートインター線	愛知県岡崎市西阿知和町	立体接続	岡崎阿知和スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

2，064　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　令和　元 年　11 月　1 日

②工事の完成予定年月日　令和　7 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，428　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-109

第一東海自動車道（東郷スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の箇所

愛知県日進市米野木町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道スマートインター1号線及び市道スマートインター2号線	愛知県日進市米野木町	立体接続	東郷スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，433　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　令和　元 年　11 月　1 日

②工事の完成予定年月日　令和　7 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，640　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-C-110

東海北陸自動車道（城端SAスマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の箇所

富山県南砺市立野原東

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道桜ヶ池クアガーデン線	富山県南砺市立野原東	立体接続	城端SAスマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

745　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　令和　元 年　11 月　1 日

②工事の完成予定年月日　令和　6 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

882　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-W-2

近畿自動車道名古屋神戸線

（滋賀県大津市上田上牧町から京都府城陽市寺田金尾まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　滋賀県大津市上田上牧町　から
京都府城陽市寺田金尾　まで

（ロ） 延　　長　　25．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
滋賀県大津市 上田上牧町　から 京都府城陽市 寺田金尾　まで	120	25．1	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　（3．50 メートル）　　（暫定4車線）
3．50 メートル 、 3．75 メートル　　6車線

（ホ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
滋賀県大津市 上田上牧町	から	（4 車線）	（6 車線）	（暫定4車線）
京都府城陽市 寺田金尾	まで	6 車線	6 車線	6車線

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道307号	京都府綴喜郡 宇治田原町大字郷之口	立体接続	宇治田原インターチェンジ（仮称）
一般国道24号 （京奈道路）	京都府城陽市 寺田金尾	立体接続	城陽ジャンクション・インターチェンジ
一般国道24号	京都府城陽市 寺田金尾	立体接続	城陽ジャンクション・インターチェンジ

（4） 工事予算

588，674 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	5 年	12 月	4 日	
②工事の完成予定年月日	令和	6 年	3 月	31 日	（暫定4車線供用）
	令和	13 年	3 月	31 日	（6車線化完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

714，299 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　680，570 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-3

近畿自動車道名古屋神戸線

（京都府城陽市寺田金尾から京都府八幡市美濃山荒坂まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　京都府城陽市寺田金尾　から
京都府八幡市美濃山荒坂　まで

（ロ） 延　　長　　3．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
京都府城陽市 寺田金尾　から 京都府八幡市 美濃山荒坂　まで	120	3．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
京都府城陽市 寺田金尾　から 京都府八幡市 美濃山荒坂　まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道24号 （京奈道路）	京都府城陽市 寺田金尾	立体接続	城陽ジャンクション・インターチェンジ
一般国道24号	京都府城陽市 寺田金尾	立体接続	城陽ジャンクション・インターチェンジ
一般国道1号 （第二京阪道路）	京都府八幡市 美濃山荒坂	立体接続	八幡京田辺ジャンクション・インターチェンジ
府道八幡京田辺インター線	京都府八幡市 美濃山古寺	立体接続	八幡京田辺ジャンクション・インターチェンジ

（4） 工事予算

109，244 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　平成　29 年　 4 月　30 日（供用開始）
　　令和　 3 年　 3 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

104，174 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　104，174 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-4

近畿自動車道名古屋神戸線

（京都府八幡市美濃山荒坂から大阪府高槻市原まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　京都府八幡市美濃山荒坂　から
大阪府高槻市原　まで

（ロ） 延　長　10．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
京都府八幡市美濃山荒坂	から	120	10．7	
大阪府高槻市原	まで			

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間		工事施工	用地買収	摘　要
京都府八幡市 美濃山荒坂	から	（4 車線）	（6 車線）	（暫定4車線）
大阪府高槻市 原	まで	6 車線	6 車線	6車線

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分 （中小橋）	—	—	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	（1．75×2） 2．50×2	（3．50） 5．00	（1．75） 2．50	（1．25） 1．25	（3．00） 3．75	(暫定4車線) 6車線

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号 （第二京阪道路）	京都府八幡市 美濃山荒坂	立体接続	八幡京田辺ジャンクション・インターチェンジ
府道八幡京田辺インター線	京都府八幡市 美濃山古寺	立体接続	八幡京田辺ジャンクション・インターチェンジ

（4） 工事予算

568，566 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　1 月　8 日
②工事の完成予定年月日　令和　6 年　3 月　31 日　（暫定4車線供用）
令和　13 年　3 月　31 日　（6車線化完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

661，549 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　633，887 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-5

近畿自動車道名古屋神戸線

（大阪府高槻市原から大阪府箕面市下止々呂美まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府高槻市原　から
大阪府箕面市下止々呂美　まで

（ロ） 延　　長　　18．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
大阪府高槻市原　から 大阪府箕面市下止々呂美　まで	120	18．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
大阪府高槻市原　から 大阪府箕面市下止々呂美　まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中央自動車道 西宮線	大阪府高槻市 宮が谷	立体接続	高槻ジャンクション・インターチェンジ
府道伏見柳谷高槻線	大阪府高槻市 成合	立体接続	高槻ジャンクション・インターチェンジ
府道茨木摂津線	大阪府茨木市 千提寺	立体接続	茨木千提寺インターチェンジ
一般国道423号	大阪府箕面市 下止々呂美	立体接続	箕面とどろみインターチェンジ
一般国道423号 バイパス	大阪府箕面市 下止々呂美	立体接続	箕面とどろみインターチェンジ

（4） 工事予算

383，404 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	12 年	1 月	12 日	
②工事の完成予定年月日	平成	29 年	12 月	10 日	（供用開始）
	令和	4 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

407，116 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　407，116 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-6

近畿自動車道名古屋神戸線
（大阪府箕面市下止々呂美から兵庫県神戸市北区八多町まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府箕面市下止々呂美　　から
兵庫県神戸市北区八多町　　まで

（ロ） 延　　長　　22．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
大阪府箕面市 下止々呂美　から 兵庫県神戸市 北区八多町　まで	120	22．6	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
大阪府箕面市 下止々呂美　から 兵庫県神戸市 北区八多町　まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分 （中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道川西インター線	兵庫県川西市 西畦野	立体接続	川西インターチェンジ
中国縦貫自動車道	兵庫県神戸市 北区八多町	立体接続	神戸ジャンクション
山陽自動車道 吹田山口線	兵庫県神戸市 北区八多町	平面接続	神戸ジャンクション

（4） 工事予算

384，946 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	11 年	1 月	8 日	
②工事の完成予定年月日	平成	29 年	12 月	10 日	（箕面とどろみIC～川西IC　供用開始）
	平成	30 年	3 月	18 日	（川西IC～神戸JCT　供用開始）
	令和	4 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

413，130 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　413，130 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-9

中国横断自動車道姫路鳥取線
（兵庫県たつの市新宮町角亀から兵庫県宍粟市山崎町市場まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国横断自動車道　姫路鳥取線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　兵庫県たつの市新宮町角亀　　から
兵庫県宍粟市山崎町市場　　まで

（ロ） 延　　長　　11．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
兵庫県たつの市 新宮町角亀　から 兵庫県宍粟市 山崎町市場　まで	80	11．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
兵庫県たつの市 新宮町角亀　から 兵庫県宍粟市 山崎町市場　まで	2 車線	4 車線	

用地買収については、現地条件等を勘案した上で、当面、暫定二車線施工に必要となる用地を取得するものとする。

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道播磨新宮インター線	兵庫県たつの市 新宮町光都三丁目	立体接続	播磨新宮インターチェンジ
中国縦貫自動車道	兵庫県宍粟市 山崎町市場	立体接続	山崎ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

72，258 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　令和　4 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

80，639 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　77，689 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-12

四国横断自動車道阿南四万十線
（徳島県徳島市北沖洲から徳島県徳島市川内町富久まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　徳島県徳島市北沖洲　　から
徳島県徳島市川内町富久　　まで

（ロ） 延　　長　　4．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
徳島県徳島市 北沖洲　から 徳島県徳島市 川内町富久　まで	100	4．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
徳島県徳島市 北沖洲　から 徳島県徳島市 川内町富久　まで	2 車線	4 車線	

用地買収については、現地条件等を勘案した上で、当面、暫定二車線施工に必要となる用地を取得するものとする。

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	―	―	―	
トンネル部分	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分 （中小橋）	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	―	―	―	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
四国横断自動車道 阿南四万十線	徳島県徳島市 北沖洲	平面接続	本線（新直轄）
県道徳島東インター線	徳島県徳島市 北沖洲	立体接続	徳島東インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

106，865 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　1 月　8 日
②工事の完成予定年月日　令和　4 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

120，842 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　117，673 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-13

四国横断自動車道阿南四万十線
（徳島県徳島市川内町鈴江東から徳島県鳴門市大津町大代まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　徳島県徳島市川内町鈴江東　から
徳島県鳴門市大津町大代　まで

（ロ） 延　　長　　10．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
徳島県徳島市 川内町鈴江東　から 徳島県鳴門市 大津町大代　まで	100	10．9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
徳島県徳島市 川内町鈴江東　から 徳島県鳴門市 大津町大代　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
四国縦貫自動車道	徳島県徳島市 川内町鈴江東	平面接続	本線
一般国道11号	徳島県徳島市 川内町沖島	立体接続	徳島インターチェンジ

（4） 工事予算

93，127 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　1 月　8 日
②工事の完成予定年月日　平成　27 年　3 月　14 日（供用開始）
　　令和　3 年　3 月　30 日（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

105，198 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　105，198 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-16

東九州自動車道

（福岡県築上郡築上町大字上ノ河内から大分県宇佐市大字山本まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福岡県築上郡築上町大字上ノ河内　　から
大分県宇佐市大字山本　　まで

（ロ） 延　　長　　28．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福岡県築上郡 築上町大字上ノ河内　から 大分県宇佐市 大字山本　まで	100	28．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
福岡県築上郡 築上町大字上ノ河内　から 大分県宇佐市 大字山本　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道10号 （椎田道路）	福岡県築上郡 築上町大字上ノ河内	立体接続	椎田南インターチェンジ
一般国道10号 （椎田道路）	福岡県築上郡 築上町大字上ノ河内	平面接続	本線
県道犀川豊前線	福岡県豊前市 大字久路土	立体接続	豊前インターチェンジ
一般国道212号	大分県中津市 三光西秣	立体接続	中津インターチェンジ
一般国道10号 （宇佐別府道路）	大分県宇佐市 大字山本	立体接続	宇佐インターチェンジ
一般国道10号 （宇佐別府道路）	大分県宇佐市 大字山本	平面接続	本線

別　紙　1

（4） 工事予算

87，498 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	18 年	4 月	19 日	
②工事の完成予定年月日	平成	27 年	3 月	1 日	（豊前～宇佐間供用開始）
	平成	28 年	4 月	24 日	（椎田南～豊前間供用開始）
	令和	3 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

99，931 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　99，931 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-24

中央自動車道西宮線（瀬田東JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

滋賀県大津市大江八丁目

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号 （京滋バイパス）	滋賀県大津市 大江八丁目	立体接続	瀬田東ジャンクション
県道大津能登川長浜線	滋賀県大津市 大江八丁目	立体接続	瀬田東インターチェンジ

（4） 工事予算

10，308 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　62 年　 3 月　24 日
②工事の完成予定年月日　　令和　 8 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

11，620 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　11，074 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-25

中央自動車道西宮線（京都南JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

京都府京都市伏見区竹田真幡木町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号（油小路線）	京都府京都市 伏見区竹田真幡木町	立体接続	京都南ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，153 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　令和　2 年　9 月　1 日
②工事の完成予定年月日　　令和　11 年　3 月　31 日

※本事業については、都市計画決定の上、事業の着手を行うものとする。

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，523 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，467 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-27

近畿自動車道天理吹田線（郡山下ッ道JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　天理吹田線

（2） 工事の箇所

奈良県大和郡山市八条町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道24号 （京奈和自動車道）	奈良県大和郡山市 八条町	立体接続	郡山下ッ道ジャンクション

（4） 工事予算

24，144 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	12 年	1 月	18 日	
②工事の完成予定年月日	平成	27 年	3 月	22 日	（供用開始）
	令和	3 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

26，391 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　26，391 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-31

近畿自動車道天理吹田線

（大阪府摂津市三島一丁目から大阪府摂津市鶴野二丁目まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道 天理吹田線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　大阪府摂津市三島一丁目　から
大阪府摂津市鶴野二丁目　まで

（ロ） 延　長　1．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
大阪府摂津市 三島一丁目 から 大阪府摂津市 鶴野二丁目 まで	80	1．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
大阪府摂津市 三島一丁目　から 大阪府摂津市 鶴野二丁目　まで	4 車線	4 車線	付加車線事業

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	—	—	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	0．75×2	1．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．00　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
1．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
ー	ー	ー	

（4） 工事予算

3，290 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日
②工事の完成予定年月日　令和　5 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，698 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，641 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-34

近畿自動車道松原那智勝浦線（和歌山JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の箇所

和歌山県和歌山市上黒谷

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道24号 （紀北西道路）	和歌山県和歌山市 上黒谷	立体接続	和歌山ジャンクション

（4） 工事予算

12，241 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	18 年	4 月	19 日	
②工事の完成予定年月日	平成	29 年	3 月	18 日	（供用開始）
	令和	3 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

13，671 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　13，671 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-35

近畿自動車道松原那智勝浦線

（和歌山県海南市藤白から和歌山県有田郡有田川町天満まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　和歌山県海南市藤白　　から
和歌山県有田郡有田川町天満　　まで

（ロ） 延　　長　　9．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
和歌山県海南市 藤白　から 和歌山県有田郡 有田川町天満　まで	80	9．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
和歌山県海南市藤白　から 和歌山県有田郡有田川町天満　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	—	—	2．50	1．00	3．50	
トンネル部分	—	—	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	2．50	1．00	3．50	
橋梁高架部分（長大橋）	—	—	1．75	1．00	2．75	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道42号	和歌山県海南市 藤白	立体接続	海南インターチェンジ
県道興加茂郷停車場線	和歌山県海南市 下津町橘本	立体接続	下津インターチェンジ
一般国道42号及び 県道吉備金屋線	和歌山県有田郡 有田川町天満	立体接続	有田インターチェンジ
一般国道42号 （湯浅御坊道路）	和歌山県有田郡 有田川町天満	平面接続	本線

（4） 工事予算

47，857 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	11 年	1 月	8 日	
②工事の完成予定年月日	平成	22 年	7 月	7 日	（供用開始）
	令和	2 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

49，024 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　49，024 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-40

近畿自動車道敦賀線

（京都府福知山市長田野町三丁目から京都府綾部市有岡町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　京都府福知山市長田野町三丁目　　から
京都府綾部市有岡町　　まで

（ロ） 延　　長　　10．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
京都府福知山市 長田野町三丁目　から 京都府綾部市 有岡町　まで	80	10．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
京都府福知山市 長田野町三丁目　から 京都府綾部市 有岡町　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	―	―	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
ー	ー	ー	

（4） 工事予算

25，179 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　昭和　54 年　3 月　18 日
②工事の完成予定年月日　令和　3 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

27，575 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　26，432 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-41

近畿自動車道敦賀線

（京都府綾部市上杉町から京都府舞鶴市字堀まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　京都府綾部市上杉町　から
京都府舞鶴市字堀　まで

（ロ） 延　　長　　4．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
京都府綾部市 上杉町　から 京都府舞鶴市 字堀　まで	80	4．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
京都府綾部市 上杉町　から 京都府舞鶴市 字堀　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	―	―	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

12，019 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　昭和　54 年　3 月　18 日
②工事の完成予定年月日　平成　30 年　6 月　23 日（外々運用）
平成　30 年　11 月　3 日（供用開始）
令和　2 年　3 月　30 日（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

9，368 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　9，368 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-47

山陽自動車道吹田山口線（瀬戸JCT）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道　吹田山口線

（2） 工事の箇所

岡山県岡山市東区瀬戸町塩納

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
主要地方道佐伯長船線	岡山県岡山市 東区瀬戸町塩納	立体接続	瀬戸ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

1，048 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　令和　 5 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，311 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，258 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-62

四国横断自動車道阿南四万十線（高知IC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の箇所

高知県高知市一宮

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道55号	高知県高知市 一宮	立体接続	高知インターチェンジ

（4） 工事予算

752 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　6 年　1 月　26 日
②工事の完成予定年月日　　令和　3 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，083 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，048 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-69

九州横断自動車道長崎大分線（多久IC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道　長崎大分線

（2） 工事の箇所

佐賀県多久市北多久町大字多久原

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道203号	佐賀県多久市 北多久町大字多久原	立体接続	多久インターチェンジ

（4） 工事予算

610 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　48 年　 9 月　29 日
②工事の完成予定年月日　　令和　 8 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

935 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　903 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-70

九州横断自動車道長崎大分線（大分米良IC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道　長崎大分線

（2） 工事の箇所

大分県大分市大字片島

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道10号	大分県大分市 大字片島	立体接続	大分米良インターチェンジ

（4） 工事予算

791 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　2 年　5 月　15 日
②工事の完成予定年月日　　令和　8 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，277 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，235 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-74

東九州自動車道（佐伯弥生PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の箇所

大分県佐伯市弥生大字床木

（3） 工事予算

1，471 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	10 年	1 月	20 日	
②工事の完成予定年月日	令和	元 年	9 月	23 日	（上り線供用開始）
	令和	4 年	3 月	31 日	

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，790 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，726 百万円）（消費税込み）

西日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る

高速道路利便増進事業に関する計画（スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

（1） 工事予算

30，267 百万円（消費税込み）

（2） 工事に要する費用に係る債務引受限度額

36，038 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円（消費税込み））

（3） 個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額は、下記のとおりとする。
ただし、工事予算及び債務引受限度額については、（1）工事予算及び（2）債務引受限度額の内数である。
また、工事完成後は精算額としている。

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受 限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
中央自動車道 西宮線	滋賀県東近江市木村町	県道土山蒲生近江八幡線	滋賀県東近江市木村町	立体接続	平成21年9月18日	平成25年12月22日 （供用開始） 平成26年　9月29日 （残事業完成）	1,848百万円	2,123百万円	―	本線 直結型
近畿自動車道 天理吹田線	奈良県大和郡山市西町	県道天理斑鳩線及び県道大和郡山広陵線	奈良県大和郡山市椎木町及び奈良県生駒郡安堵町大字岡崎及び奈良県大和郡山市池沢町	立体接続	平成21年9月18日	平成26年　3月23日 （供用開始） 平成27年　3月　6日 （残事業完成）	2,516百万円	2,764百万円	―	本線 直結型
中国縦貫自動車道	兵庫県姫路市夢前町	市道置塩134号線	兵庫県姫路市夢前町	立体接続	平成21年9月18日	平成27年　9月26日 （供用開始） 平成28年　9月29日 （残事業完成）	2,604百万円	3,081百万円	―	本線 直結型
中国横断自動車道 岡山米子線	鳥取県西伯郡伯耆町大字岸本	町道岸本福原線	鳥取県西伯郡伯耆町大字久古及び鳥取県西伯郡伯耆町大字岸本	立体接続	平成21年9月18日	平成23年　6月30日 （供用開始） 平成23年12月27日 （残事業完成）	233百万円	288百万円	―	大山 PA
九州縦貫自動車道 鹿児島線	福岡県宮若市下有木	主要地方道室木下有木若宮線及び市道壱町田・大谷線	福岡県宮若市下有木	立体接続	平成21年9月18日	平成23年　3月26日 （供用開始） 平成23年　6月29日 （残事業完成）	941百万円	1,044百万円	―	本線 直結型
九州縦貫自動車道 鹿児島線	熊本県八代郡氷川町高塚	町道吉本本山線	熊本県八代郡氷川町高塚	立体接続	平成21年9月18日	平成26年　3月29日 （供用開始） 平成27年　3月30日 （残事業完成）	1,720百万円	2,026百万円	―	本線 直結型
九州縦貫自動車道 鹿児島線	熊本県熊本市北区改寄町	市道鶴羽田改寄町第1号線及び市道植木町広住線	熊本県熊本市北区植木町石川及び熊本県熊本市北区改寄町	立体接続	平成23年4月23日	平成31年　3月24日 （供用開始） 令和2年　3月30日 （残事業完成）	2,459百万円	3,219百万円	―	本線 直結型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受 限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
近畿自動車道 名古屋神戸線	兵庫県宝塚 市玉瀬	市道宝塚北 インター線	兵庫県宝塚 市玉瀬	立体接続	平成24年5月17日	平成30年　3月18日 （供用開始） 令和2年　9月30日 （残事業完成）	452百万円	461百万円	―	宝塚北 SA
四国横断自動車道 阿南四万十線	徳島県板野 郡松茂町長 岸	町道松茂24 号線	徳島県板野 郡松茂町長 岸	立体接続	平成24年5月17日	平成27年　3月14日 （供用開始） 平成28年　3月30日 （残事業完成）	352百万円	412百万円	―	松茂 PA
九州縦貫自動車道 鹿児島線	熊本県熊本 市南区城南 町塚原	市道塚原第3 号線（仮称） 及び市道塚 原第4号線 （仮称）	熊本県熊本 市南区城南 町塚原	立体接続	平成24年5月17日	平成29年　7月　9日 （供用開始） 平成30年　6月30日 （残事業完成）	1,450百万円	1,810百万円	―	本線 直結型
九州横断自動車道 長崎大分線	長崎県大村 市木場一丁 目	市道上久原 芋堀手線	長崎県大村 市木場一丁 目	立体接続	平成24年5月17日	平成30年　3月18日 （供用開始） 平成31年　3月30日 （残事業完成）	2,120百万円	2,419百万円	―	大分方面： 本線直結型 長崎方面： 木場PA
九州横断自動車道 長崎大分線	佐賀県小城 市小城町松 尾	市道高速道 路接続線	佐賀県小城 市小城町松 尾	立体接続	平成24年5月17日	平成30年　3月31日 （供用開始） 平成31年　3月30日 （残事業完成）	1,091百万円	1,562百万円	―	小城 PA
東九州自動車道	福岡県行橋 市大字流末	市道東九州自 動車道側道4号 線（仮称）及び 市道東九州自 動車道側道3号 線（仮称）	福岡県行橋 市大字宝山 及び福岡県 行橋市大字 流末	立体接続	平成24年5月17日	平成26年12月13日 （供用開始） 平成27年12月12日 （残事業完成）	217百万円	243百万円	―	今川 PA
東九州自動車道	福岡県築上 郡上毛町大 字下唐原	町道音・穴ケ 葉山線	福岡県築上 郡上毛町大 字下唐原	立体接続	平成24年5月17日	平成27年　3月　1日 （供用開始） 平成28年　3月30日 （残事業完成）	350百万円	370百万円	―	上毛 PA

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受 限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
近畿自動車道 松原那智勝浦線	和歌山県和歌山市森小手穂	県道和歌山橋本線	和歌山県和歌山市森小手穂	立体接続	平成25年7月12日	平成31年　3月10日 （供用開始） 令和3年　3月30日 （残事業完成）	4,695百万円	5,376百万円	―	本線 直結型
山陽自動車道 吹田山口線	広島県福山市津之郷町大字津之郷	市道津之郷瀬戸幹線	広島県福山市津之郷町大字津之郷	立体接続	平成25年7月12日	平成30年　3月31日 （供用開始） 平成31年　3月30日 （残事業完成）	771百万円	1,044百万円	―	福山 SA
九州縦貫自動車道 鹿児島線	鹿児島県姶良市西餅田	市道サービスエリア線及び市道鍋倉～触田線	鹿児島県姶良市西餅田	立体接続	平成25年7月12日	平成31年　3月30日 （一部供用開始） 令和2年　3月20日 （一部供用開始） 令和3年　3月31日	1,069百万円	1,438百万円	―	桜島 SA
九州縦貫自動車道 宮崎線	宮崎県都城市山之口町花木	市道山之口SA南通線及び市道山之口SA北通線	宮崎県都城市山之口町山之口及び花木	立体接続	平成25年7月12日	平成28年　9月24日 （供用開始） 平成29年　9月30日 （残事業完成）	685百万円	870百万円	―	山之口 SA
九州横断自動車道 長崎大分線	大分県由布市湯布院町塚原	市道高速側道11号線及び市道高速側道12号線	大分県由布市湯布院町塚原	立体接続	平成25年7月12日	平成28年11月27日 （供用開始） 平成29年　9月30日 （残事業完成）	911百万円	1,082百万円	―	由布岳 PA
東九州自動車道	宮崎県東臼杵郡門川町大字加草	町道門川南インター線	宮崎県東臼杵郡門川町大字加草	立体接続	平成25年7月12日	平成29年　3月25日 （供用開始） 平成29年12月30日 （残事業完成）	1,168百万円	1,399百万円	―	本線 直結型
東九州自動車道	宮崎県東諸県郡国富町大字岩知野	県道宮崎須木線	宮崎県東諸県郡国富町大字岩知野及び塚原	立体接続	平成25年7月12日	令和元年10月　6日 （供用開始） 令和2年　9月30日 （残事業完成）	2,615百万円	3,007百万円	―	本線 直結型

別紙1-W-99

近畿自動車道松原那智勝浦線

（和歌山県御坊市野口から和歌山県田辺市稲成町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　和歌山県御坊市野口　から
和歌山県田辺市稲成町　まで
（なお、事業着手する区間については和歌山県御坊市野口から和歌山県日高郡みなべ町徳蔵までとする。）

（ロ） 延　　長　　26．9 キロメートル　（16．0キロメートル）
※（　）内は、和歌山県御坊市野口から和歌山県日高郡みなべ町徳蔵までを表す

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設　計　区　間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
和歌山県御坊市 野口　から 和歌山県田辺市 稲成町　まで	80	26．9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
和歌山県御坊市 野口　から 和歌山県田辺市 稲成町　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．00	3．50	
トンネル部分	―	―	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．00	3．50	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

76，389 百万円（消費税込み）

（うち、和歌山県御坊市野口から和歌山県日高郡みなべ町徳蔵までの工事予算　72，251 百万円（消費税込み））

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　和歌山県御坊市野口からから和歌山県日高郡印南町山口
平成　28　年　7　月　1　日

ロ　和歌山県日高郡印南町山口から和歌山県日高郡みなべ町徳蔵
令和　2　年　5　月　1　日

②工事の完成予定年月日

イ　和歌山県御坊市野口からから和歌山県日高郡印南町山口
令和　3　年　12　月　31　日

ロ　和歌山県日高郡印南町山口から和歌山県日高郡みなべ町徳蔵
令和　12　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

88，892 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　84，920 百万円）（消費税込み）

（なお、上記については和歌山県御坊市野口から和歌山県日高郡みなべ町徳蔵までの債務引受限度額および助成対象基準額を表す。）

別紙1-W-100

四国横断自動車道阿南四万十線

（徳島県鳴門市撫養町木津から香川県高松市前田東町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　徳島県鳴門市撫養町木津　　から
香川県高松市前田東町　　まで

（ロ） 延　　長　　51．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分

設 計 区 間		道路の区分	摘　要
徳島県鳴門市 撫養町木津	から	第1種第2級	道路構造令
香川県さぬき市 津田町鶴羽	まで		
香川県さぬき市 津田町鶴羽	から	第1種第3級	道路構造令
香川県高松市 前田東町	まで		

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設　計　区　間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
徳島県鳴門市 撫養町木津 香川県さぬき市 津田町鶴羽	から まで	100	36．2	
香川県さぬき市 津田町鶴羽 香川県高松市 前田東町	から まで	80	15．6	

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間		工事施工	用地買収	摘　要
徳島県鳴門市 撫養町木津 香川県高松市 前田東町	から まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

設計区間	構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
		左　側	計	左　側	右　側	計	
徳島県鳴門市 撫養町木津 から 香川県さぬき市 津田町鶴羽 まで	土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
	トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
	橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	2．50	1．25	3．75	
	橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	1．75	1．25	3．00	
香川県さぬき市 津田町鶴羽 から 香川県高松市 前田東町 まで	土工（掘割）部分	2，50×2	5，00	2．50	1．00	3．50	
	トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
	橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	2．50	1．00	3．50	
	橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	1．75	1．00	2．75	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

別　紙　1

（チ） 中央帯の標準幅員

設 計 区 間		幅　員	摘　要
徳島県鳴門市 撫養町木津	から	4．50メートル（土工部）	
香川県さぬき市 津田町鶴羽	まで	4．50メートル（橋梁部）	
香川県さぬき市 津田町鶴羽	から	3．00メートル（土工部）	
香川県高松市 前田東町	まで	3．00メートル（橋梁部）	

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

75，972 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	24 年	5 月	17 日	
②工事の完成予定年月日	平成	29 年	11 月	21 日	（一部外々運用）
	平成	30 年	6 月	16 日	（一部外々運用）
	平成	30 年	9 月	13 日	（一部外々運用）
	平成	31 年	3 月	8 日	（供用開始）
	令和	3 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

83，427 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　83，427 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-101

九州横断自動車道長崎大分線

（長崎県長崎市早坂町から長崎県長崎市中里町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道　長崎大分線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　長崎県長崎市早坂町　から
長崎県長崎市中里町　まで

（ロ） 延　　長　　11．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
長崎県長崎市 早坂町　から 長崎県長崎市 中里町　まで	80	11．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
長崎県長崎市 早坂町　から 長崎県長崎市 中里町　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．00	3．50	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	2．50	1．00	3．50	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	1．75	1．00	2．75	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

44，893 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　24 年　5 月　17 日
②工事の完成予定年月日　平成　31 年　3 月　29 日（長崎芒塚～長崎多良見間：一部完成）
令和　元 年　6 月　28 日（長崎芒塚～長崎多良見間：4車線運用開始）
令和　4 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

48，320 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　47，733 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-104

一般国道42号（湯浅御坊道路）

（和歌山県御坊市野口から和歌山県有田郡有田川町天満まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道42号　　（有料道路名 ： 湯浅御坊道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　和歌山県御坊市野口　　から
和歌山県有田郡有田川町天満　　まで

（ロ） 延　　長　　19．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
和歌山県御坊市 野口	から	80	19．4	
和歌山県有田郡 有田川町天満	まで			

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
和歌山県御坊市 野口　から 和歌山県有田郡 有田川町天満　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	－

（4） 工事予算

89，124 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成 25 年 7 月 12 日
②工事の完成予定年月日　令和 3 年 12 月 31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

94，789 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　90，396 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-105

山陰自動車道鳥取益田線（出雲IC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陰自動車道　鳥取益田線

（2） 工事の箇所

島根県出雲市知井宮町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道出雲インター線	島根県出雲市 知井宮町	立体接続	出雲インターチェンジ
一般国道9号 （出雲・湖陵道路）	島根県出雲市 知井宮町	平面接続	本線

（4） 工事予算

1,017 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　令和　 7 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,316 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1,262 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-106

沖縄自動車道（幸地IC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

沖縄自動車道

（2） 工事の箇所

沖縄県中頭郡西原町字幸地

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道　幸地インター線	沖縄県 中頭郡西原町字幸地	立体接続	幸地インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1,412 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　令和　 7 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,675 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1,604 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-107

近畿自動車道名古屋神戸線（新名神大津スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の箇所

滋賀県大津市大石龍門

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道　宇治田原大石東線	滋賀県大津市大石龍門	立体接続	新名神大津スマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

434 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　令和　 6 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

494 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－ 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-108

中国縦貫自動車道（湯田温泉スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

山口県山口市吉田

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道湯田パーキング線	山口県山口市吉田	立体接続	湯田温泉スマートインターチェンジ

（4） 工事予算

2，635 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	26 年	9 月	9 日	
②工事の完成予定年月日	令和	2 年	3 月	21 日	（供用開始）
	令和	3 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，891 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－　百万円）（消費税込み）

別紙1-W-110

四国縦貫自動車道（中山スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

愛媛県伊予市双海町上灘

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道日尾野引坂線	愛媛県伊予市双海町上灘	立体接続	中山スマートインターチェンジ

（4） 工事予算

1,413 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　令和　 2 年　 3 月　21 日（供用開始）
　　令和　 3 年　 3 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，551 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－ 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-111

九州縦貫自動車道鹿児島線（人吉球磨スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州縦貫自動車道鹿児島線

（2） 工事の箇所

熊本県人吉市七地町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道スマートインターチェンジ第1号線及び 市道スマートインターチェンジ第2号線	熊本県人吉市浪床町	立体接続	人吉球磨スマートインターチェンジ

（4） 工事予算

3，144 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	26 年	9 月	9 日	
②工事の完成予定年月日	令和	元 年	8 月	10 日	（供用開始）
	令和	2 年	9 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，449 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

別紙1-W-114

一般国道1号（淀川左岸線延伸部）

（大阪府門真市三ツ島一丁目から大阪府大阪市鶴見区緑地公園まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道1号　　（有料道路名 ： 淀川左岸線延伸部）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府門真市三ツ島一丁目　　から
大阪府大阪市鶴見区緑地公園　　まで

（ロ） 延　　長　　1．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分

設 計 区 間		道路の区分	摘　要
大阪府門真市 三ツ島一丁目	から	第1種第3級	
大阪府門真市 大字藠島	まで		
大阪府門真市 大字藠島	から	第2種第2級	
大阪府大阪市 鶴見区緑地公園	まで		

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
大阪府門真市 三ツ島一丁目 大阪府門真市 大字蕊島	から まで	80	0．8	
大阪府門真市 大字蕊島 大阪府大阪市 鶴見区緑地公園	から まで	60	1．1	

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員

設 計 区 間		車線の幅員	摘　要
大阪府門真市 三ツ島一丁目 大阪府門真市 大字蕊島	から まで	3．50メートル	
大阪府門真市 大字蕊島 大阪府大阪市 鶴見区緑地公園	から まで	3．25メートル	

別　紙　1

（ホ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
大阪府門真市 三ツ島一丁目	から	4 車線	4 車線	
大阪府門真市 大字藠島	まで			
大阪府門真市 大字藠島	から	4 車線	4 車線	
大阪府大阪市 鶴見区緑地公園	まで			

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

設 計 区 間	構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
		左 側	計	左 側	右 側	計	
大阪府門真市三ツ島一丁目 から 大阪府門真市大字蕊島 まで	土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
	トンネル部分	－	－	－	－	－	
	橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
	橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
大阪府門真市大字蕊島 から 大阪府大阪市鶴見区緑地公園 まで	土工（掘割）部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
	トンネル部分	－	－	－	－	－	
	橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
	橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

別　紙　1

（チ） 中央帯の標準幅員

設 計 区 間		中央帯の標準幅員	摘 要
大阪府門真市 三ツ島一丁目	から	－　メートル　（土工部）	
大阪府門真市 大字蕊島	まで	2．25　メートル　（橋梁部）	
大阪府門真市 大字蕊島	から	1．75　メートル　（土工部）	
大阪府大阪市 鶴見区緑地公園	まで	1．75　メートル　（橋梁部）	

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号 （第二京阪道路）	大阪府門真市 三ツ島一丁目	平面接続	本線
近畿自動車道 天理吹田線	大阪府門真市大字蕊島 大阪府大阪市鶴見区茨田大宮二丁目	立体接続	門真ジャンクション
主要地方道　八尾茨木線	大阪府門真市大字蕊島	立体接続	門真西インターチェンジ（仮称）
一般国道1号 （淀川左岸線延伸部）	大阪府大阪市 鶴見区緑地公園	平面接続	本線（直轄・阪神高速）

別　紙　1

（4） 工事予算

61，075 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　29　年　6　月　7　日
②工事の完成予定年月日　　令和　14　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

83，009 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　79，247 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-115

一般国道1号（油小路線）（京都南JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道1号
（有料道路名：油小路線）

（2） 工事の箇所

京都府京都市伏見区竹田真幡木町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中央自動車道　西宮線	京都府京都市 伏見区竹田真幡木町	立体接続	京都南ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

30，829 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　令和　　2 年　　9 月　　1 日
②工事の完成予定年月日　　令和　11 年　　3 月　31 日

※本事業については、都市計画決定の上、事業の着手を行うものとする。

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

39，827 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　38，063 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-119

近畿自動車道名古屋神戸線（城陽スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の箇所

京都府城陽市富野長谷山

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道　城陽スマートインター線(仮称)	京都府城陽市富野長谷山	立体接続	城陽スマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

2，737 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　29 年　 9 月　22 日
②工事の完成予定年月日　　令和　 6 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，186 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－ 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-120

中国横断自動車道尾道松江線（加茂BSスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国横断自動車道　尾道松江線

（2） 工事の箇所

島根県雲南市加茂町三代

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道　加茂インター線（仮称）	島根県雲南市加茂町三代	立体接続	加茂BSスマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

2，103 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　29 年　 9 月　22 日
②工事の完成予定年月日　　令和　 4 年　 6 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，404 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－ 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-121

一般国道2号（第二神明道路）

（兵庫県神戸市西区伊川谷町井吹から兵庫県神戸市西区平野町中津まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道2号　　（有料道路名 ： 第二神明道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　兵庫県神戸市西区伊川谷町井吹　　から
兵庫県神戸市西区平野町中津　　まで

（ロ） 延　　長　　6．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
兵庫県神戸市西区 伊川谷町井吹 兵庫県神戸市西区 平野町中津	から まで	80	6．2	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘　要
兵庫県神戸市西区 伊川谷町井吹 兵庫県神戸市西区 平野町中津	から まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	―	－	
トンネル部分	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	―	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	―	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道2号 （第二神明道路）	兵庫県神戸市西区 伊川谷町井吹	平面接続	永井谷ジャンクション
兵庫県道高速北神戸線 （阪神高速7号北神戸線）	兵庫県神戸市西区 伊川谷町井吹	立体接続	永井谷ジャンクション
一般国道2号	兵庫県神戸市西区 伊川谷町別府	立体接続	永井谷インターチェンジ（仮称）
一般国道2号	兵庫県神戸市西区 櫨谷町菅野	立体接続	櫨谷インターチェンジ（仮称）
一般国道2号	兵庫県神戸市西区 平野町向井	立体接続	平野東インターチェンジ（仮称）
一般国道175号	兵庫県神戸市西区 平野町下村	立体接続	平野西インターチェンジ（仮称）
一般国道2号 （第二神明道路）	兵庫県神戸市西区 平野町中津	立体接続	石ケ谷ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

40，696 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　兵庫県神戸市西区平野町中津（STA176+80）から兵庫県神戸市西区平野町中津（STA181+05）
平成　30　年　5　月　1　日

ロ　兵庫県神戸市西区平野町下村（STA163+80）から兵庫県神戸市西区平野町中津（STA176+80）
平成　30　年　9　月　1　日

ハ　兵庫県神戸市西区櫨谷町菅野（STA148+40）から兵庫県神戸市西区平野町下村（STA163+80）
平成　30　年　5　月　1　日

ニ　兵庫県神戸市西区櫨谷町菅野（STA134+80）から兵庫県神戸市西区櫨谷町菅野（STA148+40）
平成　30　年　9　月　1　日

ホ　兵庫県神戸市西区伊川谷伊吹（STA119+04）から兵庫県神戸市西区櫨谷町菅野（134+80）
平成　30　年　5　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　令和　7　年　3　月 31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

47，153 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　45，059 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-122

一般国道10号（延岡南道路）

（宮崎県延岡市石田町から宮崎県延岡市伊形町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道10号
（有料道路名 ： 延岡南道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮崎県延岡市石田町　から
宮崎県延岡市伊形町　まで

（ロ） 延　　長　　0．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
宮崎県延岡市石田町　から 宮崎県延岡市伊形町　まで	100	0．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
宮崎県延岡市石田町　から 宮崎県延岡市伊形町　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道10号（延岡道路）	宮崎県延岡市石田町	平面接続	本線
一般国道10号	宮崎県延岡市伊形町	立体接続	延岡南インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

2，092 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　30　年　5　月　1　日
②工事の完成予定年月日　令和　2　年　3　月　29　日（延岡南料金所完成）
　　令和　3　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，545 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，447 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-123

一般国道10号（隼人道路）

（鹿児島県霧島市隼人町住吉から鹿児島県姶良市加治木町反土まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道10号

（有料道路名　:隼人道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　鹿児島県霧島市隼人町住吉　　から
鹿児島県姶良市加治木町反土　　まで

（ロ） 延　　長　　7．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
鹿児島県霧島市隼人町住吉 鹿児島県姶良市加治木町反土	から まで	80	7．3	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘　要
鹿児島県霧島市隼人町住吉 鹿児島県姶良市加治木町反土	から まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00 メートル　（土工部）
3．00 メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
ー	ー	ー	

（4） 工事予算

25，280 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　30　年　5　月　1　日

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　令和　7　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

29，923 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　28，548 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-124

一般国道24号（京奈和自動車道（大和北道路））
（奈良県奈良市歌姫町から奈良県奈良市八条三丁目まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道24号　（有料道路名 ： 京奈和自動車道(大和北道路)）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　奈良県奈良市歌姫町　から
奈良県奈良市八条三丁目　まで

（ロ） 延　長　6．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級(道路構造令)

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延　長 (キロメートル)	摘　要
奈良県奈良市歌姫町 から 奈良県奈良市八条三丁目 まで	80	6．1	

別　紙　1

（二） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設　計　区　間		工事施工	用地買収	摘　要
奈良県奈良市歌姫町	から	4 車線	4 車線	
奈良県奈良市八条三丁目	まで			

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	1．25	0．75	2．0	
橋梁高架部分（中小橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

1．50　メートル　（土工部）
1．50　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道24号 （京奈和自動車道（京奈道路））	奈良県奈良市歌姫町	平面接続	本線
一般国道24号	奈良県奈良市左京五丁目	立体接続	奈良北インターチェンジ （仮称）
（都）西九条佐保線	奈良県奈良市八条三丁目	立体接続	奈良インターチェンジ （仮称）

（4） 工事予算

78，223 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　奈良県奈良市歌姫町（STA6+00）から奈良県奈良市法華寺町（STA28+29）まで
平成　30　年　5　月　1　日

ロ　奈良県奈良市法華寺町（STA28+29）から奈良県奈良市八条三丁目（STA67+26）まで
令和　9　年　10　月　1　日（予定）

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　令和　15　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

101，910 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　97，212 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-125

一般国道24号（京奈和自動車道（大和北道路））
（奈良県奈良市八条三丁目から奈良県大和郡山市横田町まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道24号　　（有料道路名 ： 京奈和自動車道（大和北道路））

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　奈良県奈良市八条三丁目　　から
奈良県大和郡山市横田町　　まで

（ロ） 延　　長　　6．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
奈良県奈良市八条三丁目　から 奈良県大和郡山市横田町　まで	80	6．3	

別　紙　1

（二） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
奈良県奈良市八条三丁目　から 奈良県大和郡山市横田町　まで	4 車線	4 車線	

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．25×2	2．50	―	―	―	
トンネル部分	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分（中小橋）	1．25×2	2．50	―	―	―	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	―	―	―	

別　紙　1

（チ） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

1．50　メートル　（土工部）
1．50　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
（都）西九条佐保線	奈良県奈良市八条三丁目	立体接続	奈良インターチェンジ （仮称）
一般国道24号	奈良県奈良市杏町	立体接続	大和郡山北インターチェンジ（北） （仮称）
一般国道24号	奈良県大和郡山市美濃庄町	立体接続	大和郡山北インターチェンジ（南） （仮称）
一般国道24号	奈良県大和郡山市横田町	立体接続	大和郡山インターチェンジ （仮称）
一般国道24号 （京奈和自動車道（大和御所道路））	奈良県大和郡山市横田町	平面接続	郡山下ツ道ジャンクション
西名阪自動車道	奈良県大和郡山市横田町	立体接続	郡山下ツ道ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

45，066 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　奈良県奈良市八条三丁目（STA67+26）から奈良県大和郡山市美濃庄町（STA99+21）まで
令和　7　年　4　月　1　日（予定）

ロ　奈良県大和郡山市美濃庄町（STA99+21）から奈良県大和郡山市横田町（STA130+32）まで
平成　30　年　5　月　1　日

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　令和　10　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

56，412 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　53，837 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-126

一般国道163号（第二阪奈道路）

（大阪府東大阪市西石切町から奈良県奈良市宝来町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道163号　（有料道路名 ： 第二阪奈道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　大阪府東大阪市西石切町　から
奈良県奈良市宝来町　まで

（ロ） 延　　長　　13．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
大阪府東大阪市 西石切町　から 奈良県奈良市 宝来町　まで	60	13．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　TL－20ｔ及び 25ｔ

（二） 車線の幅員　　3．5 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
大阪府東大阪市 西石切町　から 奈良県奈良市 宝来町　まで	4 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

2．25　メートル　（土工部）
2．25　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道163号	東大阪市西石切町	平面接続	本線
一般国道308号	東大阪市西石切町	立体接続	西石切インターチェンジ
一般国道168号（奈良西幹線）	生駒市壱分町	立体接続	壱分インターチェンジ
都市計画道路菜畑乙田線	生駒市小瀬町	立体接続	小瀬インターチェンジ
都市計画道路高山富雄小泉線	奈良市中町	立体接続	中町インターチェンジ
奈良県道奈良生駒線	奈良市宝来町	平面接続	宝来インターチェンジ

（4） 工事予算

95，667 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日
②工事の完成年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

95，796 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　ー 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-127

一般国道497号（西九州自動車道（佐世保道路））

（長崎県北松浦郡佐々町沖田免から長崎県佐世保市大塔町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道497号

（有料道路名　:西九州自動車道（佐世保道路））

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　長崎県北松浦郡佐々町沖田免　　から
長崎県佐世保市大塔町　　まで

（ロ） 延　　長　　16．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
長崎県北松浦郡佐々町沖田免 長崎県佐世保市大塔町	から まで	80	16．9	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
長崎県北松浦郡佐々町沖田免 長崎県佐世保市大塔町	から まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00 メートル　（土工部）
3．00 メートル　および　2．25 メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
ー	ー	ー	

（4） 工事予算

90，800 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　30　年　5　月　1　日

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　令和　10　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

117，691 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　112，270 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-128

四国縦貫自動車道（東温スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

愛媛県東温市田窪

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道　高速側道1号線　及び 市道　高速道路2号線	愛媛県東温市田窪	立体接続	東温スマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

2，095 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　30 年　 9 月　 1 日
②工事の完成予定年月日　　令和　 6 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，516 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－ 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-129

九州縦貫自動車道鹿児島線（味坂スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

九州縦貫自動車道鹿児島線

（2） 工事の箇所

佐賀県鳥栖市酒井東町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道鳥栖朝倉線(仮称)	佐賀県鳥栖市酒井東町	立体接続	味坂スマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

3，042 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　30 年　 9 月　 1 日
②工事の完成予定年月日　　令和　 6 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，663 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－ 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-130

近畿自動車道名古屋神戸線
（滋賀県甲賀市甲賀町岩室から滋賀県大津市上田上牧町まで）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　滋賀県甲賀市甲賀町岩室　　から
滋賀県大津市上田上牧町　　まで

（ロ） 延　　長　　28．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第1種第1級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
滋賀県甲賀市 甲賀町岩室　から 滋賀県大津市 上田上牧町　まで	120	28．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル、 3．75メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
滋賀県甲賀市 甲賀町岩室　から 滋賀県大津市 上田上牧町　まで	6 車線	6 車線	6車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

設 計 区 間	構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
		左 側	計	左 側	右 側	計	
滋賀県甲賀市 甲賀町岩室　から 滋賀県大津市 上田上牧町　まで	土工（掘割）部分	3．00×2	6．00	3．00	1．75	4．75	
	トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
	橋梁高架部分 （中小橋）	3．00×2	6．00	3．00	1．75	4．75	
	橋梁高架部分 （長大橋）	3．00×2	6．00	3．00	1．25	4．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　4．50　メートル　（土工部）
　　4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道甲賀土山線	滋賀県甲賀市 甲賀町岩室	立体接続	甲賀土山インターチェンジ
県道柑子塩野線	滋賀県甲賀市 甲南町新治	立体接続	甲南インターチェンジ
一般国道307号	滋賀県甲賀市 信楽町黄瀬	立体接続	信楽インターチェンジ

（4） 工事予算

101，852 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　元　年　5　月　1　日
②工事の完成予定年月日　令和　9　年　3　月 31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

128，191 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　122，497 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-132

一般国道31号（広島呉道路）

（広島県安芸郡坂町横浜東から広島県呉市二河町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道31号　（有料道路名 ： 広島呉道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　広島県安芸郡坂町横浜東　から
広島県呉市二河町　まで

（ロ） 延　長　12. 2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
広島県安芸郡坂町 横浜東 広島県呉市 二河町	から まで	80	12．2	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘　要
広島県安芸郡坂町 横浜東 広島県呉市 二河町	から まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

設 計 区 間	構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
		左 側	計	左 側	右 側	計	
広島県安芸郡坂町 横浜東 から 広島県呉市 二河町 まで	土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
	トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
	橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
	橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00 メートル　（土工部）
3．00 メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

74，325 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　元　年　7　月　1　日

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　令和　11　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

94，363 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　90，123 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-133

四国縦貫自動車道（阿波スマートIC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

徳島県阿波市市場町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道高速インター線(仮称)	徳島県阿波市市場町	立体接続	阿波スマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

2，590 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　元 年　10 月　24 日
②工事の完成予定年月日　　令和　8 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，145 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－ 百万円）（消費税込み）

別紙1-H-2

一般国道30号（本州四国連絡道路（児島・坂出ルート））（坂出北スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道30号（本州四国連絡道路（児島・坂出ルート））

（2） 工事の箇所

香川県坂出市

（3） 工事方法

（イ） ほかの道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
県道瀬居坂出港線	香川県坂出市	立体接続	（仮称）坂出北スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

3,160　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　29 年　　9 月　　1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　　7 年　　3 月　　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3,680　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円）（消費税込み）

別紙1-H-3

一般国道28号（本州四国連絡道路（神戸・鳴門ルート））（淡路北スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道28号（本州四国連絡道路（神戸・鳴門ルート））

（2） 工事の箇所

兵庫県淡路市

（3） 工事方法

（イ） ほかの道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
市道淡路ハイウェイオアシススマートインター線	兵庫県淡路市	立体接続	淡路北スマートインターチェンジ

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　平成　31年　4月　15日

②工事の完成年月日　令和　2年　3月　28日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

別紙１－Ｅ－２００の次に次の別紙を加える。

別紙1-E-201

一般国道4号（東埼玉道路）

（埼玉県八潮市大字八條から埼玉県北葛飾郡松伏町田島まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道4号（東埼玉道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　埼玉県八潮市大字八條　から
埼玉県北葛飾郡松伏町田島　まで

（ロ） 延　長　９．５ キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
埼玉県八潮市大字八條 埼玉県北葛飾郡松伏町田島	から まで	80	9．5	

（二） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘　要
埼玉県八潮市大字八條 埼玉県北葛飾郡松伏町田島	から まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道4号 及び常磐自動車道	埼玉県八潮市大字八條	立体接続	草加八潮 インター・ジャンクション（仮称）
一般国道4号	埼玉県草加市柿木町	立体接続	蒲生柿木川戸線 インターチェンジ（仮称）
一般国道4号	埼玉県越谷市大成町	立体接続	越谷吉川線 インターチェンジ（仮称）
一般国道4号	埼玉県吉川市大字川藤	立体接続	越谷総合公園川藤線 インターチェンジ（仮称）
一般国道4号	埼玉県北葛飾郡松伏町田島	立体接続	浦和野田線 インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

16，709 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　令和　10　年　4　月　1　日

②工事の完成予定年月日　令和　12　年　3　月　31　日

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手（予定）年月日とは、
各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

19，144 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　18，263 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-202

北海道横断自動車道黒松内釧路線
（北海道勇払郡占冠村字中央から北海道勇払郡占冠村字上トマムまで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　北海道勇払郡占冠村字中央　　から
北海道勇払郡占冠村字上トマム　　まで

（ロ） 延　　長　　26. 2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
北海道勇払郡占冠村字中央　から 北海道勇払郡占冠村字上トマム　まで	100	26. 2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
北海道勇払郡占冠村字中央 北海道勇払郡占冠村字上トマム	から まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分			1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	1．75	1．25	3．00	

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50 メートル　（土工部）
4．50 メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

97，000 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　　2 年　　5 月　　1 日
②工事の完成年月日　　令和　12 年　　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

119，615 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　113，907 百万円）（消費税込み）

別紙1-E-203

常磐自動車道

（福島県双葉郡浪江町大字室原から福島県南相馬市原町区大字信田沢まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県双葉郡浪江町大字室原　　から
福島県南相馬市原町区大字信田沢　　まで
（なお、事業着手する区間については福島県双葉郡浪江町大字室原から福島県南相馬市小高区大字神山までとする。）

（ロ） 延　　長　　18．4 キロメートル　　（1．9キロメートル）
※（ ）内は福島県双葉郡浪江町大字室原から福島県南相馬市小高区大字神山までを表す。

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福島県双葉郡浪江町大字室原	から	100	18．4	
福島県南相馬市原町区大字信田沢	まで			

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間		工事施工	用地買収	摘　要
福島県双葉郡浪江町大字室原 福島県南相馬市原町区大字信田沢	から まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル（土工部）
4．50　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
ー	ー	ー	

（4） 工事予算

45，000 百万円（消費税込み）

（うち、福島県双葉郡浪江町大字室原から福島県南相馬市小高区大字神山までの工事予算　7，000百万円（消費税込み））

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　2　年　5　月　1　日
②工事の完成予定年月日　　令和　12　年　3　月　31　日

（なお、上記については福島県双葉郡浪江町大字室原から福島県南相馬市小高区大字神山までの工事の着手および完成の予定年月日を表す。）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

9，819 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　9，366 百万円）（消費税込み）

（なお、上記については福島県双葉郡浪江町大字室原から福島県南相馬市小高区大字神山までの債務引受限度額および助成対象基準額を表す。）

別紙１－Ｃ－１１０の次に次の別紙を加える。

別紙1-C-111

東海北陸自動車道

（岐阜県大野郡白川村大字鳩谷から富山県南砺市上中田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県大野郡白川村大字鳩谷　　から
富山県南砺市上中田　　まで

（ロ） 延　　長　　15. 2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
岐阜県大野郡白川村大字鳩谷　から 富山県南砺市上中田　まで	80	15. 2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
岐阜県大野郡白川村大字鳩谷　から 富山県南砺市上中田　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	―	―	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	―	―	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

※切土部については、左側路肩を堆雪余裕幅として5．0m拡幅する

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

３．０ メートル（土工部）
３．０ メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	－

（4） 工事予算

82，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　２　年　５　月　１　日
②工事の完成予定年月日　令和　12　年　３　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

106，440 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　101，118 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-112

一般国道475号（東海環状自動車道）
（岐阜県土岐市泉町久尻から岐阜県可児市柿田まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号
（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県土岐市泉町久尻　　から
岐阜県可児市柿田　　まで

（ロ） 延　　長　　10．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
岐阜県土岐市泉町久尻　から 岐阜県可児市柿田　まで	100	10．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
岐阜県土岐市泉町久尻　から 岐阜県可児市柿田　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．75	1．25	3．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

34，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　令和　2　年　5　月　1　日
②工事の完成予定年月日　　令和　12　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

43，873 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　41，680 百万円）（消費税込み）

別紙1-C-113

中央自動車道西宮線（中津川西IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

岐阜県中津川市茄子川

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道257号 （濃飛横断自動車道）	岐阜県中津川市茄子川	立体接続	中津川西インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　　令和　2 年　5 月　1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　10 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

別紙1-C-114

第二東海自動車道横浜名古屋線（東海JCT）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の箇所

愛知県東海市新宝町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道247号 （西知多道路）	愛知県東海市新宝町	立体接続	東海ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　　令和　2 年　5 月　1 日

②工事の完成予定年月日　　令和　10 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

別紙１－Ｗ－１３３の次に次の別紙を加える。

別紙1-W-134

一般国道2号（広島岩国道路）（大竹西JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道2号（有料道路名：広島岩国道路）

（2） 工事の箇所

広島県大竹市御園

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道2号（岩国大竹道路）	広島県大竹市御園	立体接続	大竹西ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

1，000 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　 2 年　 5 月　 1 日
②工事の完成予定年月日　　令和　13 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，295 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，241 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-135

一般国道196号（今治・小松自動車道（今治小松道路））（今治湯ノ浦IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道196号 （有料道路名：今治・小松自動車道（今治小松道路））

（2） 工事の箇所

愛媛県今治市長沢

（3） 工事方法

（イ）事業方式

一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道196号 （今治道路）	愛媛県 今治市長沢	平面接続	本線
一般国道196号	愛媛県 今治市長沢	立体接続	今治湯ノ浦インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

3，006 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　2 年　5 月　1 日
②工事の完成予定年月日　令和　7 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，845 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，686 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-136

近畿自動車道敦賀線

（福井県大飯郡おおい町福谷から福井県小浜市鯉川まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福井県大飯郡おおい町福谷　　から
福井県小浜市鯉川　　まで

（ロ） 延　　長　　11．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福井県大飯郡 おおい町福谷　から 福井県小浜市 鯉川　まで	80	11．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間		工事施工	用地買収	摘　要
福井県大飯郡 おおい町福谷 福井県小浜市 鯉川	から まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	―	―	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

20，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　2 年　5 月　1 日
②工事の完成予定年月日　令和　12 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

26，009 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　24，802 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-137

中国横断自動車道岡山米子線
（岡山県真庭市蒜山西茅部から鳥取県日野郡江府町佐川まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国横断自動車道岡山米子線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岡山県真庭市蒜山西茅部　　から
鳥取県日野郡江府町佐川　　まで

（ロ） 延　　長　　15．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
岡山県真庭市 蒜山西茅部　から 鳥取県日野郡 江府町佐川　まで	80	15．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
岡山県真庭市 蒜山西茅部　から 鳥取県日野郡 江府町佐川　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	—	—	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

25，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　2 年　5 月　1 日
②工事の完成予定年月日　令和　12 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

32，539 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　31，028 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-138

四国縦貫自動車道
（徳島県阿波市土成町吉田から徳島県美馬市脇町拝原まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国縦貫自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　徳島県阿波市土成町吉田　　から
徳島県美馬市脇町拝原　　まで

（ロ） 延　　長　　18．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
徳島県阿波市土成町吉田　から 徳島県美馬市脇町拝原　まで	100	18．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
徳島県阿波市土成町吉田　から 徳島県美馬市脇町拝原　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	―	―	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分 （中小橋）	―	―	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．5	1．75	1．00	2．75	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

46，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　2 年　5 月　1 日
②工事の完成予定年月日　令和　12 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

57，144 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　54，491 百万円）（消費税込み）

別紙1-W-139

四国縦貫自動車道

（愛媛県伊予市稲荷から愛媛県喜多郡内子町内子まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国縦貫自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　愛媛県伊予市稲荷　　から
愛媛県喜多郡内子町内子　　まで
（なお、事業着手する区間については愛媛県伊予市中山町中山から愛媛県喜多郡内子町内子までとする。）

（ロ） 延　　長　　24．0 キロメートル　（9．7キロメートル）
※（ ）内は、愛媛県伊予市中山町中山から愛媛県喜多郡内子町内子までを表す

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
愛媛県伊予市稲荷　から 愛媛県喜多郡内子町内子　まで	80	24．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
愛媛県伊予市稲荷　から 愛媛県喜多郡内子町内子　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	―	―	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	―	―	―	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

94，000 百万円（消費税込み）

（うち、愛媛県伊予市中山町中山から愛媛県喜多郡内子町内子までの工事予算　　60，000 百万円（消費税込み））

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　 2 年　 5 月　 1 日
②工事の完成予定年月日　　令和　12 年　 3 月　31 日

（なお、上記については愛媛県伊予市中山町中山から愛媛県喜多郡内子町内子までの工事の着手および完成の予定年月日を表す。）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

74，400 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　71，249 百万円）（消費税込み）
（なお、上記については愛媛県伊予市中山町中山から愛媛県喜多郡内子町内子までの債務引受限度額および助成対象基準額を表す。）

別紙1-W-140

一般国道3号（南九州西回り自動車道（市来～鹿児島西））

（鹿児島県日置市東市来町美山から 鹿児島県日置市伊集院町下谷口まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道3号（南九州西回り自動車道（市来～鹿児島西））

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　鹿児島県日置市東市来町美山　　から
鹿児島県日置市伊集院町下谷口　　まで
（なお、事業着手する区間については鹿児島県日置市東市来町美山から鹿児島県日置市伊集院町大田までとする。）

（ロ） 延　　長　　6．1 キロメートル　（2．3キロメートル）
※（ ）内は、鹿児島県日置市東市来町美山から鹿児島県日置市伊集院町大田までを表す

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
鹿児島県日置市東市来町美山　から 鹿児島県日置市伊集院町下谷口　まで	100	6．1	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
鹿児島県日置市東市来町美山　から 鹿児島県日置市伊集院町下谷口　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	―	―	―	
トンネル部分	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分（中小橋）	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	―	―	―	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

32，933 百万円（消費税込み）

（うち、鹿児島県日置市東市来町美山から鹿児島県日置市伊集院町大田までの工事予算　　14，000 百万円（消費税込み））

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　令和　 2 年　 5 月　 1 日
②工事の完成予定年月日　　令和　12 年　 3 月　31 日

（なお、上記については鹿児島県日置市東市来町美山から鹿児島県日置市伊集院町大田までの工事の着手および完成の予定年月日を表す。）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

18，186 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　17，342 百万円）（消費税込み）

（なお、上記については鹿児島県日置市東市来町美山から鹿児島県日置市伊集院町大田までの債務引受限度額および助成対象基準額を表す。）

別紙１－Ｈ－３の次に次の別紙を加える。

別紙1-H-4

一般国道317号（本州四国連絡道路（尾道・今治ルート））（今治IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道317号（本州四国連絡道路（尾道・今治ルート））

（2） 工事の箇所

愛媛県今治市

（3） 工事方法

（イ） ほかの道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道196号 （今治道路）	愛媛県今治市	平面接続	本線
一般国道196号	愛媛県今治市	立体接続	今治インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

186 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　令和　２年　５月　１日

②工事の完成予定年月日　令和　11 年　３月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

215 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　205 百万円）（消費税込み）

別紙３－１から別紙３－４を次のとおり改める。

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙３－１

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ１８	24,213百万円
Ｈ１９	25,071百万円
Ｈ２０	24,580百万円
Ｈ２１	37,064百万円
Ｈ２２	50,385百万円
Ｈ２３	34,989百万円
Ｈ２４	33,071百万円
Ｈ２５	41,256百万円
Ｈ２６	68,784百万円
Ｈ２７	95,856百万円
Ｈ２８	88,927百万円
Ｈ２９	99,841百万円
Ｈ３０	103,997百万円
Ｒ１	142,772百万円
Ｒ２	252,334百万円
Ｒ３	144,949百万円
Ｒ４	70,698百万円
Ｒ５	157,288百万円
Ｒ６	137,498百万円
Ｒ７	81,893百万円
Ｒ８	170,017百万円
Ｒ９	53,173百万円
Ｒ１０	53,292百万円
Ｒ１１	53,601百万円
Ｒ１２	194,547百万円
Ｒ１３	54,417百万円
Ｒ１４	54,897百万円
Ｒ１５	53,891百万円
Ｒ１６	54,877百万円
Ｒ１７	54,378百万円
Ｒ１８	55,007百万円
Ｒ１９	55,275百万円
Ｒ２０	54,313百万円
Ｒ２１	54,158百万円
Ｒ２２	54,164百万円
Ｒ２３	54,146百万円
Ｒ２４	54,556百万円
Ｒ２５	54,490百万円
Ｒ２６	53,638百万円
Ｒ２７	52,930百万円
Ｒ２８	52,908百万円
Ｒ２９	52,844百万円
Ｒ３０	53,775百万円
Ｒ３１	52,494百万円
Ｒ３２	52,929百万円
Ｒ３３	53,564百万円
Ｒ３４	53,564百万円
Ｒ３５	53,564百万円
Ｒ３６	53,564百万円
Ｒ３７	53,564百万円
Ｒ３８	53,044百万円
Ｒ３９	53,044百万円
Ｒ４０	53,044百万円
Ｒ４１	43,297百万円

（注1）平成１８年度から平成３０年度までは実績値を、令和元年度は実績見込値を記載している

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙３－２

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ１８	14,696百万円
Ｈ１９	24,995百万円
Ｈ２０	27,416百万円
Ｈ２１	32,076百万円
Ｈ２２	21,467百万円
Ｈ２３	19,581百万円
Ｈ２４	31,785百万円
Ｈ２５	48,923百万円
Ｈ２６	33,108百万円
Ｈ２７	106,065百万円
Ｈ２８	59,505百万円
Ｈ２９	61,859百万円
Ｈ３０	68,016百万円
Ｒ１	117,759百万円
Ｒ２	180,890百万円
Ｒ３	119,180百万円
Ｒ４	55,661百万円
Ｒ５	74,615百万円
Ｒ６	177,374百万円
Ｒ７	65,571百万円
Ｒ８	47,516百万円
Ｒ９	38,467百万円
Ｒ１０	38,438百万円
Ｒ１１	38,590百万円
Ｒ１２	40,199百万円
Ｒ１３	39,471百万円
Ｒ１４	41,109百万円
Ｒ１５	39,786百万円
Ｒ１６	41,114百万円
Ｒ１７	40,082百万円
Ｒ１８	40,256百万円
Ｒ１９	40,536百万円
Ｒ２０	40,051百万円
Ｒ２１	40,102百万円
Ｒ２２	40,313百万円
Ｒ２３	40,121百万円
Ｒ２４	40,160百万円
Ｒ２５	40,697百万円
Ｒ２６	39,993百万円
Ｒ２７	39,871百万円
Ｒ２８	40,050百万円
Ｒ２９	40,147百万円
Ｒ３０	41,440百万円
Ｒ３１	39,760百万円
Ｒ３２	40,159百万円
Ｒ３３	40,659百万円
Ｒ３４	40,715百万円
Ｒ３５	41,210百万円
Ｒ３６	40,620百万円
Ｒ３７	40,477百万円
Ｒ３８	40,011百万円
Ｒ３９	39,931百万円
Ｒ４０	40,011百万円
Ｒ４１	32,502百万円

（注1）平成１８年度から平成３０年度までは実績値を、令和元年度は実績見込値を記載している

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙３－３

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ１８	16,786百万円
Ｈ１９	24,426百万円
Ｈ２０	25,020百万円
Ｈ２１	26,890百万円
Ｈ２２	37,352百万円
Ｈ２３	37,947百万円
Ｈ２４	42,569百万円
Ｈ２５	55,252百万円
Ｈ２６	79,077百万円
Ｈ２７	68,933百万円
Ｈ２８	83,973百万円
Ｈ２９	78,967百万円
Ｈ３０	82,732百万円
Ｒ１	172,530百万円
Ｒ２	290,407百万円
Ｒ３	286,729百万円
Ｒ４	102,835百万円
Ｒ５	173,061百万円
Ｒ６	146,187百万円
Ｒ７	140,933百万円
Ｒ８	128,920百万円
Ｒ９	44,080百万円
Ｒ１０	43,724百万円
Ｒ１１	44,561百万円
Ｒ１２	45,925百万円
Ｒ１３	46,884百万円
Ｒ１４	48,784百万円
Ｒ１５	49,471百万円
Ｒ１６	51,763百万円
Ｒ１７	50,947百万円
Ｒ１８	51,601百万円
Ｒ１９	51,888百万円
Ｒ２０	52,831百万円
Ｒ２１	52,908百万円
Ｒ２２	53,269百万円
Ｒ２３	53,432百万円
Ｒ２４	53,129百万円
Ｒ２５	53,431百万円
Ｒ２６	52,751百万円
Ｒ２７	52,023百万円
Ｒ２８	52,016百万円
Ｒ２９	52,779百万円
Ｒ３０	53,408百万円
Ｒ３１	52,318百万円
Ｒ３２	52,841百万円
Ｒ３３	53,946百万円
Ｒ３４	54,039百万円
Ｒ３５	54,113百万円
Ｒ３６	54,129百万円
Ｒ３７	53,242百万円
Ｒ３８	53,014百万円
Ｒ３９	52,664百万円
Ｒ４０	52,764百万円
Ｒ４１	43,085百万円

（注1）平成１８年度から平成３０年度までは実績値を、令和元年度は実績見込値を記載している

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙３－４

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ１８	1,135百万円
Ｈ１９	4,509百万円
Ｈ２０	4,337百万円
Ｈ２１	5,665百万円
Ｈ２２	5,438百万円
Ｈ２３	4,197百万円
Ｈ２４	3,663百万円
Ｈ２５	8,767百万円
Ｈ２６	11,343百万円
Ｈ２７	12,181百万円
Ｈ２８	6,958百万円
Ｈ２９	8,621百万円
Ｈ３０	9,152百万円
Ｒ１	7,935百万円
Ｒ２	27,632百万円
Ｒ３	20,334百万円
Ｒ４	18,208百万円
Ｒ５	11,013百万円
Ｒ６	9,256百万円
Ｒ７	8,854百万円
Ｒ８	8,743百万円
Ｒ９	7,371百万円
Ｒ１０	7,315百万円
Ｒ１１	7,048百万円
Ｒ１２	7,188百万円
Ｒ１３	6,997百万円
Ｒ１４	7,056百万円
Ｒ１５	6,994百万円
Ｒ１６	6,862百万円
Ｒ１７	6,785百万円
Ｒ１８	6,630百万円
Ｒ１９	6,439百万円
Ｒ２０	6,610百万円
Ｒ２１	6,459百万円
Ｒ２２	6,862百万円
Ｒ２３	6,829百万円
Ｒ２４	6,772百万円
Ｒ２５	6,399百万円
Ｒ２６	6,660百万円
Ｒ２７	6,285百万円
Ｒ２８	6,381百万円
Ｒ２９	6,597百万円
Ｒ３０	6,847百万円
Ｒ３１	6,561百万円
Ｒ３２	6,658百万円
Ｒ３３	7,260百万円
Ｒ３４	7,521百万円
Ｒ３５	7,724百万円
Ｒ３６	7,472百万円
Ｒ３７	7,659百万円
Ｒ３８	7,551百万円
Ｒ３９	7,428百万円
Ｒ４０	7,253百万円
Ｒ４１	6,129百万円

（注1）平成１８年度から平成３０年度までは実績値を、令和元年度は実績見込値を記載している

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙４－１から別紙４－４を次のとおり改める。

別紙４－１

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

債務引受限度額	87,409百万円

別紙４－２

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

債務引受限度額	82,601百万円

別紙４－３

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

債務引受限度額	74,504百万円

別紙４－４

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

債務引受限度額	12,584百万円

別紙５－１から別紙５－４を次のとおり改める。

別紙５－１

東日本高速道路株式会社に対する無利子貸付けの貸付計画

年度	無利子貸付計画額
H26	9百万円
H27	214百万円
H28	671百万円
H29	1,492百万円
H30	2,590百万円
R1	854百万円
R2	1,452百万円
R3	4,673百万円
R4	4,461百万円
R5	2,223百万円
R6	906百万円
R7	0百万円
R8	0百万円
R9	0百万円
R10	0百万円
R11	0百万円
R12	0百万円
R13	0百万円
R14	0百万円
R15	0百万円
R16	0百万円
R17	0百万円
R18	0百万円
R19	0百万円
R20	0百万円
R21	0百万円
R22	0百万円
R23	0百万円
R24	0百万円
R25	0百万円
R26	0百万円
R27	0百万円
R28	0百万円
R29	0百万円
R30	0百万円
R31	0百万円
R32	0百万円
R33	0百万円
R34	0百万円
R35	0百万円
R36	0百万円
R37	0百万円
R38	0百万円
R39	0百万円
R40	0百万円
R41	0百万円

（注1）平成２６年度から平成３０年度までは実績値を記載している。

別紙５－２

中日本高速道路株式会社に対する無利子貸付けの貸付計画

年度	無利子貸付計画額
H26	8百万円
H27	119百万円
H28	310百万円
H29	862百万円
H30	666百万円
R1	973百万円
R2	3,610百万円
R3	1,301百万円
R4	1,428百万円
R5	1,514百万円
R6	2,073百万円
R7	35百万円
R8	175百万円
R9	0百万円
R10	0百万円
R11	0百万円
R12	0百万円
R13	0百万円
R14	0百万円
R15	0百万円
R16	0百万円
R17	0百万円
R18	0百万円
R19	0百万円
R20	0百万円
R21	0百万円
R22	0百万円
R23	0百万円
R24	0百万円
R25	0百万円
R26	0百万円
R27	0百万円
R28	0百万円
R29	0百万円
R30	0百万円
R31	0百万円
R32	0百万円
R33	0百万円
R34	0百万円
R35	0百万円
R36	0百万円
R37	0百万円
R38	0百万円
R39	0百万円
R40	0百万円
R41	0百万円

（注1）平成２６年度から平成３０年度までは実績値を記載している。

別紙５－３

西日本高速道路株式会社に対する無利子貸付けの貸付計画

年度	無利子貸付計画額
H26	17百万円
H27	114百万円
H28	276百万円
H29	1,209百万円
H30	1,065百万円
R1	1,183百万円
R2	791百万円
R3	1,354百万円
R4	1,410百万円
R5	1,989百万円
R6	322百万円
R7	367百万円
R8	0百万円
R9	0百万円
R10	0百万円
R11	0百万円
R12	0百万円
R13	0百万円
R14	0百万円
R15	0百万円
R16	0百万円
R17	0百万円
R18	0百万円
R19	0百万円
R20	0百万円
R21	0百万円
R22	0百万円
R23	0百万円
R24	0百万円
R25	0百万円
R26	0百万円
R27	0百万円
R28	0百万円
R29	0百万円
R30	0百万円
R31	0百万円
R32	0百万円
R33	0百万円
R34	0百万円
R35	0百万円
R36	0百万円
R37	0百万円
R38	0百万円
R39	0百万円
R40	0百万円
R41	0百万円

（注1）平成２６年度から平成３０年度までは実績値を記載している。

別紙５－４

本州四国連絡高速道路株式会社に対する無利子貸付けの貸付計画

年度	無利子貸付計画額
H29	6百万円
H30	12百万円
R1	25百万円
R2	29百万円
R3	201百万円
R4	408百万円
R5	538百万円
R6	358百万円
R7	0百万円
R8	0百万円
R9	0百万円
R10	0百万円
R11	0百万円
R12	0百万円
R13	0百万円
R14	0百万円
R15	0百万円
R16	0百万円
R17	0百万円
R18	0百万円
R19	0百万円
R20	0百万円
R21	0百万円
R22	0百万円
R23	0百万円
R24	0百万円
R25	0百万円
R26	0百万円
R27	0百万円
R28	0百万円
R29	0百万円
R30	0百万円
R31	0百万円
R32	0百万円
R33	0百万円
R34	0百万円
R35	0百万円
R36	0百万円
R37	0百万円
R38	0百万円
R39	0百万円
R40	0百万円
R41	0百万円

（注1）平成２６年度から平成３０年度までは実績値を記載している。

別紙６－１から別紙６－４を次のとおり改める。

別紙６－１

東日本高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

（消費税込み）

年度	貸付料				
		うち土地・家屋分	うち構造物等分		
				うち盛土・切土・のり面構築物等分	うち橋梁・トンネル等分
Ｈ１８	（ 551,875百万円 ） 551,875百万円	（ 63,667百万円 ） 47,550百万円	（ 379,925百万円 ） 391,645百万円	（ 127,702百万円 ） 111,107百万円	（ 252,223百万円 ） 280,538百万円
Ｈ１９	（ 559,192百万円 ） 558,180百万円	（ 67,965百万円 ） 51,619百万円	（ 405,577百万円 ） 425,162百万円	（ 136,324百万円 ） 120,616百万円	（ 269,253百万円 ） 304,546百万円
Ｈ２０	（ 555,373百万円 ） 522,469百万円	（ 68,941百万円 ） 49,115百万円	（ 411,402百万円 ） 404,532百万円	（ 138,282百万円 ） 114,763百万円	（ 273,120百万円 ） 289,769百万円
Ｈ２１	（ 449,377百万円 ） 420,422百万円	（ 55,670百万円 ） 39,424百万円	（ 332,204百万円 ） 324,717百万円	（ 111,662百万円 ） 92,120百万円	（ 220,542百万円 ） 232,597百万円
Ｈ２２	（ 447,103百万円 ） 414,736百万円	（ 54,937百万円 ） 34,125百万円	（ 327,833百万円 ） 281,068百万円	（ 110,193百万円 ） 79,737百万円	（ 217,640百万円 ） 201,331百万円
Ｈ２３	（ 436,821百万円 ） 400,681百万円	（ 39,902百万円 ） 36,286百万円	（ 328,653百万円 ） 298,870百万円	（ 93,237百万円 ） 84,788百万円	（ 235,416百万円 ） 214,082百万円
Ｈ２４	（ 429,007百万円 ） 471,361百万円	（ 38,674百万円 ） 42,912百万円	（ 318,541百万円 ） 353,445百万円	（ 90,368百万円 ） 100,270百万円	（ 228,173百万円 ） 253,175百万円
Ｈ２５	（ 430,686百万円 ） 484,935百万円	（ 32,447百万円 ） 41,206百万円	（ 267,253百万円 ） 339,394百万円	（ 75,818百万円 ） 96,284百万円	（ 191,435百万円 ） 243,110百万円
Ｈ２６	（ 516,202百万円 ） 605,006百万円	（ 38,687百万円 ） 50,781百万円	（ 318,649百万円 ） 418,260百万円	（ 90,399百万円 ） 118,658百万円	（ 228,250百万円 ） 299,602百万円
Ｈ２７	（ 518,644百万円 ） 628,371百万円	（ 39,437百万円 ） 53,140百万円	（ 324,824百万円 ） 437,691百万円	（ 92,151百万円 ） 124,170百万円	（ 232,673百万円 ） 313,521百万円
Ｈ２８	（ 566,074百万円 ） 626,183百万円	（ 40,169百万円 ） 53,492百万円	（ 330,850百万円 ） 440,591百万円	（ 93,860百万円 ） 124,993百万円	（ 236,990百万円 ） 315,598百万円
Ｈ２９	（ 596,278百万円 ） 649,995百万円	（ 35,238百万円 ） 54,109百万円	（ 290,238百万円 ） 445,668百万円	（ 82,339百万円 ） 126,433百万円	（ 207,899百万円 ） 319,235百万円
Ｈ３０	（ 604,439百万円 ） 670,878百万円	（ 29,639百万円 ） 54,693百万円	（ 244,123百万円 ） 450,479百万円	（ 69,256百万円 ） 127,798百万円	（ 174,867百万円 ） 322,681百万円
Ｒ１	（ 605,167百万円 ） 673,457百万円	（ 22,480百万円 ） 50,987百万円	（ 185,160百万円 ） 419,952百万円	（ 52,529百万円 ） 119,138百万円	（ 132,631百万円 ） 300,814百万円
Ｒ２	608,328百万円	34,118百万円	281,014百万円	79,722百万円	201,292百万円
Ｒ３	581,556百万円	39,730百万円	327,236百万円	92,835百万円	234,401百万円
Ｒ４	578,476百万円	43,595百万円	359,069百万円	101,866百万円	257,203百万円
Ｒ５	578,973百万円	37,171百万円	306,155百万円	86,854百万円	219,301百万円
Ｒ６	589,930百万円	34,486百万円	284,041百万円	80,581百万円	203,460百万円
Ｒ７	593,523百万円	37,964百万円	312,694百万円	88,709百万円	223,985百万円
Ｒ８	603,565百万円	24,383百万円	200,829百万円	56,974百万円	143,855百万円
Ｒ９	609,662百万円	43,978百万円	362,222百万円	102,760百万円	259,462百万円
Ｒ１０	609,542百万円	41,104百万円	338,552百万円	96,045百万円	242,507百万円
Ｒ１１	611,516百万円	14,766百万円	121,616百万円	34,502百万円	87,114百万円
Ｒ１２	611,315百万円	41,620百万円	342,802百万円	97,251百万円	245,551百万円
Ｒ１３	605,706百万円	55,079百万円	453,661百万円	128,701百万円	324,960百万円
Ｒ１４	596,263百万円	54,086百万円	445,483百万円	126,381百万円	319,102百万円
Ｒ１５	590,072百万円	53,568百万円	441,209百万円	125,168百万円	316,041百万円
Ｒ１６	581,586百万円	52,620百万円	433,403百万円	122,954百万円	310,449百万円
Ｒ１７	574,316百万円	51,942百万円	427,824百万円	121,371百万円	306,453百万円
Ｒ１８	564,785百万円	50,926百万円	419,451百万円	118,996百万円	300,455百万円
Ｒ１９	556,460百万円	50,066百万円	412,369百万円	116,987百万円	295,382百万円
Ｒ２０	548,187百万円	49,335百万円	406,345百万円	115,278百万円	291,067百万円
Ｒ２１	541,793百万円	48,710百万円	401,202百万円	113,819百万円	287,383百万円
Ｒ２２	530,569百万円	47,587百万円	391,948百万円	111,193百万円	280,755百万円
Ｒ２３	523,271百万円	46,858百万円	385,949百万円	109,491百万円	276,458百万円
Ｒ２４	515,023百万円	45,992百万円	378,814百万円	107,467百万円	271,347百万円
Ｒ２５	508,559百万円	45,352百万円	373,541百万円	105,971百万円	267,570百万円
Ｒ２６	498,437百万円	44,424百万円	365,901百万円	103,804百万円	262,097百万円
Ｒ２７	489,119百万円	43,563百万円	358,806百万円	101,791百万円	257,015百万円
Ｒ２８	481,786百万円	42,832百万円	352,782百万円	100,082百万円	252,700百万円
Ｒ２９	475,262百万円	42,185百万円	347,458百万円	98,572百万円	248,886百万円
Ｒ３０	465,216百万円	41,087百万円	338,413百万円	96,006百万円	242,407百万円
Ｒ３１	456,950百万円	40,388百万円	332,655百万円	94,372百万円	238,283百万円
Ｒ３２	447,614百万円	39,410百万円	324,603百万円	92,088百万円	232,515百万円
Ｒ３３	442,486百万円	38,834百万円	319,855百万円	90,741百万円	229,114百万円
Ｒ３４	432,541百万円	37,839百万円	311,659百万円	88,416百万円	223,243百万円
Ｒ３５	424,168百万円	37,001百万円	304,758百万円	86,458百万円	218,300百万円
Ｒ３６	416,244百万円	36,208百万円	298,227百万円	84,605百万円	213,622百万円
Ｒ３７	408,611百万円	35,444百万円	291,938百万円	82,821百万円	209,117百万円
Ｒ３８	400,037百万円	34,639百万円	285,300百万円	80,938百万円	204,362百万円
Ｒ３９	391,866百万円	33,821百万円	278,567百万円	79,028百万円	199,539百万円
Ｒ４０	383,500百万円	32,984百万円	271,673百万円	77,072百万円	194,601百万円
Ｒ４１	258,683百万円	21,485百万円	176,965百万円	50,204百万円	126,761百万円

（注1）平成１８年度から平成３０年度までの上段（ ）内は計画値、下段は実績値を、令和元年度の上段（ ）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

中日本高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

別紙６－２

（消費税込み）

年度	貸付料				
		うち土地・家屋分	うち構造物等分		
				うち盛土・切土・のり面構築物等分	うち橋梁・トンネル等分
Ｈ１８	(472,195百万円) 484,094百万円	(86,431百万円) 74,294百万円	(307,137百万円) 316,083百万円	(81,338百万円) 69,250百万円	(225,799百万円) 246,833百万円
Ｈ１９	(482,966百万円) 484,615百万円	(96,496百万円) 80,890百万円	(342,904百万円) 344,144百万円	(90,810百万円) 75,398百万円	(252,094百万円) 268,746百万円
Ｈ２０	(466,881百万円) 456,343百万円	(94,180百万円) 76,802百万円	(334,674百万円) 326,751百万円	(88,630百万円) 71,587百万円	(246,044百万円) 255,164百万円
Ｈ２１	(355,494百万円) 329,680百万円	(70,563百万円) 54,376百万円	(250,751百万円) 231,341百万円	(66,405百万円) 50,684百万円	(184,346百万円) 180,657百万円
Ｈ２２	(350,323百万円) 340,782百万円	(69,626百万円) 52,677百万円	(247,421百万円) 224,113百万円	(65,524百万円) 49,100百万円	(181,897百万円) 175,012百万円
Ｈ２３	(352,605百万円) 355,511百万円	(57,106百万円) 57,620百万円	(242,956百万円) 245,142百万円	(53,229百万円) 53,708百万円	(189,727百万円) 191,434百万円
Ｈ２４	(346,816百万円) 365,770百万円	(55,233百万円) 58,584百万円	(234,987百万円) 249,243百万円	(51,483百万円) 54,606百万円	(183,504百万円) 194,637百万円
Ｈ２５	(348,386百万円) 376,626百万円	(44,204百万円) 53,781百万円	(188,066百万円) 228,811百万円	(41,203百万円) 50,130百万円	(146,863百万円) 178,682百万円
Ｈ２６	(441,426百万円) 496,478百万円	(62,649百万円) 77,803百万円	(266,540百万円) 331,014百万円	(58,396百万円) 72,521百万円	(208,144百万円) 258,492百万円
Ｈ２７	(454,427百万円) 516,780百万円	(63,317百万円) 71,890百万円	(269,384百万円) 305,855百万円	(59,019百万円) 67,009百万円	(210,365百万円) 238,846百万円
Ｈ２８	(487,216百万円) 517,367百万円	(71,833百万円) 77,156百万円	(305,612百万円) 328,260百万円	(66,956百万円) 71,918百万円	(238,656百万円) 256,342百万円
Ｈ２９	(501,944百万円) 531,720百万円	(60,359百万円) 65,634百万円	(256,796百万円) 279,241百万円	(56,261百万円) 61,178百万円	(200,535百万円) 218,062百万円
Ｈ３０	(505,138百万円) 540,787百万円	(49,202百万円) 56,023百万円	(209,328百万円) 238,347百万円	(45,861百万円) 52,219百万円	(163,467百万円) 186,128百万円
Ｒ１	(498,866百万円) 541,635百万円	(29,381百万円) 64,789百万円	(125,003百万円) 275,644百万円	(27,387百万円) 60,390百万円	(97,616百万円) 215,254百万円
Ｒ２	498,206百万円	40,530百万円	172,434百万円	37,778百万円	134,656百万円
Ｒ３	495,795百万円	46,097百万円	196,121百万円	42,968百万円	153,153百万円
Ｒ４	505,874百万円	52,133百万円	221,797百万円	48,593百万円	173,204百万円
Ｒ５	511,492百万円	50,491百万円	214,813百万円	47,063百万円	167,750百万円
Ｒ６	514,139百万円	29,100百万円	123,805百万円	27,124百万円	96,681百万円
Ｒ７	514,418百万円	51,389百万円	218,633百万円	47,900百万円	170,733百万円
Ｒ８	516,596百万円	53,764百万円	228,740百万円	50,114百万円	178,626百万円
Ｒ９	519,290百万円	60,467百万円	257,254百万円	56,361百万円	200,893百万円
Ｒ１０	518,761百万円	59,167百万円	251,726百万円	55,150百万円	196,576百万円
Ｒ１１	518,440百万円	33,882百万円	144,148百万円	31,581百万円	112,567百万円
Ｒ１２	516,601百万円	84,084百万円	357,732百万円	78,375百万円	279,357百万円
Ｒ１３	510,340百万円	83,106百万円	353,571百万円	77,463百万円	276,108百万円
Ｒ１４	503,531百万円	81,613百万円	347,221百万円	76,072百万円	271,149百万円
Ｒ１５	498,138百万円	80,894百万円	344,162百万円	75,402百万円	268,760百万円
Ｒ１６	491,720百万円	79,525百万円	338,336百万円	74,125百万円	264,211百万円
Ｒ１７	486,964百万円	78,867百万円	335,538百万円	73,512百万円	262,026百万円
Ｒ１８	478,036百万円	77,259百万円	328,696百万円	72,013百万円	256,683百万円
Ｒ１９	471,905百万円	76,125百万円	323,875百万円	70,957百万円	252,918百万円
Ｒ２０	465,685百万円	75,112百万円	319,562百万円	70,012百万円	249,550百万円
Ｒ２１	460,561百万円	74,197百万円	315,671百万円	69,160百万円	246,511百万円
Ｒ２２	452,152百万円	72,674百万円	309,190百万円	67,740百万円	241,450百万円
Ｒ２３	445,776百万円	71,581百万円	304,540百万円	66,721百万円	237,819百万円
Ｒ２４	439,910百万円	70,537百万円	300,100百万円	65,748百万円	234,352百万円
Ｒ２５	435,200百万円	69,610百万円	296,155百万円	64,884百万円	231,271百万円
Ｒ２６	427,408百万円	68,357百万円	290,825百万円	63,716百万円	227,109百万円
Ｒ２７	420,535百万円	67,164百万円	285,750百万円	62,604百万円	223,146百万円
Ｒ２８	414,267百万円	66,025百万円	280,904百万円	61,543百万円	219,361百万円
Ｒ２９	409,504百万円	65,166百万円	277,249百万円	60,742百万円	216,507百万円
Ｒ３０	401,966百万円	63,606百万円	270,609百万円	59,287百万円	211,322百万円
Ｒ３１	396,081百万円	62,862百万円	267,446百万円	58,594百万円	208,852百万円
Ｒ３２	389,222百万円	61,579百万円	261,986百万円	57,398百万円	204,588百万円
Ｒ３３	383,909百万円	60,551百万円	257,615百万円	56,440百万円	201,175百万円
Ｒ３４	376,104百万円	59,162百万円	251,704百万円	55,145百万円	196,559百万円
Ｒ３５	369,150百万円	57,846百万円	246,103百万円	53,918百万円	192,185百万円
Ｒ３６	362,165百万円	56,715百万円	241,295百万円	52,865百万円	188,430百万円
Ｒ３７	356,289百万円	55,702百万円	236,984百万円	51,920百万円	185,064百万円
Ｒ３８	348,586百万円	54,424百万円	231,545百万円	50,729百万円	180,816百万円
Ｒ３９	341,918百万円	53,259百万円	226,589百万円	49,643百万円	176,946百万円
Ｒ４０	335,372百万円	52,088百万円	221,607百万円	48,551百万円	173,056百万円
Ｒ４１	215,177百万円	32,193百万円	136,964百万円	30,007百万円	106,957百万円

（注1）平成１８年度から平成３０年度までの上段（　）内は計画値、下段は実績値を、令和元年度の上段（　）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

別紙６－３

西日本高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

（消費税込み）

年度	貸付料				
		うち土地・家屋分	うち構造物等分		
				うち盛土・切土・のり面構築物等分	うち橋梁・トンネル等分
Ｈ１８	（499,925百万円） 510,013百万円	（69,628百万円） 74,784百万円	（332,649百万円） 357,283百万円	（107,706百万円） 115,682百万円	（224,943百万円） 241,601百万円
Ｈ１９	（509,334百万円） 509,334百万円	（76,047百万円） 79,849百万円	（363,317百万円） 381,483百万円	（117,636百万円） 123,517百万円	（245,681百万円） 257,966百万円
Ｈ２０	（502,022百万円） 485,996百万円	（75,381百万円） 76,489百万円	（360,133百万円） 365,426百万円	（116,605百万円） 118,318百万円	（243,528百万円） 247,108百万円
Ｈ２１	（399,934百万円） 381,671百万円	（58,960百万円） 61,193百万円	（281,681百万円） 292,353百万円	（91,203百万円） 94,659百万円	（190,478百万円） 197,694百万円
Ｈ２２	（410,838百万円） 403,375百万円	（61,473百万円） 60,260百万円	（293,688百万円） 287,895百万円	（95,091百万円） 93,215百万円	（198,597百万円） 194,680百万円
Ｈ２３	（395,853百万円） 410,885百万円	（58,087百万円） 45,466百万円	（277,511百万円） 289,436百万円	（89,853百万円） 78,667百万円	（187,658百万円） 210,769百万円
Ｈ２４	（395,037百万円） 424,597百万円	（58,201百万円） 47,363百万円	（278,058百万円） 301,509百万円	（90,030百万円） 81,949百万円	（188,028百万円） 219,560百万円
Ｈ２５	（397,607百万円） 442,443百万円	（35,890百万円） 41,477百万円	（228,473百万円） 264,040百万円	（62,098百万円） 71,765百万円	（166,375百万円） 192,275百万円
Ｈ２６	（488,754百万円） 557,169百万円	（47,742百万円） 56,249百万円	（303,924百万円） 358,080百万円	（82,605百万円） 97,325百万円	（221,319百万円） 260,755百万円
Ｈ２７	（489,117百万円） 571,084百万円	（51,375百万円） 61,589百万円	（327,049百万円） 392,073百万円	（88,890百万円） 106,564百万円	（238,159百万円） 285,509百万円
Ｈ２８	（538,594百万円） 570,996百万円	（46,825百万円） 50,863百万円	（298,084百万円） 323,788百万円	（81,018百万円） 88,004百万円	（217,066百万円） 235,784百万円
Ｈ２９	（546,571百万円） 590,008百万円	（43,129百万円） 60,380百万円	（274,555百万円） 384,377百万円	（74,623百万円） 104,472百万円	（199,932百万円） 279,905百万円
Ｈ３０	（550,695百万円） 602,493百万円	（29,626百万円） 36,081百万円	（188,597百万円） 229,687百万円	（51,260百万円） 62,428百万円	（137,337百万円） 167,259百万円
Ｒ１	（558,517百万円） 629,575百万円	（10,725百万円） 54,118百万円	（68,278百万円） 344,513百万円	（18,558百万円） 93,637百万円	（49,720百万円） 250,876百万円
Ｒ２	567,021百万円	27,783百万円	176,866百万円	48,071百万円	128,795百万円
Ｒ３	537,884百万円	23,330百万円	148,517百万円	40,366百万円	108,151百万円
Ｒ４	537,367百万円	44,307百万円	282,055百万円	76,661百万円	205,394百万円
Ｒ５	540,235百万円	16,362百万円	104,159百万円	28,310百万円	75,849百万円
Ｒ６	542,424百万円	25,682百万円	163,491百万円	44,436百万円	119,055百万円
Ｒ７	542,902百万円	27,684百万円	176,235百万円	47,900百万円	128,335百万円
Ｒ８	541,778百万円	31,211百万円	198,690百万円	54,003百万円	144,687百万円
Ｒ９	542,676百万円	42,820百万円	272,588百万円	74,088百万円	198,500百万円
Ｒ１０	543,807百万円	43,256百万円	275,364百万円	74,843百万円	200,521百万円
Ｒ１１	547,917百万円	39,198百万円	249,533百万円	67,822百万円	181,711百万円
Ｒ１２	546,100百万円	62,239百万円	396,210百万円	107,688百万円	288,522百万円
Ｒ１３	539,738百万円	61,327百万円	390,403百万円	106,110百万円	284,293百万円
Ｒ１４	533,582百万円	60,323百万円	384,013百万円	104,373百万円	279,640百万円
Ｒ１５	529,265百万円	59,699百万円	380,043百万円	103,294百万円	276,749百万円
Ｒ１６	525,812百万円	58,984百万円	375,485百万円	102,055百万円	273,430百万円
Ｒ１７	521,779百万円	58,583百万円	372,934百万円	101,362百万円	271,572百万円
Ｒ１８	513,342百万円	57,450百万円	365,723百万円	99,402百万円	266,321百万円
Ｒ１９	504,057百万円	56,257百万円	358,129百万円	97,338百万円	260,791百万円
Ｒ２０	494,773百万円	54,983百万円	350,016百万円	95,133百万円	254,883百万円
Ｒ２１	488,115百万円	54,143百万円	344,672百万円	93,680百万円	250,992百万円
Ｒ２２	479,220百万円	52,990百万円	337,330百万円	91,685百万円	245,645百万円
Ｒ２３	473,452百万円	52,251百万円	332,625百万円	90,406百万円	242,219百万円
Ｒ２４	467,259百万円	51,517百万円	327,953百万円	89,136百万円	238,817百万円
Ｒ２５	462,763百万円	50,919百万円	324,147百万円	88,102百万円	236,045百万円
Ｒ２６	454,800百万円	50,011百万円	318,368百万円	86,531百万円	231,837百万円
Ｒ２７	447,078百万円	49,140百万円	312,820百万円	85,023百万円	227,797百万円
Ｒ２８	442,611百万円	48,584百万円	309,283百万円	84,062百万円	225,221百万円
Ｒ２９	439,190百万円	48,063百万円	305,963百万円	83,159百万円	222,804百万円
Ｒ３０	431,467百万円	47,022百万円	299,338百万円	81,359百万円	217,979百万円
Ｒ３１	422,775百万円	46,074百万円	293,306百万円	79,719百万円	213,587百万円
Ｒ３２	415,731百万円	45,132百万円	287,304百万円	78,088百万円	209,216百万円
Ｒ３３	409,707百万円	44,243百万円	281,649百万円	76,551百万円	205,098百万円
Ｒ３４	401,018百万円	43,149百万円	274,682百万円	74,657百万円	200,025百万円
Ｒ３５	393,899百万円	42,252百万円	268,976百万円	73,106百万円	195,870百万円
Ｒ３６	386,739百万円	41,358百万円	263,283百万円	71,559百万円	191,724百万円
Ｒ３７	381,023百万円	40,756百万円	259,453百万円	70,518百万円	188,935百万円
Ｒ３８	372,244百万円	39,691百万円	252,669百万円	68,674百万円	183,995百万円
Ｒ３９	364,996百万円	38,831百万円	247,197百万円	67,187百万円	180,010百万円
Ｒ４０	357,431百万円	37,876百万円	241,116百万円	65,534百万円	175,582百万円
Ｒ４１	193,732百万円	18,699百万円	119,038百万円	32,354百万円	86,684百万円

（注1）平成１８年度から平成３０年度までの上段（　）内は計画値、下段は実績値を、令和元年度の上段（　）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

別紙６－４

本州四国連絡高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

（消費税込み）

年度	貸付料			
		うち土地・家屋分		うち構築物等分
				うち盛土・切土・のり面構造物等分	うち橋梁・トンネル等分
H18	（ 58,545 百万円 ） 60,704 百万円	（ 2,489 百万円 ） 2,597 百万円	（ 47,289 百万円 ） 49,340 百万円	（ 4,629 百万円 ） 4,830 百万円	（ 42,660 百万円 ） 44,510 百万円
H19	（ 57,759 百万円 ） 60,308 百万円	（ 2,450 百万円 ） 2,577 百万円	（ 46,542 百万円 ） 48,964 百万円	（ 4,556 百万円 ） 4,793 百万円	（ 41,986 百万円 ） 44,171 百万円
H20	（ 54,980 百万円 ） 56,415 百万円	（ 2,311 百万円 ） 2,382 百万円	（ 43,902 百万円 ） 45,266 百万円	（ 4,298 百万円 ） 4,431 百万円	（ 39,604 百万円 ） 40,835 百万円
H21	（ 37,795 百万円 ） 37,631 百万円	（ 1,451 百万円 ） 1,443 百万円	（ 27,577 百万円 ） 27,421 百万円	（ 2,700 百万円 ） 2,685 百万円	（ 24,877 百万円 ） 24,736 百万円
H22	（ 37,196 百万円 ） 38,520 百万円	（ 1,421 百万円 ） 1,473 百万円	（ 27,008 百万円 ） 27,978 百万円	（ 2,644 百万円 ） 2,739 百万円	（ 24,364 百万円 ） 25,239 百万円
H23	（ 37,523 百万円 ） 45,129 百万円	（ 1,572 百万円 ） 1,990 百万円	（ 27,087 百万円 ） 34,275 百万円	（ 2,093 百万円 ） 2,649 百万円	（ 24,994 百万円 ） 31,626 百万円
H24	（ 40,644 百万円 ） 48,011 百万円	（ 1,777 百万円 ） 2,181 百万円	（ 30,655 百万円 ） 37,618 百万円	（ 2,367 百万円 ） 2,904 百万円	（ 28,288 百万円 ） 34,714 百万円
H25	（ 39,461 百万円 ） 48,943 百万円	（ 1,712 百万円 ） 2,232 百万円	（ 29,537 百万円 ） 38,499 百万円	（ 2,280 百万円 ） 2,972 百万円	（ 27,257 百万円 ） 35,527 百万円
H26	（ 46,375 百万円 ） 47,677 百万円	（ 2,073 百万円 ） 2,144 百万円	（ 35,812 百万円 ） 37,043 百万円	（ 2,762 百万円 ） 2,857 百万円	（ 33,050 百万円 ） 34,186 百万円
H27	（ 44,210 百万円 ） 49,086 百万円	（ 1,954 百万円 ） 2,218 百万円	（ 33,734 百万円 ） 38,346 百万円	（ 2,594 百万円 ） 2,946 百万円	（ 31,140 百万円 ） 35,400 百万円
H28	（ 44,264 百万円 ） 48,948 百万円	（ 1,957 百万円 ） 2,209 百万円	（ 33,841 百万円 ） 38,219 百万円	（ 2,600 百万円 ） 2,934 百万円	（ 31,241 百万円 ） 35,285 百万円
H29	（ 43,834 百万円 ） 49,927 百万円	（ 1,917 百万円 ） 2,254 百万円	（ 33,171 百万円 ） 38,927 百万円	（ 2,546 百万円 ） 2,988 百万円	（ 30,625 百万円 ） 35,939 百万円
H30	（ 45,753 百万円 ） 50,104 百万円	（ 2,025 百万円 ） 2,263 百万円	（ 34,967 百万円 ） 39,161 百万円	（ 2,684 百万円 ） 3,000 百万円	（ 32,283 百万円 ） 36,161 百万円
R1	（ 45,167 百万円 ） 51,677 百万円	（ 1,993 百万円 ） 2,336 百万円	（ 34,494 百万円 ） 40,440 百万円	（ 2,643 百万円 ） 3,098 百万円	（ 31,851 百万円 ） 37,342 百万円
R2	45,485 百万円	1,998 百万円	34,586 百万円	2,650 百万円	31,936 百万円
R3	39,030 百万円	1,646 百万円	28,483 百万円	2,182 百万円	26,301 百万円
R4	37,398 百万円	1,556 百万円	26,941 百万円	2,064 百万円	24,877 百万円
R5	36,753 百万円	1,521 百万円	26,331 百万円	2,017 百万円	24,314 百万円
R6	56,527 百万円	2,601 百万円	45,025 百万円	3,449 百万円	41,576 百万円
R7	56,083 百万円	2,577 百万円	44,605 百万円	3,417 百万円	41,188 百万円
R8	55,427 百万円	2,541 百万円	43,985 百万円	3,370 百万円	40,615 百万円
R9	55,027 百万円	2,519 百万円	43,607 百万円	3,341 百万円	40,266 百万円
R10	54,009 百万円	2,464 百万円	42,644 百万円	3,267 百万円	39,377 百万円
R11	53,356 百万円	2,428 百万円	42,027 百万円	3,220 百万円	38,807 百万円
R12	52,646 百万円	2,389 百万円	41,356 百万円	3,168 百万円	38,188 百万円
R13	51,918 百万円	2,350 百万円	40,667 百万円	3,115 百万円	37,552 百万円
R14	51,082 百万円	2,304 百万円	39,877 百万円	3,055 百万円	36,822 百万円
R15	50,387 百万円	2,266 百万円	39,220 百万円	3,005 百万円	36,215 百万円
R16	49,505 百万円	2,218 百万円	38,386 百万円	2,941 百万円	35,445 百万円
R17	49,046 百万円	2,193 百万円	37,952 百万円	2,907 百万円	35,045 百万円
R18	48,263 百万円	2,150 百万円	37,212 百万円	2,851 百万円	34,361 百万円
R19	47,517 百万円	2,109 百万円	36,507 百万円	2,797 百万円	33,710 百万円
R20	46,714 百万円	2,065 百万円	35,748 百万円	2,739 百万円	33,009 百万円
R21	46,369 百万円	2,046 百万円	35,422 百万円	2,714 百万円	32,708 百万円
R22	45,349 百万円	1,991 百万円	34,457 百万円	2,640 百万円	31,817 百万円
R23	44,812 百万円	1,961 百万円	33,950 百万円	2,601 百万円	31,349 百万円
R24	44,359 百万円	1,937 百万円	33,521 百万円	2,568 百万円	30,953 百万円
R25	44,077 百万円	1,921 百万円	33,255 百万円	2,548 百万円	30,707 百万円
R26	43,392 百万円	1,884 百万円	32,607 百万円	2,498 百万円	30,109 百万円
R27	42,763 百万円	1,850 百万円	32,012 百万円	2,452 百万円	29,560 百万円
R28	42,359 百万円	1,827 百万円	31,631 百万円	2,423 百万円	29,208 百万円
R29	42,033 百万円	1,810 百万円	31,322 百万円	2,400 百万円	28,922 百万円
R30	41,458 百万円	1,778 百万円	30,779 百万円	2,358 百万円	28,421 百万円
R31	40,559 百万円	1,729 百万円	29,929 百万円	2,293 百万円	27,636 百万円
R32	40,171 百万円	1,708 百万円	29,562 百万円	2,265 百万円	27,297 百万円
R33	39,901 百万円	1,693 百万円	29,307 百万円	2,245 百万円	27,062 百万円
R34	39,112 百万円	1,650 百万円	28,561 百万円	2,188 百万円	26,373 百万円
R35	38,485 百万円	1,616 百万円	27,968 百万円	2,143 百万円	25,825 百万円
R36	37,863 百万円	1,582 百万円	27,380 百万円	2,098 百万円	25,282 百万円
R37	37,389 百万円	1,556 百万円	26,932 百万円	2,063 百万円	24,869 百万円
R38	36,625 百万円	1,514 百万円	26,210 百万円	2,008 百万円	24,202 百万円
R39	36,017 百万円	1,481 百万円	25,635 百万円	1,964 百万円	23,671 百万円
R40	35,407 百万円	1,448 百万円	25,058 百万円	1,920 百万円	23,138 百万円
R41	21,280 百万円	765 百万円	13,249 百万円	1,015 百万円	12,234 百万円

（注1）平成18年度から平成30年度までの上段（ ）内は計画値、下段は実績値を、令和元年度の上段（ ）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

別紙７－１から別紙７－４を次のとおり改める。

東日本高速道路株式会社における計画料金収入

別紙７－１

（消費税込み）

年度	計画料金収入
Ｈ１８	（ 709,612百万円 ） 711,810百万円
Ｈ１９	（ 722,190百万円 ） 713,956百万円
Ｈ２０	（ 719,683百万円 ） 679,582百万円
Ｈ２１	（ 613,220百万円 ） 578,132百万円
Ｈ２２	（ 621,266百万円 ） 582,686百万円
Ｈ２３	（ 607,061百万円 ） 564,850百万円
Ｈ２４	（ 604,468百万円 ） 652,866百万円
Ｈ２５	（ 607,533百万円 ） 667,857百万円
Ｈ２６	（ 700,369百万円 ） 796,177百万円
Ｈ２７	（ 710,760百万円 ） 827,595百万円
Ｈ２８	（ 778,089百万円 ） 845,979百万円
Ｈ２９	（ 800,738百万円 ） 862,463百万円
Ｈ３０	（ 811,935百万円 ） 886,493百万円
Ｒ１	（ 822,438百万円 ） 898,952百万円
Ｒ２	838,817百万円
Ｒ３	796,996百万円
Ｒ４	798,951百万円
Ｒ５	799,926百万円
Ｒ６	808,254百万円
Ｒ７	814,262百万円
Ｒ８	823,802百万円
Ｒ９	829,085百万円
Ｒ１０	828,115百万円
Ｒ１１	829,318百万円
Ｒ１２	831,620百万円
Ｒ１３	824,798百万円
Ｒ１４	814,575百万円
Ｒ１５	807,553百万円
Ｒ１６	798,901百万円
Ｒ１７	792,401百万円
Ｒ１８	781,595百万円
Ｒ１９	772,941百万円
Ｒ２０	764,284百万円
Ｒ２１	757,689百万円
Ｒ２２	746,977百万円
Ｒ２３	738,324百万円
Ｒ２４	729,671百万円
Ｒ２５	722,980百万円
Ｒ２６	712,365百万円
Ｒ２７	703,710百万円
Ｒ２８	695,055百万円
Ｒ２９	688,272百万円
Ｒ３０	677,748百万円
Ｒ３１	669,094百万円
Ｒ３２	660,442百万円
Ｒ３３	653,976百万円
Ｒ３４	643,960百万円
Ｒ３５	635,719百万円
Ｒ３６	627,480百万円
Ｒ３７	620,923百万円
Ｒ３８	610,999百万円
Ｒ３９	602,758百万円
Ｒ４０	594,518百万円
Ｒ４１	480,006百万円

（注1）平成１８年度から平成３０年度までの上段（ ）内は計画値、下段は実績値を、令和元年度の上段（ ）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

中日本高速道路株式会社における計画料金収入

別紙７－２

（消費税込み）

年度	計画料金収入
Ｈ１８	（ 589,562百万円 ） 607,357百万円
Ｈ１９	（ 599,122百万円 ） 606,762百万円
Ｈ２０	（ 585,472百万円 ） 569,080百万円
Ｈ２１	（ 477,225百万円 ） 446,639百万円
Ｈ２２	（ 475,906百万円 ） 461,606百万円
Ｈ２３	（ 474,594百万円 ） 482,245百万円
Ｈ２４	（ 476,380百万円 ） 500,097百万円
Ｈ２５	（ 480,109百万円 ） 513,150百万円
Ｈ２６	（ 579,896百万円 ） 640,747百万円
Ｈ２７	（ 599,015百万円 ） 667,358百万円
Ｈ２８	（ 641,255百万円 ） 677,818百万円
Ｈ２９	（ 656,484百万円 ） 692,824百万円
Ｈ３０	（ 666,449百万円 ） 708,762百万円
Ｒ１	（ 668,580百万円 ） 718,035百万円
Ｒ２	687,226百万円
Ｒ３	672,884百万円
Ｒ４	675,259百万円
Ｒ５	676,885百万円
Ｒ６	676,029百万円
Ｒ７	675,759百万円
Ｒ８	676,705百万円
Ｒ９	679,658百万円
Ｒ１０	678,767百万円
Ｒ１１	678,568百万円
Ｒ１２	677,111百万円
Ｒ１３	670,955百万円
Ｒ１４	664,279百万円
Ｒ１５	659,114百万円
Ｒ１６	652,427百万円
Ｒ１７	647,523百万円
Ｒ１８	639,125百万円
Ｒ１９	632,474百万円
Ｒ２０	625,823百万円
Ｒ２１	620,851百万円
Ｒ２２	612,522百万円
Ｒ２３	605,876百万円
Ｒ２４	599,227百万円
Ｒ２５	594,179百万円
Ｒ２６	585,927百万円
Ｒ２７	579,277百万円
Ｒ２８	572,625百万円
Ｒ２９	567,507百万円
Ｒ３０	559,325百万円
Ｒ３１	552,675百万円
Ｒ３２	546,026百万円
Ｒ３３	540,698百万円
Ｒ３４	532,459百万円
Ｒ３５	525,668百万円
Ｒ３６	518,882百万円
Ｒ３７	513,479百万円
Ｒ３８	505,315百万円
Ｒ３９	498,525百万円
Ｒ４０	491,738百万円
Ｒ４１	397,379百万円

（注1）平成１８年度から平成３０年度までの上段（ ）内は計画値、下段は実績値を、令和元年度の上段（ ）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

西日本高速道路株式会社における計画料金収入

別紙７－３

（消費税込み）

年度	計画料金収入
Ｈ１８	（ 643,757百万円 ） 660,282百万円
Ｈ１９	（ 652,624百万円 ） 655,944百万円
Ｈ２０	（ 644,959百万円 ） 622,483百万円
Ｈ２１	（ 547,669百万円 ） 523,929百万円
Ｈ２２	（ 566,717百万円 ） 553,587百万円
Ｈ２３	（ 546,542百万円 ） 567,040百万円
Ｈ２４	（ 549,281百万円 ） 584,334百万円
Ｈ２５	（ 552,462百万円 ） 602,823百万円
Ｈ２６	（ 647,514百万円 ） 722,404百万円
Ｈ２７	（ 658,713百万円 ） 747,267百万円
Ｈ２８	（ 715,852百万円 ） 755,413百万円
Ｈ２９	（ 725,342百万円 ） 776,033百万円
Ｈ３０	（ 740,067百万円 ） 799,265百万円
Ｒ１	（ 755,303百万円 ） 833,914百万円
Ｒ２	774,383百万円
Ｒ３	733,942百万円
Ｒ４	730,529百万円
Ｒ５	732,076百万円
Ｒ６	730,675百万円
Ｒ７	730,946百万円
Ｒ８	731,298百万円
Ｒ９	733,556百万円
Ｒ１０	735,832百万円
Ｒ１１	738,888百万円
Ｒ１２	737,860百万円
Ｒ１３	730,636百万円
Ｒ１４	724,669百万円
Ｒ１５	720,984百万円
Ｒ１６	715,460百万円
Ｒ１７	710,233百万円
Ｒ１８	701,202百万円
Ｒ１９	694,053百万円
Ｒ２０	686,893百万円
Ｒ２１	681,558百万円
Ｒ２２	672,525百万円
Ｒ２３	665,345百万円
Ｒ２４	658,167百万円
Ｒ２５	652,821百万円
Ｒ２６	643,951百万円
Ｒ２７	636,832百万円
Ｒ２８	629,665百万円
Ｒ２９	624,201百万円
Ｒ３０	615,406百万円
Ｒ３１	608,269百万円
Ｒ３２	601,120百万円
Ｒ３３	595,303百万円
Ｒ３４	586,238百万円
Ｒ３５	578,803百万円
Ｒ３６	571,383百万円
Ｒ３７	565,556百万円
Ｒ３８	556,658百万円
Ｒ３９	549,295百万円
Ｒ４０	541,890百万円
Ｒ４１	439,282百万円

（注1）平成１８年度から平成３０年度までの上段（ ）内は計画値、下段は実績値を、令和元年度の上段（ ）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

本州四国連絡高速道路株式会社における計画料金収入

別紙７－４

（消費税込み）

年度	計画料金収入
Ｈ１８	（ 75,422百万円 ） 78,335百万円
Ｈ１９	（ 75,021百万円 ） 78,320百万円
Ｈ２０	（ 72,084百万円 ） 74,240百万円
Ｈ２１	（ 54,982百万円 ） 54,268百万円
Ｈ２２	（ 54,506百万円 ） 56,375百万円
Ｈ２３	（ 53,810百万円 ） 61,954百万円
Ｈ２４	（ 56,893百万円 ） 64,828百万円
Ｈ２５	（ 55,949百万円 ） 65,990百万円
Ｈ２６	（ 62,880百万円 ） 64,811百万円
Ｈ２７	（ 61,476百万円 ） 66,967百万円
Ｈ２８	（ 62,345百万円 ） 67,652百万円
Ｈ２９	（ 61,974百万円 ） 68,686百万円
Ｈ３０	（ 64,069百万円 ） 69,060百万円
Ｒ１	（ 63,889百万円 ） 71,038百万円
Ｒ２	64,498百万円
Ｒ３	57,536百万円
Ｒ４	56,167百万円
Ｒ５	54,980百万円
Ｒ６	74,379百万円
Ｒ７	73,593百万円
Ｒ８	72,802百万円
Ｒ９	72,222百万円
Ｒ１０	71,249百万円
Ｒ１１	70,540百万円
Ｒ１２	69,790百万円
Ｒ１３	69,227百万円
Ｒ１４	68,302百万円
Ｒ１５	67,574百万円
Ｒ１６	66,844百万円
Ｒ１７	66,312百万円
Ｒ１８	65,473百万円
Ｒ１９	64,768百万円
Ｒ２０	64,079百万円
Ｒ２１	63,570百万円
Ｒ２２	62,711百万円
Ｒ２３	62,042百万円
Ｒ２４	61,424百万円
Ｒ２５	60,938百万円
Ｒ２６	60,129百万円
Ｒ２７	59,490百万円
Ｒ２８	58,856百万円
Ｒ２９	58,429百万円
Ｒ３０	57,648百万円
Ｒ３１	57,026百万円
Ｒ３２	56,418百万円
Ｒ３３	56,083百万円
Ｒ３４	55,444百万円
Ｒ３５	54,965百万円
Ｒ３６	54,490百万円
Ｒ３７	54,164百万円
Ｒ３８	53,548百万円
Ｒ３９	53,087百万円
Ｒ４０	52,626百万円
Ｒ４１	42,705百万円

（注1）平成１８年度から平成３０年度までの上段（ ）内は計画値、下段は実績値を、令和元年度の上段（ ）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

別紙８を次のとおり改める。

【機構の収支予算の明細】

別紙8

全国路線網

【特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務の残高を示す収支予算の明細】

［ 百万円（消費税込み） ］

		未償還残高(期首)				会社からの引受け債務			収入			支出			
		債務残高(期首)(注1)			出資金(注2)										収支差
		有利子借入金	社会資本借入金	無利子借入金		有利子借入金	社会資本借入金	無利子借入金	貸付料	占用料等	出資金等	管理費等	支払利息	無利子貸付金	
2006年度	平成18年度	28,239,160	0	260,505	3,091,490	113,008	0	19,557	1,606,686	9,171	80,000	72,799	476,169	0	1,146,889
2007年度	平成19年度	27,205,328	0	260,458	3,171,490	427,583	0	0	1,612,437	7,574	82,850	59,064	429,833	2,850	1,211,114
2008年度	平成20年度	26,430,177	0	252,077	3,251,490	407,768	0	8,523	1,521,223	11,019	85,673	62,217	416,242	5,673	1,133,783
2009年度	平成21年度	23,503,417	0	234,696	3,331,490	551,074	0	0	1,169,404	9,974	80,000	32,710	393,897	0	832,770
2010年度	平成22年度	23,239,101	0	217,315	3,411,490	480,983	0	0	1,197,413	8,475	80,000	37,300	366,990	0	881,598
2011年度	平成23年度	23,025,618	0	199,935	3,491,490	398,793	0	0	1,212,206	4,736	91,572	291,855	347,917	11,572	657,170
2012年度	平成24年度	22,784,642	0	182,553	3,571,490	1,356,491	0	49,021	1,309,738	3,779	97,702	−1,306	353,584	37,449	1,021,493
2013年度	平成25年度	23,137,021	0	165,173	3,631,743	433,260	0	0	1,352,947	68,882	61,347	47,835	349,752	0	1,085,589
2014年度	平成26年度	22,503,547	0	147,792	3,693,090	802,274	0	0	1,706,330	54,859	34	72,012	328,793	34	1,360,385
2015年度	平成27年度	21,962,817	0	130,412	3,693,090	951,909	0	0	1,765,320	31,352	447	65,500	306,738	447	1,424,434
2016年度	平成28年度	21,507,673	0	113,031	3,693,090	454,361	0	0	1,763,494	14,139	6,450	101,297	283,779	6,450	1,392,557
2017年度	平成29年度	20,586,838	0	95,670	3,693,090	1,173,274	0	35,455	1,821,650	15,400	32,570	52,950	255,410	32,570	1,528,690
2018年度	平成30年度	20,246,085	0	78,333	3,693,090	2,025,667	0	4,025	1,864,261	16,993	6,158	−3,395	235,623	6,158	1,649,026
2019年度	令和元年度	20,754,736	0	61,000	3,715,687	1,081,226	0	17,456	1,896,344	11,339	14,087	69,386	223,313	14,087	1,614,983
2020年度	令和2年度	20,240,127	0	43,667	3,715,687	2,767,590	0	5,152	1,719,040	3,481	5,882	−67,664	226,464	5,882	1,563,721
2021年度	令和3年度	21,461,330	0	26,333	3,715,687	1,589,751	0	3,900	1,654,265	3,444	7,529	28,784	240,764	7,529	1,388,161
2022年度	令和4年度	21,680,252	0	9,000	3,715,687	337,220	0	8,353	1,659,115	3,444	7,707	124,894	257,762	7,707	1,279,904
2023年度	令和5年度	20,746,569	0	0	3,715,687	1,818,007	0	9,025	1,667,453	3,444	6,264	14,806	264,699	6,264	1,391,392
2024年度	令和6年度	21,173,184	0	0	3,715,687	1,537,215	0	6,309	1,703,020	3,444	3,659	21,810	310,426	3,659	1,374,228
2025年度	令和7年度	21,336,171	0	0	3,715,687	823,584	0	1,294	1,706,926	3,444	402	83,374	354,284	402	1,272,713
2026年度	令和8年度	20,887,042	0	0	3,715,687	714,211	0	397	1,717,366	3,444	175	95,770	363,909	175	1,261,132
2027年度	令和9年度	20,340,122	0	0	3,715,687	317,194	0	0	1,726,655	3,444	0	130,468	368,599	0	1,231,032
2028年度	令和10年度	19,426,284	0	0	3,715,687	278,697	0	0	1,726,119	3,444	0	133,891	355,052	0	1,240,620
2029年度	令和11年度	18,464,361	0	0	3,715,687	712,476	0	0	1,731,229	3,444	0	94,865	356,875	0	1,282,934
2030年度	令和12年度	17,893,903	0	0	3,715,687	836,956	0	0	1,726,662	3,444	0	83,118	402,096	0	1,244,892
2031年度	令和13年度	17,485,967	0	0	3,715,687	230,778	0	0	1,707,702	3,444	0	136,742	445,016	0	1,129,388
2032年度	令和14年度	16,587,356	0	0	3,715,687	253,756	0	0	1,684,458	3,444	0	132,894	447,361	0	1,107,647
2033年度	令和15年度	15,733,465	0	0	3,715,687	150,142	0	0	1,667,862	3,444	0	140,204	429,732	0	1,101,371
2034年度	令和16年度	14,782,235	0	0	3,715,687	154,616	0	0	1,648,623	3,444	0	138,049	399,898	0	1,114,121
2035年度	令和17年度	13,822,730	0	0	3,715,687	152,192	0	0	1,632,105	3,444	0	136,760	371,002	0	1,127,787
2036年度	令和18年度	12,847,135	0	0	3,715,687	153,494	0	0	1,604,426	3,444	0	134,125	343,327	0	1,130,418
2037年度	令和19年度	11,870,210	0	0	3,715,687	154,138	0	0	1,579,939	3,444	0	131,844	318,233	0	1,133,306
2038年度	令和20年度	10,891,042	0	0	3,715,687	153,805	0	0	1,555,359	3,444	0	129,638	295,121	0	1,134,043
2039年度	令和21年度	9,910,804	0	0	3,715,687	153,627	0	0	1,536,838	3,444	0	127,973	265,824	0	1,146,485
2040年度	令和22年度	8,917,945	0	0	3,715,687	154,608	0	0	1,507,290	3,444	0	125,193	231,911	0	1,153,630
2041年度	令和23年度	7,918,923	0	0	3,715,687	154,528	0	0	1,487,311	3,444	0	123,386	199,972	0	1,167,397
2042年度	令和24年度	6,906,054	0	0	3,715,687	154,617	0	0	1,466,551	3,444	0	121,491	170,000	0	1,178,504
2043年度	令和25年度	5,882,167	0	0	3,715,687	155,017	0	0	1,450,599	3,444	0	120,005	139,584	0	1,194,454
2044年度	令和26年度	4,842,729	0	0	3,715,687	153,042	0	0	1,424,037	3,444	0	117,773	109,779	0	1,199,929
2045年度	令和27年度	3,795,842	0	0	3,715,687	151,109	0	0	1,399,495	3,444	0	115,713	81,728	0	1,205,498
2046年度	令和28年度	2,741,453	0	0	3,715,687	151,355	0	0	1,381,023	3,444	0	114,011	55,502	0	1,214,954
2047年度	令和29年度	1,677,854	0	0	3,715,687	152,367	0	0	1,365,989	3,444	0	112,552	10,178	0	1,246,703
2048年度	令和30年度	583,517	0	0	3,715,687	155,470	0	0	1,340,107	3,444	0	109,917	134	0	1,233,501
2049年度	令和31年度	0	0	0	3,221,174	151,133	0	0	1,316,365	3,444	0	108,158	0	0	1,211,651
2050年度	令和32年度	0	0	0	2,160,656	62,115	0	0	526,244	1,402	0	43,100	0	0	484,545
2051年度	令和33年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2052年度	令和34年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2053年度	令和35年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2054年度	令和36年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2055年度	令和37年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2056年度	令和38年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2057年度	令和39年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2058年度	令和40年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2059年度	令和41年度	0	0	0	1,738,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2060年度	令和42年度	0	0	0	1,738,225										
計						25,542,478	0	168,467	69,819,625	372,457	750,510	4,123,867	12,583,272	148,910	54,086,544

（注1）上表の債務残高は「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律（昭和33年法律第34号）」に基づく高速道路利便増進事業のため、平成20年度において一般会計に承継した機構債務を反映し、平成22年度、平成23年度及び平成25年度において高速道路利便増進事業の計画変更に伴い見直しを行っている。また、平成30年度において一の路線・一般国道165号及び一般国道166号（南阪奈道路）の平成29年度期末の債務残高、令和2年度において一の路線・一般国道31号（広島呉道路）の令和元年6月30日の債務残高を反映している。
（注1・注2）上表の債務残高及び出資金は、令和元年度において阪神高速道路（京都圏）に係る地域路線網の平成30年度期末の債務残高及び出資金を反映している。
（注2）令和33年度以降の出資金の残高（1.7兆円）は本州四国連絡高速道路に係るものであり、その取り扱いについては、機構の解散時までに検討することとしている。
（注3）平成18年度から平成30年度までは実績値を、令和元年度は実績見込値を記載している。
（注4）端数処理の関係上、計が合わないことがある。

【特定更新等工事に係る債務の残高を示す収支予算の明細】

［ 百万円（消費税込み） ］

		未償還残高(期首)	会社からの引受け債務				収入		支出		
		債務残高(期首)	有利子借入金		債務返済開始前の引受け債務に係る消費税相当額	債務返済開始前の支払利息相当額					収支差
		有利子借入金	特定更新等工事に係る債務	その他の債務			貸付料	占用料等	管理費等	支払利息	
2006年度	平成18年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年度	平成19年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2008年度	平成20年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2009年度	平成21年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2010年度	平成22年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2011年度	平成23年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012年度	平成24年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2013年度	平成25年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2014年度	平成26年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2015年度	平成27年度	0	1,653	0	−122	0	0	0	0	0	0
2016年度	平成28年度	1,531	13,537	0	−1,003	15	0	0	0	0	0
2017年度	平成29年度	14,079	32,864	0	−2,434	170	0	0	0	0	0
2018年度	平成30年度	44,679	51,489	0	−3,814	618	0	0	0	0	0
2019年度	令和元年度	92,972	97,941	0	−8,766	2,214	0	0	0	0	0
2020年度	令和2年度	184,361	153,721	0	−13,901	3,378	0	0	0	0	0
2021年度	令和3年度	327,559	219,022	0	−19,916	3,602	0	0	0	0	0
2022年度	令和4年度	530,267	305,644	0	−27,792	3,958	0	0	0	0	0
2023年度	令和5年度	812,077	436,498	0	−39,689	6,624	0	0	0	0	0
2024年度	令和6年度	1,215,511	469,448	0	−42,685	10,423	0	0	0	0	0
2025年度	令和7年度	1,652,697	470,711	0	−42,799	19,743	0	0	0	0	0
2026年度	令和8年度	2,100,352	518,083	0	−47,104	28,293	0	0	0	0	0
2027年度	令和9年度	2,599,624	410,854	0	−37,354	39,686	0	0	0	0	0
2028年度	令和10年度	3,012,809	443,900	0	−40,358	48,101	0	0	0	0	0
2029年度	令和11年度	3,464,453	886,922	0	−80,618	66,203	0	0	0	0	0
2030年度	令和12年度	4,336,959	0	0	0	106,975	0	0	0	0	0
2031年度	令和13年度	4,443,935	0	0	0	119,511	0	0	0	0	0
2032年度	令和14年度	4,563,445	0	0	0	130,054	0	0	0	0	0
2033年度	令和15年度	4,693,500	0	0	0	136,235	0	0	0	0	0
2034年度	令和16年度	4,829,734	0	0	0	139,694	0	0	0	0	0
2035年度	令和17年度	4,969,429	0	0	0	142,303	0	0	0	0	0
2036年度	令和18年度	5,111,732	0	0	0	145,470	0	0	0	0	0
2037年度	令和19年度	5,257,202	0	0	0	150,746	0	0	0	0	0
2038年度	令和20年度	5,407,948	0	0	0	157,547	0	0	0	0	0
2039年度	令和21年度	5,565,495	0	0	0	161,460	0	0	0	0	0
2040年度	令和22年度	5,726,955	0	0	0	164,526	0	0	0	0	0
2041年度	令和23年度	5,891,482	0	0	0	167,108	0	0	0	0	0
2042年度	令和24年度	6,058,589	0	0	0	169,381	0	0	0	0	0
2043年度	令和25年度	6,227,970	0	0	0	169,753	0	0	0	0	0
2044年度	令和26年度	6,397,723	0	0	0	169,449	0	0	0	0	0
2045年度	令和27年度	6,567,172	0	0	0	169,810	0	0	0	0	0
2046年度	令和28年度	6,736,981	0	0	0	175,869	0	0	0	0	0
2047年度	令和29年度	6,912,851	0	0	0	202,289	0	0	0	0	0
2048年度	令和30年度	7,115,140	0	0	0	205,390	0	0	0	0	0
2049年度	令和31年度	7,320,529	0	0	0	204,418	0	0	0	0	0
2050年度	令和32年度	7,524,948	0	90,473	0	85,327	766,494	2,042	62,777	124,282	581,477
2051年度	令和33年度	7,119,270	0	155,429	0	0	1,276,003	3,444	104,100	191,039	984,308
2052年度	令和34年度	6,290,391	0	155,839	0	0	1,248,775	3,444	101,589	165,237	985,393
2053年度	令和35年度	5,460,836	0	156,611	0	0	1,225,702	3,444	99,419	137,473	992,254
2054年度	令和36年度	4,625,194	0	155,785	0	0	1,203,011	3,444	97,435	110,804	998,216
2055年度	令和37年度	3,782,763	0	154,942	0	0	1,183,312	3,444	95,719	103,396	987,642
2056年度	令和38年度	2,950,063	0	153,620	0	0	1,157,492	3,444	93,491	124,701	942,744
2057年度	令和39年度	2,160,939	0	153,067	0	0	1,134,797	3,444	91,480	80,786	965,975
2058年度	令和40年度	1,348,031	0	153,072	0	0	1,111,710	3,444	89,380	33,666	992,109
2059年度	令和41年度	508,994	0	125,013	0	0	688,872	2,811	53,086	4,590	634,007
2060年度	令和42年度	0									
計			4,512,287	1,453,850	−408,356	3,506,343	10,996,168	32,407	888,475	1,075,974	9,064,125

【未償還残高の総額】

［ 百万円（消費税込み） ］

		未償還残高(期首)			
		債務残高(期首)(注1)			出資金(注2)
		有利子借入金	社会資本借入金	無利子借入金	
2006年度	平成18年度	28,239,160	0	260,505	3,091,490
2007年度	平成19年度	27,205,328	0	260,458	3,171,490
2008年度	平成20年度	26,430,177	0	252,077	3,251,490
2009年度	平成21年度	23,503,417	0	234,696	3,331,490
2010年度	平成22年度	23,239,101	0	217,315	3,411,490
2011年度	平成23年度	23,025,618	0	199,935	3,491,490
2012年度	平成24年度	22,784,642	0	182,553	3,571,490
2013年度	平成25年度	23,137,021	0	165,173	3,631,743
2014年度	平成26年度	22,503,547	0	147,792	3,693,090
2015年度	平成27年度	21,962,817	0	130,412	3,693,090
2016年度	平成28年度	21,509,203	0	113,031	3,693,090
2017年度	平成29年度	20,600,917	0	95,670	3,693,090
2018年度	平成30年度	20,290,765	0	78,333	3,693,090
2019年度	令和元年度	20,847,708	0	61,000	3,715,687
2020年度	令和2年度	20,424,489	0	43,667	3,715,687
2021年度	令和3年度	21,788,889	0	26,333	3,715,687
2022年度	令和4年度	22,210,520	0	9,000	3,715,687
2023年度	令和5年度	21,558,646	0	0	3,715,687
2024年度	令和6年度	22,388,695	0	0	3,715,687
2025年度	令和7年度	22,988,868	0	0	3,715,687
2026年度	令和8年度	22,987,394	0	0	3,715,687
2027年度	令和9年度	22,939,746	0	0	3,715,687
2028年度	令和10年度	22,439,093	0	0	3,715,687
2029年度	令和11年度	21,928,814	0	0	3,715,687
2030年度	令和12年度	22,230,862	0	0	3,715,687
2031年度	令和13年度	21,929,901	0	0	3,715,687
2032年度	令和14年度	21,150,802	0	0	3,715,687
2033年度	令和15年度	20,426,964	0	0	3,715,687
2034年度	令和16年度	19,611,970	0	0	3,715,687
2035年度	令和17年度	18,792,159	0	0	3,715,687
2036年度	令和18年度	17,958,867	0	0	3,715,687
2037年度	令和19年度	17,127,412	0	0	3,715,687
2038年度	令和20年度	16,298,990	0	0	3,715,687
2039年度	令和21年度	15,476,299	0	0	3,715,687
2040年度	令和22年度	14,644,901	0	0	3,715,687
2041年度	令和23年度	13,810,405	0	0	3,715,687
2042年度	令和24年度	12,964,643	0	0	3,715,687
2043年度	令和25年度	12,110,137	0	0	3,715,687
2044年度	令和26年度	11,240,453	0	0	3,715,687
2045年度	令和27年度	10,363,014	0	0	3,715,687
2046年度	令和28年度	9,478,434	0	0	3,715,687
2047年度	令和29年度	8,590,705	0	0	3,715,687
2048年度	令和30年度	7,698,657	0	0	3,715,687
2049年度	令和31年度	7,320,529	0	0	3,221,174
2050年度	令和32年度	7,524,948	0	0	2,160,656
2051年度	令和33年度	7,119,270	0	0	1,738,225
2052年度	令和34年度	6,290,391	0	0	1,738,225
2053年度	令和35年度	5,460,836	0	0	1,738,225
2054年度	令和36年度	4,625,194	0	0	1,738,225
2055年度	令和37年度	3,782,763	0	0	1,738,225
2056年度	令和38年度	2,950,063	0	0	1,738,225
2057年度	令和39年度	2,160,939	0	0	1,738,225
2058年度	令和40年度	1,348,031	0	0	1,738,225
2059年度	令和41年度	508,994	0	0	1,738,225
2060年度	令和42年度	0	0	0	1,738,225
計					

別紙特１－１から別紙特１－３を次のとおり改める。

別紙特１－１

特定更新等工事の内容

1．工事の内容

（1）路線名及び工事の区間

（イ）路線名	（ロ）工事の区間	
	起点	終点
高速自動車国道　北海道縦貫自動車道　函館名寄線	北海道茅部郡森町字赤井川	北海道上川郡剣淵町藤本町
高速自動車国道　北海道縦貫自動車道　黒松内釧路線	北海道小樽市勝納町 北海道千歳市上長都	北海道札幌市白石区米里 北海道中川郡本別町共栄
高速自動車国道　北海道縦貫自動車道　黒松内北見線	北海道中川郡本別町勇足	北海道足寄郡足寄町郊南
高速自動車国道　東北縦貫自動車道　弘前線	東京都練馬区大泉町	青森県青森市大字岩渡字熊沢
高速自動車国道　東北縦貫自動車道　八戸線	青森県青森市大字岩渡字小谷 岩手県八幡平市小柳田 青森県八戸市大字坂牛字妻ノ神	青森県青森市大字字松代 青森県八戸市大字市川町和野前山 青森県八戸市大字根城字牛ヶ窪
高速自動車国道　東北横断自動車道　釜石秋田線	岩手県北上市鬼柳町 秋田県秋田市金足岩瀬字松館太平 岩手県花巻市東和町安俵	秋田県秋田市上新城中字南波掛 秋田県山本郡三種町鹿渡字金仏 岩手県花巻市西宮野目
高速自動車国道　東北横断自動車道　酒田線	宮城県柴田郡村田町足立字大森 山形県鶴岡市田麦俣字鶴ノ里	山形県西村山郡西川町大字月山沢 山形県鶴岡市友江字松倉
高速自動車国道　東北横断自動車道　いわき新潟線	福島県いわき市内郷宮町鬼ヶ沢	新潟県新潟市江南区太右エ門新田
高速自動車国道　日本海沿岸東北自動車道	新潟県新潟市江南区俵柳 山形県鶴岡市山田字小京田 秋田県由利本荘市岩城内道川	新潟県村上市南新保 山形県酒田市藤塚字ふけ田 秋田県秋田市河辺
高速自動車国道　関越自動車道　新潟線	東京都練馬区三原台	新潟県長岡市上除町
高速自動車国道　関越自動車道　上越線	群馬県藤岡市岡之郷	新潟県上越市寺
高速自動車国道　常磐自動車道	埼玉県川口市神戸東	宮城県亘理郡亘理町逢隈牛袋字水口
高速自動車国道　東関東自動車道　千葉富津線	千葉県千葉市中央区浜野町 千葉県木更津市中鳥田	千葉県富津市竹岡 千葉県木更津市畑沢
高速自動車国道　東関東自動車道　水戸線	埼玉県三郷市番匠免 千葉県市川市高谷	埼玉県三郷市鷹野 茨城県潮来市延方
高速自動車国道　北関東自動車道	群馬県高崎市上滝町 栃木県栃木市都賀町木	栃木県栃木市岩舟町小野寺 茨城県水戸市元石川町字千束
高速自動車国道　中央自動車道　長野線	長野県安曇野市豊科南穂高（安曇野 IC 含まず）	長野県千曲市雨宮
高速自動車国道　北陸自動車道	新潟県新潟市江南区俵柳	富山県下新川郡朝日町月山（朝日 IC 含まず）

（イ）路線名	（ロ）工事の区間	
	起点	終点
一般国道235号 （日高自動車道（苫東道路））	北海道苫小牧市字植苗	北海道苫小牧市字沼ノ端
一般国道466号 （第三京浜道路）	東京都世田谷区野毛	神奈川県横浜市保土ヶ谷区岡沢町
一般国道1号・一般国道16号 （横浜新道）	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台	神奈川県横浜市戸塚区上矢部町字坂本
一般国道16号・一般国道468号 （横浜横須賀道路）	神奈川県横須賀市馬堀海岸 神奈川県横浜市金沢区並木	神奈川県横浜市保土ヶ谷区狩場町 神奈川県横浜市金沢区釜利谷町字清戸奥
一般国道14号・一般国道16号 （京葉道路）	東京都江戸川区一之江	千葉県千葉市中央区浜野町
一般国道126号 （千葉東金道路）	千葉県千葉市中央区星久喜町	千葉県山武市松尾町谷津字平台
一般国道127号 （富津館山道路）	千葉県南房総市富浦町深名字杉原	千葉県富津市竹岡字仲町

（2）工事内容

会社が行う高速道路の管理のうち、特定更新等工事で行う工事の内容は、以下のとおり

・損傷、腐食その他の劣化等に対して構造物全体の修繕を実施するもの

区分	項目	工事概要	延長	工事予算
橋梁更新	床版	・橋梁の床版取替、床版全面打替え ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	40 キロメートル	421，217 百万円
	桁	・橋梁の上部構造の取替え ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	1 キロメートル	7，478 百万円
橋梁修繕	床版	・橋梁の床版の補修、補強（床版増厚、炭素繊維補強、剥落防止対策、SFRC、高性能床版防水、表面被覆、電気化学的防食、鋼床版の疲労亀裂補修・補強等） ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	165 キロメートル	88，348 百万円
	桁	・橋梁の上部構造の補修、補強（炭素繊維補強、剥落防止対策、外ケーブル補強、表面被覆、電気化学的防食、鋼構造物の疲労亀裂補修・補強等） ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	56 キロメートル	76，784 百万円
土構造物修繕	盛土 切土	・土構造物（盛土、切土）の補修、補強（グラウンドアンカー、水抜ボーリング、砕石縦排水等）及びのり面排水施設の補修、補強（用排水溝、跳水防止対策等）等、土構造物全体の安定性を確保する対策 ・上記に付随する附属物の補修、取替え	7，759 箇所	161，636 百万円
トンネル修繕	本体 覆工	・トンネル本体の補修、補強（インバートの設置等）及びトンネル覆工コンクリートの補修、補強（炭素繊維補強、ロックボルト補強、内巻補強、剥落防止対策、背面空洞注入等）等、トンネル全体の安定性を確保する対策 ・上記に付随する附属物の補修、取替え	60 キロメートル	399，781 百万円

別紙特１－２

特定更新等工事の内容

1．工事の内容

（1）路線名及び工事の区間

（イ）路線名	（ロ）工事の区間	
	起点	終点
高速自動車国道 中央自動車道 富士吉田線	東京都杉並区上高井戸	山梨県富士吉田市上吉田
高速自動車国道 中央自動車道 西宮線	山梨県大月市大月町花咲	滋賀県東近江市尻無町（八日市インターチェンジを含む）
高速自動車国道 中央自動車道 長野線	長野県岡谷市川岸	長野県安曇野市豊科高家（安曇野インターチェンジを含む）
高速自動車国道 第一東海自動車道	東京都世田谷区砧公園	愛知県小牧市大字村中
高速自動車国道 東海北陸自動車道	愛知県一宮市大和町北高井	富山県小矢部市水島
高速自動車国道 第二東海自動車道 横浜名古屋線	愛知県豊田市岩倉町	愛知県東海市新宝町
高速自動車国道 北陸自動車道	富山県下新川郡朝日町月山（朝日インターチェンジを含む）	滋賀県米原市三吉
高速自動車国道 近畿自動車道 伊勢線	愛知県亀山市関町木崎	三重県伊勢市楠部町
高速自動車国道 近畿自動車道 名古屋亀山線	愛知県名古屋市緑区大高町	三重県亀山市木下町
高速自動車国道 近畿自動車道 名古屋神戸線	愛知県海部郡飛島村木場	滋賀県甲賀市甲賀町岩室（甲賀土山インターチェンジを含まない）
高速自動車国道 近畿自動車道 尾鷲多気線	三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島	三重県多気郡多気町丹生
一般国道1号（新湘南バイパス）	神奈川県藤沢市城南	神奈川県茅ケ崎市柳島
一般国道1号（西湘バイパス）	神奈川県中郡二宮町二宮	神奈川県小田原市風祭
一般国道271号（小田原厚木道路）	神奈川県小田原市板橋	神奈川県厚木市酒井
一般国道302号（伊勢湾岸道路）	愛知県東海市新宝町	愛知県海部郡飛島村金岡
一般国道475（東海環状自動車道）	愛知県豊田市岩倉町山ノ神	岐阜県関市広見町

（2）工事内容

会社が行う高速道路の管理のうち、特定更新等工事で行う工事の内容は、以下のとおり

・損傷、腐食その他の劣化等に対して構造物全体の修繕を実施するもの

区分	項目	工事概要	延長	工事予算
橋梁更新	床版	・橋梁の床版取替、床版全面打替え ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	94 キロメートル	998，292 百万円
	桁	・橋梁の上部構造の取替え ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	2 キロメートル	16，478 百万円
橋梁修繕	床版	・橋梁の床版の補修、補強（床版増厚、炭素繊維補強、剥落防止対策、SFRC、高性能床版防水、表面被覆、電気化学的防食、鋼床版の疲労亀裂補修・補強等） ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	113 キロメートル	45，443 百万円
	桁	・橋梁の上部構造の補修、補強（炭素繊維補強、剥落防止対策、外ケーブル補強、表面被覆、電気化学的防食、鋼構造物の疲労亀裂補修・補強等） ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	58 キロメートル	131，846 百万円
土構造物修繕	盛土 切土	・土構造物（盛土、切土）の補修、補強（グラウンドアンカー、水抜ボーリング、砕石縦排水等）及びのり面排水施設の補修、補強（用排水溝、跳水防止対策等）等、土構造物全体の安定性を確保する対策 ・上記に付随する附属物の補修、取替え	4，977 箇所	75，422 百万円
トンネル修繕	本体 覆工	・トンネル本体の補修、補強（インバートの設置等）及びトンネル覆工コンクリートの補修、補強（炭素繊維補強、ロックボルト補強、内巻補強、剥落防止対策、背面空洞注入等）等、トンネル全体の安定性を確保する対策 ・上記に付随する附属物の補修、取替え	35 キロメートル	189，350 百万円

別紙特１－３

特定更新等工事の内容

1．工事の内容

（1）路線名及び工事の区間

（イ）路線名	（ロ）工事の区間	
	起点	終点
高速自動車国道　中央自動車道　西宮線	滋賀県東近江市中小路町狐山（八日市インターチェンジを含まない）	兵庫県西宮市今津野田町
高速自動車国道　近畿自動車道　天理吹田線	奈良県天理市櫟本町	大阪府吹田市青葉丘北
高速自動車国道　近畿自動車道　松原那智勝浦線	大阪府松原市別所町 和歌山県御坊市野口字野尻	和歌山県有田郡有田川町大字天満字 和歌山県田辺市稲成町字下組
高速自動車国道　近畿自動車道　敦賀線	兵庫県三木市吉川町金会	福井県小浜市府中（小浜インターチェンジを含む）
高速自動車国道　中国縦貫自動車道	大阪府吹田市青葉丘北	山口県下関市椋野町
高速自動車国道　山陽自動車道　吹田山口線	兵庫県神戸市北区有野町二郎 広島県大竹市御園	広島県廿日市市宮内 山口県山口市黒川
高速自動車国道　山陽自動車道　宇部下関線	山口県宇部市大字東岐波	山口県下関市大字吉田地方
高速自動車国道　中国横断自動車道　姫路鳥取線	兵庫県たつの市揖西町土師	兵庫県たつの市新宮町角亀字畦畑
高速自動車国道　中国横断自動車道　岡山米子線	岡山県岡山市北区津寺	鳥取県米子市赤井手
高速自動車国道　中国横断自動車道　尾道松江線	島根県雲南市三刀屋町三刀屋	島根県松江市乃白町字辻り廻
高速自動車国道　中国横断自動車道　広島浜田線	広島県広島市安佐南区沼田町大字伴	島根県浜田市高佐町
高速自動車国道　山陰自動車道　鳥取益田線	島根県松江市宍道町伊志見	島根県出雲市知井宮町
高速自動車国道　四国縦貫自動車道	徳島県徳島市川内町沖島	愛媛県大洲市新谷
高速自動車国道　四国横断自動車道　阿南四万十線	香川県高松市前田東町字中村	高知県須崎市吾井郷乙
高速自動車国道　四国横断自動車道　愛南大洲線	愛媛県西予市宇和町稲生	愛媛県大洲市北只
高速自動車国道　九州縦貫自動車道　鹿児島線	福岡県北九州市門司区黒川東	鹿児島県鹿児島市田上
高速自動車国道　九州縦貫自動車道　宮崎線	宮崎県えびの市大字永山	宮崎県宮崎市清武町大字加納字山口甲

高速自動車国道　九州横断自動車道　長崎大分線	長崎県長崎市早坂町	大分県大分市片島字長居ヶ迫
高速自動車国道　東九州自動車道	福岡県北九州市小倉南区大字堀越 大分県大分市片島字長居ヶ迫 宮崎県東臼杵郡門川町大字加草字堂ケ内 鹿児島県曽於市末吉町深川	福岡県京都郡みやこ町呰見 大分県佐伯市大字上岡 宮崎県宮崎市清武町大字今泉字柳ヶ谷乙 鹿児島県霧島市隼人町住吉
高速自動車国道　関門自動車道	山口県下関市椋野町	福岡県北九州市門司区黒川東
高速自動車国道　沖縄自動車道	沖縄県名護市字幸喜	沖縄県那覇市首里崎山町
一般国道1号（京滋バイパス）	滋賀県大津市大江町	京都府久世郡久御山町森
一般国道2号（第二神明道路）	兵庫県神戸市須磨区月見山町 兵庫県神戸市垂水区名谷町入野	兵庫県明石市魚住町清水字鳥喰下 兵庫県神戸市西区伊川谷町井吹
一般国道2号（広島岩国道路）	広島県廿日市市宮内	広島県大竹市御園
一般国道3号（南九州西回り自動車道 （市来～鹿児島西））	鹿児島県いちき串木野市大里	鹿児島県鹿児島市市田上
一般国道9号（安来道路）	鳥取県米子市陰田町	島根県八束郡東出雲町大字出雲郷
一般国道9号（江津道路）	島根県江津市嘉久志町	島根県浜田市後野町
一般国道34号（長崎バイパス）	長崎県諫早市多良見町市布名 長崎県長崎市川平町	長崎県長崎市昭和 長崎県長崎市西山
一般国道42号（湯浅御坊道路）	和歌山県有田郡有田川町大字天満	和歌山県御坊市野口
一般国道478号（京都縦貫自動車道）	京都府船井郡京丹波町字須知	京都府乙訓郡大山崎町字円明寺
一般国道497号（西九州自動車道（武雄佐世保道路））	佐賀県武雄市東川登町大字袴野	長崎県佐世保市大塔町
一般国道497号（西九州自動車道（佐世保道路））	長崎県佐世保市大塔町	長崎県佐世保市矢岳町

（2）工事内容

会社が行う高速道路の管理のうち、特定更新等工事で行う工事の内容は、以下のとおり

・損傷、腐食その他の劣化等に対して構造物全体の修繕を実施するもの

区分	項目	工事概要	延長	工事予算
橋梁更新	床版	・橋梁の床版取替、床版全面打替え ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	88 キロメートル	776，932 百万円
	桁	・橋梁の上部構造の取替え ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	6 キロメートル	45，359 百万円
橋梁修繕	床版	・橋梁の床版の補修、補強（床版増厚、炭素繊維補強、剥落防止対策、SFRC、高性能床版防水、表面被覆、電気化学的防食、鋼床版の疲労亀裂補修・補強等） ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	129 キロメートル	56，871 百万円
	桁	・橋梁の上部構造の補修、補強（炭素繊維補強、剥落防止対策、外ケーブル補強、表面被覆、電気化学的防食、鋼構造物の疲労亀裂補修・補強等） ・上記に付随する橋梁附属物及び橋梁上の工作物の補修、取替え	46 キロメートル	60，102 百万円
土構造物修繕	盛土 切土	・土構造物（盛土、切土）の補修、補強（グラウンドアンカー、水抜ボーリング、砕石縦排水等）及びのり面排水施設の補修、補強（用排水溝、跳水防止対策等）等、土構造物全体の安定性を確保する対策 ・上記に付随する附属物の補修、取替え	13，820 箇所	252，264 百万円
トンネル修繕	本体 覆工	・トンネル本体の補修、補強（インバートの設置等）及びトンネル覆工コンクリートの補修、補強（炭素繊維補強、ロックボルト補強、内巻補強、剥落防止対策、背面空洞注入等）等、トンネル全体の安定性を確保する対策 ・上記に付随する附属物の補修、取替え	46 キロメートル	113，109 百万円

別紙特２－１から別紙特２－４を次のとおり改める。

別紙特２－１

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る

債務引受限度額

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ２７	496百万円
Ｈ２８	1,450百万円
Ｈ２９	8,416百万円
Ｈ３０	18,217百万円
Ｒ１	20,078百万円
Ｒ２	13,463百万円
Ｒ３	38,601百万円
Ｒ４	71,145百万円
Ｒ５	49,260百万円
Ｒ６	106,841百万円
Ｒ７	131,397百万円
Ｒ８	189,059百万円
Ｒ９	116,155百万円
Ｒ１０	144,638百万円
Ｒ１１	409,546百万円

（注1）平成２７年度から平成３０年度は実績値を、令和元年度は実績見込値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙特２－２

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る

債務引受限度額

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ２７	956百万円
Ｈ２８	4,172百万円
Ｈ２９	14,637百万円
Ｈ３０	19,385百万円
Ｒ１	56,982百万円
Ｒ２	86,840百万円
Ｒ３	114,879百万円
Ｒ４	154,343百万円
Ｒ５	150,287百万円
Ｒ６	171,206百万円
Ｒ７	157,413百万円
Ｒ８	164,186百万円
Ｒ９	138,048百万円
Ｒ１０	144,904百万円
Ｒ１１	287,488百万円

（注1）平成２７年度から平成３０年度は実績値を、令和元年度は実績見込値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙特２－３

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る

債務引受限度額

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ２７	105百万円
Ｈ２８	7,861百万円
Ｈ２９	9,756百万円
Ｈ３０	13,246百万円
Ｒ１	18,177百万円
Ｒ２	50,348百万円
Ｒ３	62,960百万円
Ｒ４	78,005百万円
Ｒ５	234,897百万円
Ｒ６	189,167百万円
Ｒ７	179,088百万円
Ｒ８	161,671百万円
Ｒ９	154,256百万円
Ｒ１０	152,244百万円
Ｒ１１	188,078百万円

（注1）平成２７年度から平成３０年度は実績値を、令和元年度は実績見込値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙特２－４

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る

債務引受限度額

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ２７	96百万円
Ｈ２８	53百万円
Ｈ２９	54百万円
Ｈ３０	642百万円
Ｒ１	2,704百万円
Ｒ２	3,069百万円
Ｒ３	2,582百万円
Ｒ４	2,151百万円
Ｒ５	2,054百万円
Ｒ６	2,234百万円
Ｒ７	2,813百万円
Ｒ８	3,167百万円
Ｒ９	2,395百万円
Ｒ１０	2,114百万円
Ｒ１１	1,810百万円

（注1）平成２７年度から平成３０年度は実績値を、令和元年度は実績見込値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

添付書類

別添１　高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線等に関する協定（機構及び東日本高速道路株式会社）

別添２　高速自動車国道中央自動車道富士吉田線等に関する協定（機構及び中日本高速道路株式会社）

別添３　高速自動車国道中央自動車道西宮線等に関する協定（機構及び西日本高速道路株式会社）

別添４　一般国道２８号（本州四国連絡道路（神戸・鳴門ルート））等に関する協定（機構及び本州四国連絡高速道路株式会社）

別添５　貸付料及び貸付期間算出の基礎を記載した書類

別添６　推定交通量及びその算出の基礎を記載した書類